

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

番 九大院医第 77 号
令和 6 年 10 月 4 日
開設者名 国立大学法人 九州大学
総長 石橋 達朗

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒819-0395 福岡市西区元岡777
氏名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
電話(092) 641 - 1151 (代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input checked="" type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。 ・循環器内科は循環器科で診療を行っている。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科・病理部	3	形成外科	4	心療内科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
70				1182	1252	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	685	5	689.0
歯科医師	157	48	195.4
薬剤師	96	0	96
保健師	0	0	0
助産師	44	0	44
看護師	1187	17	1199.3
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	21	0	21
管理栄養士	15	0	15

職種	員数
看護補助者	6
理学療法士	24
作業療法士	9
視能訓練士	10
義肢装具士	0
臨床工学士	26
栄養士	0
歯科技工士	5
診療放射線技師	66

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	111
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	10	
その他の技術員	42	
事務職員	348	
その他の職員	178	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	120	眼科専門医	5
外科専門医	66	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	9	放射線科専門医	20
小児科専門医	33	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	12	整形外科専門医	25
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	15
産婦人科専門医	6	救急科専門医	16
		合計	362

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中村 雅史) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成30年度より令和3年度末まで九州大学病院医療安全管理責任者を務めた。また、平成27年度より令和3年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1027.1 人	34.9 人	1062.0 人
1日当たり平均外来患者数	2352.8 人	736.9 人	3089.6 人
1日当たり平均調剤数	2,090.80		剤
必要医師数	246.0275		人
必要歯科医師数	41.21		人
必要薬剤師数	35.4		人
必要(准)看護師数	636.49		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	442.93 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	12 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	1,226.28 m ²	病床数	54 床	
	[移動式の場合]	台数	4 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	84.74 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	1,116 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置		
細菌検査室	552 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置		
病理検査室	527 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パーチャルスライドスキャナー、自動免疫染色装置		
病理解剖室	65 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ミナフローユニットハイオハザード解剖台		
研究室	15,430 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	クリーンベンチ、遠心分離機、冷蔵庫・冷凍庫		
講義室	485 m ²	鉄筋コンクリート	室数	3 室	収容定員	2室157人 1室256人 人
図書室	4,033 m ²	鉄筋コンクリート	室数	5 室	蔵書数	312,440 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	80.8	%	逆紹介率	97.6	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		21,472 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		28,161 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,840 人		
	D: 初診の患者の数		28,854 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学	○	安全管理の識見者	無	1
今村 健	福岡大学		安全管理の識見者	無	1
合原 則隆	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
久保井 撰	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO法人 がんサポーター		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本院ウェブサイトに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数(人)
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	38人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	73人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	42人
	0人
先進医療の種類合計数	3
取り扱い患者数の合計(人)	153人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
S-1+バクリタキセル経静脈腹腔内投与併用療法	0人
シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法	0人
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	0人
シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)	0人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーバクリタキセル静脈内投与の併用療法	0人
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん	0人
	0人
先進医療の種類合計数	9
取り扱い患者数の合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	67	先天性副腎皮質酵素欠損症	14
2	筋萎縮性側索硬化症	46	68	アジソン病	1
3	脊髄性筋萎縮症	4	69	サルコイドーシス	106
4	原発性側索硬化症	2	70	特発性間質性肺炎	70
5	進行性核上性麻痺	11	71	肺動脈性肺高血圧症	100
6	パーキンソン病	110	72	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	115
7	大脳皮質基底核変性症	3	73	リンパ脈管筋腫症	9
8	ハンチントン病	1	74	網膜色素変性症	104
9	シャルコー・マリー・トウス病	6	75	パッド・キアリ症候群	5
10	重症筋無力症	109	76	特発性門脈圧亢進症	5
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	297	77	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	79
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	52	78	原発性硬化性胆管炎	11
13	封入体筋炎	4	79	自己免疫性肝炎	28
14	クドウ・深瀬症候群	2	80	クローン病	405
15	多系統萎縮症	32	81	潰瘍性大腸炎	428
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	74	82	好酸球性消化管疾患	9
17	ライソゾーム病	17	83	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
18	ミトコンドリア病	23	84	チャージ症候群	1
19	もやもや病	73	85	クリオピリン関連周期熱症候群	1
20	進行性多巣性白質脳症	1	86	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	12
21	HTLV-1関連脊髄症	8	87	TNF受容体関連周期性症候群	1
22	全身性アミロイドーシス	89	88	非典型溶血性尿毒症症候群	1
23	遠位型ミオパチー	2	89	先天性ミオパチー	3
24	神経線維腫症	46	90	筋ジストロフィー	13
25	天疱瘡	22	91	アトピー性脊髄炎	1
26	膿疱性乾癬(汎発型)	21	92	脊髄空洞症	5
27	中毒性表皮壊死症	1	93	アイザックス症候群	3
28	高安動脈炎	44	94	遺伝性ジストニア	1
29	巨細胞性動脈炎	12	95	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	2
30	結節性多発動脈炎	11	96	前頭側頭葉変性症	2
31	顕微鏡的多発血管炎	25	97	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
32	多発血管炎性肉芽腫症	20	98	メビウス症候群	1
33	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	29	99	片側巨脳症	2
34	悪性関節リウマチ	4	100	限局性皮質異形成	1
35	バーシャー病	6	101	神経細胞移動異常症	1
36	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	102	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1
37	全身性エリテマトーデス	445	103	ラスムッセン脳炎	1
38	皮膚筋炎／多発性筋炎	119	104	結節性硬化症	11
39	全身性強皮症	162	105	先天性魚鱗癬	1
40	混合性結合組織病	50	106	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
41	シェーグレン症候群	69	107	特発性後天性全身性無汗症	6
42	成人ステル病	26	108	肥厚性皮膚骨膜炎	2
43	再発性多発軟骨炎	12	109	弾性線維性仮性黄色腫	9
44	ベーチェット病	152	110	マルファン症候群	9
45	特発性拡張型心筋症	149	111	エーラス・ダンロス症候群	1
46	肥大型心筋症	41	112	ウィルソン病	8
47	拘束型心筋症	1	113	ウィリアムズ症候群	3
48	再生不良性貧血	32	114	ロスムンド・トムソン症候群	1
49	自己免疫性溶血性貧血	3	115	無脾症候群	2
50	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6	116	鰓耳腎症候群	1
51	特発性血小板減少性紫斑病	37	117	ウェルナー症候群	1
52	血栓性血小板減少性紫斑病	3	118	ヌーナン症候群	2
53	原発性免疫不全症候群	51	119	総動脈幹遺残症	2
54	IgA腎症	49	120	修正大血管転位症	8
55	多発性嚢胞腎	47	121	完全大血管転位症	14
56	黄色靱帯骨化症	9	122	単心室症	18
57	後縦靱帯骨化症	30	123	左心低形成症候群	2
58	広範脊柱管狭窄症	2	124	三尖弁閉鎖症	7
59	特発性大腿骨頭壊死症	263	125	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
60	下垂体性ADH分泌異常症	28	126	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	11
61	下垂体性TSH分泌亢進症	6	127	ファロー四徴症	38
62	下垂体性PRL分泌亢進症	27	128	両大血管右室起始症	7
63	クッシング病	10	129	エプスタイン病	1
64	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	58	130	アルポート症候群	1
65	下垂体前葉機能低下症	174	131	急速進行性糸球体腎炎	1
66	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2	132	抗糸球体基底膜腎炎	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
133	一次性ネフローゼ症候群	45	152	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
134	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	153	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
135	紫斑病性腎炎	4	154	先天性赤血球形成異常性貧血	1
136	オスラー病	7	155	後天性赤芽球癆	5
137	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	156	クロンカイト・カナダ症候群	2
138	副甲状腺機能低下症	1	157	非特異性多発性小腸潰瘍症	6
139	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	7	158	総排泄腔遺残	6
140	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	1	159	先天性横隔膜ヘルニア	2
141	プロピオン酸血症	1	160	胆道閉鎖症	15
142	リジン尿性蛋白不耐症	1	161	IgG4関連疾患	27
143	肝型糖原病	1	162	黄斑ジストロフィー	2
144	脳髄黄色腫症	1	163	遅発性内リンパ水腫	2
145	脂肪萎縮症	1	164	好酸球性副鼻腔炎	100
146	家族性地中海熱	22	165	シトリン欠損症	1
147	慢性再発性多発性骨髄炎	3	166	大理石骨病	1
148	強直性脊椎炎	36	167	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
149	骨形成不全症	4	168	無虹彩症	1
150	軟骨無形成症	1	169	特発性多中心性キャスルマン病	12
151	リンパ管腫症/ゴーハム病	5			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	169
合計患者数(人)	5328

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	栄養サポートチーム加算
歯科外来診療環境体制加算 2	歯科医師連携加算
歯科外来診療感染対策加算 4	医療安全対策加算 1
歯科診療特別対応連携加算	感染対策向上加算 1
特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	指導強化加算
特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	抗菌薬適正使用体制加算
入院栄養管理体制加算	患者サポート体制充実加算
救急医療管理加算 1・2	重症患者初期支援充実加算
超急性期脳卒中加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
診療録管理体制加算 2	ハイリスク妊娠管理加算
医師事務作業補助体制加算 1(20対1)	ハイリスク分娩等管理加算(ハイリスク分娩管理加算)
急性期看護補助体制加算50対1	術後疼痛管理チーム加算
夜間100対1急性期看護補助体制加算	後発医薬品使用体制加算 3
夜間看護体制加算(夜間100対1急性期看護補助体制加算に対する加算)	病棟薬剤業務実施加算 1
看護補助体制充実加算 2	病棟薬剤業務実施加算 2
看護職員夜間配置加算12対1 1	データ提出加算 2のイ
看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	入退院支援加算 1
療養環境加算	入退院支援加算 3
重症者等療養環境特別加算	地域連携診療計画加算(入退院支援加算1の加算)
無菌治療室管理加算 2	入院時支援加算
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素)	総合機能評価加算
放射線治療病室管理加算(密封小線源)	せん妄ハイリスク患者ケア加算
緩和ケア診療加算	精神疾患診療体制加算
精神科身体合併症管理加算	精神科急性期医師配置加算
精神科リエゾンチーム加算	地域医療体制確保加算
摂食障害入院医療管理加算	地域歯科診療支援病院入院加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
救命救急入院料 1(CCU病棟)	
救命救急入院料 3(ハイケア病棟)	
救命救急入院料 4(救命ICU)	
精神疾患診断治療初回加算	
救急体制充実加算 2	
小児加算(救命救急入院料の加算)	
早期栄養介入管理加算	
特定集中治療室管理料 1	
小児加算(特定集中治療室管理料の加算)	
総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)	
新生児特定集中治療室管理料 2	
新生児治療回復室入院医療管理料	
小児入院医療管理料 1	
小児入院医療管理料の注2に規定する加算(保育士1名の場合)	
無菌治療管理加算	
養育支援体制加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
外来栄養食事指導料1注3	がん治療連携計画策定料
遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理料)	ハイリスク妊産婦連携指導料1
慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	ハイリスク妊産婦連携指導料2
糖尿病合併症管理料	肝炎インターフェロン治療計画料
がん性疼痛緩和指導管理料	こころの連携指導料2
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	薬剤管理指導料
がん患者指導管理料イ	地域連携診療計画加算(診療情報提供料 I の加算)
がん患者指導管理料ロ	医療機器安全管理料1
がん患者指導管理料ハ	医療機器安全管理料2
がん患者指導管理料ニ	歯科治療時医療管理料
移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	在宅患者歯科治療時医療管理料
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
小児運動器疾患指導管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
乳腺炎重症化予防ケア・指導料1・2	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
婦人科特定疾患治療管理料	遺伝学的検査
腎代替療法指導管理料	骨髄微小残存病変量測定
一般不妊治療管理料	BRCA1/2遺伝子検査
生殖補助医療管理料2	がんゲノムプロファイリング検査
外来放射線照射診療料	角膜ジストロフィー遺伝子検査
外来腫瘍化学療法診療料1	先天性代謝異常症検査
連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の加算)	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
ニコチン依存症管理料	HPV核酸検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
療養・就労両立支援指導料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)
相談支援加算	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
検体検査管理加算(IV)	画像診断管理加算4
国際標準検査管理加算	歯科画像診断管理加算1
遺伝カウンセリング加算	歯科画像診断管理加算2
遺伝子腫瘍カウンセリング加算	遠隔画像診断
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影若しくはポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	
胎児心エコー法	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影若しくはポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
ヘッドアップティルト試験	
長期継続頭蓋内脳波検査	CT撮影及びMRI撮影
長期脳波ビデオ同時記録検査1	冠動脈CT撮影加算
中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	血流予備量比コンピューター断層撮影
脳磁図(自発活動を測定するもの)	外傷全身CT加算
脳磁図(その他のもの)	心臓MRI撮影加算
安全精度管理下で行うもの(終夜睡眠ポリグラフィー)	乳房MRI撮影加算
脳波検査判断料1	小児鎮静下MRI撮影加算
神経学的検査	頭部MRI撮影加算
補聴器適合検査	全身MRI撮影加算
黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
ロービジョン検査判断料	外来化学療法加算1
内服・点滴誘発試験	無菌製剤処理料
センチネルリンパ節生検(片側)	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
経頸静脈的肝生検	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	運動器リハビリテーション料(I)
経気管支凍結生検法	呼吸器リハビリテーション料(I)
口腔細菌定量検査	がん患者リハビリテーション料
有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	各リハビリテーション料の初期加算
精密触覚機能検査	歯科口腔リハビリテーション料2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
経頭蓋磁気刺激療法	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
療養生活継続支援加算	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
認知療法・認知行動療法1	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
精神科作業療法	椎間板内酵素注入療法
精神科ショート・ケア「小規模なもの」	腫瘍脊椎骨全摘術
精神科デイ・ケア「小規模なもの」	緊急穿頭血腫除去術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
医療保護入院等診療料	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
硬膜外自家血注入	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
人工腎臓・慢性維持透析を行った場合1	角結膜悪性腫瘍切除手術
導入期加算3	羊膜移植術
透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
ストーマ合併症加算	緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
手術用顕微鏡加算	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
口腔粘膜処置	毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
う蝕歯無痛的窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	網膜再建術
光学印象	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	人工中耳植込術
皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術))の場合に限る。)	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
処理骨再建加算	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
	経皮的僧帽弁クリップ術
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)
	不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的の手術によるもの)に限る)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	経皮的の中隔心筋焼灼術
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科診療に係るものに限る。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカーの場合)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(経静脈リード又は皮下植込み型リードを用いる場合)
胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いる場合)
	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
内視鏡下筋層切開術	補助人工心臓
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び膈腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	小児補助人工心臓
	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
	同種心移植術
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	骨格筋由来細胞シート心表面移植術
胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	経皮的下肢動脈形成術
胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	生体部分小腸移植術
骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	同種死体小腸移植術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	内視鏡的小腸ポリープ切除術
	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	同種死体腎移植術
腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	生体腎移植術
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工尿道括約筋植込・置換術
移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
生体部分肝移植術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
同種死体肝移植術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胎児胸腔・羊水腔シャント術
腹腔鏡下膵中央切除術	胎児輸血術及び臍帯穿刺
同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	体外式膜型人工肺管理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	病理診断管理加算2
胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	悪性腫瘍病理組織標本加算
乳房切除術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	口腔病理診断管理加算2
子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	クラウン・ブリッジ維持管理料
輸血管理料 I	歯科矯正診断料
コーディネート体制充実加算	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	看護職員処遇改善評価料48
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	外来・在宅ベースアップ評価料(I)
歯周組織再生誘導手術	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	入院ベースアップ評価料66
歯根端切除手術の注3	入院時食事療養(I)
レーザー機器加算	人工中耳用材料
麻酔管理料(I)	
麻酔管理料(II)	
歯科麻酔管理料	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
高エネルギー放射線治療	
1回線量増加加算	
1回線量増加加算(前立腺照射の場合)	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	
定位放射線治療	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
画像誘導密封小線源治療加算	
保険医療機関間の連携による病理診断	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・LDLアフェレシス療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	16回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	16
	剖検率(%)	7.3

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	高齢者サルコペニア患者における高強度インターバル運動の運動耐容能改善効果について	稗田 道成	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
2	ビッグデータを用いた免疫チェックポイント阻害薬の心血管疾患への有害事象とその危険因子の解明	稗田 道成	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	100 万円	補 新日本先進医療研究財団
3	HER2陽性胃癌のゲノム異常と微小環境に基づく抗HER2抗体薬物複合体の耐性機序の探索	山口 享子	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
4	メチル化ctDNAによる大腸がん根治術後再発早期診断の実装的モニタリング法の開発	大村 洋文	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
5	クローン性造血で引き起こされるがん微小環境内の免疫応答の解明	磯部 大地	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
6	腸管移植片対宿主病におけるバクテリアトランスロケーションの病態解明	江里口 芳裕	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
7	自己免疫疾患におけるT-bet+エフェクターB細胞の役割	新納 宏昭	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
8	自己免疫疾患における加齢性クローナル造血の関連についての検討	小野 伸之	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	寛解期膠原病患者に残存する倦怠感の要因解明と治療戦略の確立	綾野 雅宏	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
10	消化器癌微小環境のマクロファージ-線維芽細胞分化転換を阻害する新規治療標的の探索	伊東 守	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
11	臨床応用に向けたヒト白血病幹細胞特異的標的分子TIM-3の機能解明	赤司 浩一	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	1,300 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
12	末梢性T細胞リンパ腫非特定型のゲノム変異が微小環境に及ぼす影響と新規治療開発	加藤 光次	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
13	腸管GVHDの治療反応性を規定する局所免疫プロファイルの解明と腸内細菌叢の影響	森 康雄	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
14	BCL2阻害剤を用いた新規AML治療法の開発	山内 拓司	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
15	リジンアセチル化酵素TIP60を標的する造血器悪性腫瘍の新規治療法の開発	沼田 晃彦	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
16	白血病幹細胞の薬剤耐性機構の解明	小田原 淳	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
17	脳梗塞巣におけるペリサイトを介した創傷治癒と内因性機能回復機構の解明	北園 孝成	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
18	加齢が脳梗塞後のペリサイトを介した組織修復・内因性機能回復機構に与える影響の解明	脇坂 義信	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
19	SGLT2を標的とした脳梗塞後のペリサイト機能維持機構の探索	中村 晋之	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
20	ペリサイトにおけるSGLT2に着目した脳血管性認知症に対する新規治療法の開発	高島 正光	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
21	脳卒中疾病負荷軽減のためのデータ駆動型最適化医療の構築	鴨打 正浩	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
22	脳卒中精密医療の基盤構築に関する研究	鴨打 正浩	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
23	脳卒中患者における医療の質の妥当性の検討とデータベース構築に関する研究	松尾 龍	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
24	脳卒中後の日常生活動作の障害に関連する予後規定因子の解明	入江 芙美	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
25	地域高齢者における脳MRI画像の脳血管障害病変の縦断的变化:久山町研究	古田 芳彦	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
26	心電図所見を用いた心房細動・循環器疾患・認知症の発症予測:久山町研究	秦 淳	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
27	慢性腎臓病における心筋肥大の機序解明	中野 敏昭	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
28	抗加齢因子スペルミジンが腎臓、そして全身を守る	鳥巢 久美子	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
29	腹膜透析による腹膜線維化と石灰化の病態解明〜リンの関与とマグネシウムの競合作用	山田 俊輔	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
30	移植腎病理に新規尿中バイオマーカーを組み合わせた予後予測モデルの開発	松隈 祐太	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
31	若年・中年男性における、睡眠負債と睡眠時無呼吸症候群が血圧と臓器障害に及ぼす影響	井上 美奈子	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
32	多職種連携による高血圧発症予防に関する研究	後藤 健一	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
33	高血圧発症予防に向けた先制保健介入モデルの開発	後藤 健一	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	80 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
34	腸管における青黛のAhRを介した作用に関する検討	松野 雄一	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
35	腸腎連関・慢性腎臓病に影響を及ぼす腸内細菌叢と細菌由来代謝産物の探索	鳥巢 剛弘	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科、腎疾患治療部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
36	加齢や慢性ストレスにより変容する副腎組織の分子基盤と破綻病態の統合的理解	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	3,471 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
37	消化管運動の時空間的協調性の制御機構の解明と医学応用	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
38	層別化に基づくSVR 後肝発がん、再発の病態解明と予防および治療開発	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	195 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
39	デジタル技術を活用した生涯にわたる血圧管理に関する指針の研究開発	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	33 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
40	グルコース応答性スマートゲルを用いた人工膵臓システムの開発・事業化	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
41	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
42	加齢による副腎由来ホルモンの不均衡に基づいたフレイル診療戦略の構築	馬越 真希	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
43	NASHの病態進展におけるミトコンドリア品質管理(マイトファジー)の意義の解明	宮澤 崇	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
44	副腎皮質網状層に着目した老化機構の解明	松田 やよい	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
45	CD8+T細胞の分化における転写因子FoxO1の制御メカニズムの解明を目指して	宮地 康高	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
46	機械学習を用いた原発性アルドステロン症における個別化医療基盤の確立	馬越 洋宜	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
47	アルドステロン産生腺腫のコルチゾール合成機構および発生母地の解明	緒方 大聖	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
48	ヒト副腎皮質リモデリングの分子機構とコルチゾール産生腫瘍の発生機構の解明	福元 多鶴	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
49	マルチオミクス解析によるヒト副腎皮質のホルモン分泌調節機構解明	岩橋 徳英	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	90 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
50	「副腎性骨粗鬆症」の概念の確立と医学応用	馬越 真希	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
51	原発性アルドステロン症における新規病型診断法の開発	馬越 洋宜	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	50 万円	補 公益財団法人 日本応用酵素協会
52	副腎由来ホルモンの多様性に基づいた糖尿病および慢性合併症進展機構の解明	馬越 真希	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	60 万円	補 公益財団法人 日本応用酵素協会
53	ヒト副腎皮質腫瘍の発生機構と副腎皮質リモデリング機構の解明	福元 多鶴	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	15 万円	補 公益財団法人 日本応用酵素協会
54	肝臓の脂肪滴形成におけるミトコンドリアダイナミクスの機能的意義の解明	武市 幸奈	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	60 万円	補 公益財団法人 日本応用酵素協会

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
55	1型糖尿病におけるCD8+T細胞の分化制御機構の解明	宮地 康高	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	60 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
56	食道アカシアの前駆状態とされる食道胃接合部通過障害に対するアコチアミドの有効性と安全性を検討する第II相医師主導治験	伊原 栄吉	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	4,474 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
57	直腸知覚による脳排便中枢を介した排便機構の解明	田中 義将	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	510 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
58	拡張障害に起因するニュータイプの食道運動機能障害の疾患概念の確立と病態解明	伊原 栄吉	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
59	慢性便秘症に対する新規治療開発を目指した排便機構の解明	田中 義将	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
60	抗原受容体の人為的改変によって挑む難治性炎症性疾患治療	知念 孝敏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	650 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
61	直腸環境の特殊性に着眼した潰瘍性大腸炎再燃機序の解明	荻野 治栄	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
62	腸管運動の成熟・維持に果たす腸内細菌の役割と分子機構	白 曉鵬	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
63	昼夜環境因子に注目した消化管粘膜バリア機能の概日リズムと分子機構の解明	蓑田 洋介	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
64	次世代の内視鏡診断・治療法の開発における基盤的研究	蓑田 洋介	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	45 万円	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター(受託)
65	内視鏡下消化管粘膜バリア機能測定法の確立とLeaky gutを介した全身疾患の制御機構の解明	蓑田 洋介	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	100 万円	補	内視鏡医学研究振興財団
66	神経性ニコチン受容体を標的とした便排出障害型慢性便秘症の病態解明	伊原 栄吉	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	200 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
67	AI及びシングルセル解析を用いた膵神経内分泌腫瘍の不均一性の解明	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
68	膵癌オルガノイドを用いた形態学的サブタイプ分類の試みと臨床応用	植田 圭二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
69	ヒト由来膵癌オルガノイドを用いたPDXマウス実験による肝転移機序の解明	寺松 克人	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
70	膵癌患者由来オルガノイドを用いた個別化医療の開発	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	300 万円	補	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団・2023年度研究助成金
71	神経内分泌腫瘍の発生機構の解明	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	30 万円	補	公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団・2023年度奨学寄附金
72	患者由来オルガノイドを用いた高齢者膵癌に対する至適治療戦略の構築	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	100 万円	補	公益財団法人 大和証券財団・2023年度(第50回)調査研究助成

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
73	AIを用いた膵神経内分泌腫瘍術後再発因子の同定と喫煙習慣の関連	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	50 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
74	多発性骨髄腫の不均一性を考慮した経時的一細胞RNA解析による薬剤耐性遺伝子の同定	土師 正二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	経時的scRNA-seq解析による多発性骨髄腫の薬剤反応性遺伝子の同定	土師 正二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	40 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
76	NASH病態進展における肝臓非実質細胞の関与	国府島 庸之	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
77	一細胞遺伝子発現解析を用いた閉経後NASH発症機序の解明	田中 正剛	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	Extracellular Trapsに着目した肝障害の炎症プロセスの解明	合谷 孟	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
79	免疫応答と細胞間相互作用に注目した急性肝不全の病態解明	□ 桑野 哲史	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
80	フォンタン関連肝疾患における肝線維化の病態解明	井本 効志	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
81	喫煙が肝障害時の肝細胞の可塑性、多様性に及ぼす影響の解明	合谷 孟	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	100 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
82	腸内細菌-脳腸相関から見た神経性やせ症の病態解明と新しい栄養療法の開発	須藤 信行	心療内科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
83	ストレス関連疾患における腸内細菌由来ヒスタミンの役割:新しい病態機序の提唱	須藤 信行	心療内科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
84	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	細井 昌子	心療内科	1,500 万円	補	厚生労働省関連補助金
85	潰瘍性大腸炎における腸管内カテコラミンの病態関与の解明	朝野 泰成	心療内科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
86	神経性やせ症に対するシンバイオティクス投与の有効性評価:ランダム化比較試験	波多 伴和	心療内科	86 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
87	神経性やせ症の病態形成に尿毒症毒素が及ぼす影響の解明	波多 伴和	心療内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
88	重症神経性やせ症に対する入院認知行動療法のエビデンスと治療バイオマーカーの確立	高倉 修	心療内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
89	中枢神経系自己免疫性疾患における性染色体とHLAの相互的な病態寄与機構の解明	磯部 紀子	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
90	多系統萎縮症モデルマウスを用いた画期的ミクログリア標的療法の開発	松瀬 大	脳神経内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
91	ヘミチャネル阻害薬を用いた α シヌクレイン伝播阻止による多系統萎縮症の治療法開発	眞崎 勝久	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
92	中枢神経炎症性疾患の治療を遺伝・免疫・血清学的指標を用いて最適化する方法の確立	渡邊 充	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
93	免疫学的視点からみた中枢性神経障害性疼痛の病態解明ならびに新規治療法開発	藤井 敬之	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
94	CD20陽性T細胞とB細胞に注目した多発性硬化症病態の解明	篠田 紘司	脳神経内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
95	「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群」(ME/CFS)の実態調査および客観的診断法の確立に関する研究	磯部 紀子	脳神経内科	80 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
96	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	磯部 紀子	脳神経内科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
97	プリオン病のサーベイランスと感染症予防に関する調査	磯部 紀子	脳神経内科	150 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
98	神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	磯部 紀子	脳神経内科	55 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
99	神経免疫疾患領域における難病の医療水準と患者のQOL向上に資する研究	磯部 紀子	脳神経内科	40 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
100	スモンに関する調査研究	松瀬 大	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
101	中枢神経系微小炎症における遺伝的要因と疾患表現型の関連性の解析	磯部 紀子	脳神経内科	260 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
102	経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	磯部 紀子	脳神経内科	351 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
103	抗plexin D1抗体及び新規発見抗neuropil抗体陽性アトピー性脊髄炎・自己免疫性神経障害性疼痛の新診療ガイドライン作成のためのエビデンスとレジストリ構築	磯部 紀子	脳神経内科	195 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
104	新規発見ノド抗原に基づいたノド抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎/中枢末梢連合脱髄症の診断基準・診療ガイドライン作成のためのエビデンスの創出とバイオバンク・レジストリ構築	磯部 紀子	脳神経内科	104 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
105	ヒト末梢血誘導型ミクログリア細胞(iMG)技術を用いた認知症の病態機序解析ならびに臨床症状と細胞機能との相互解析による新規治療標的の探索	山崎 亮	脳神経内科	325 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
106	患者報告アウトカムの取得率及び信頼性向上のためのガイドライン案策定	小早川 優子	脳神経内科	260 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
107	Plexin経路制御による神経障害性疼痛治療開発	藤井 敬之	脳神経内科	1081,6 万円	補 国立研究開発法人 科学技術振興機構
108	マイオカインによる老化進展制御機構の解明	絹川 真太郎	循環器内科	337 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	O結合グリコシル化制御に基づくサルコペニアの新規治療法開発	絹川 真太郎	循環器内科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
110	キラルアミノ酸メタボローム解析に基づく心不全の病態解明と治療法の確立	井手 友美	循環器内科	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
111	心血管の炎症における酸化ステロールの分子生物学的役割と治療標的の解明	的場 哲哉	循環器内科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
112	肺高血圧症における炎症の新規分子機序解明	阿部 弘太郎	循環器内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
113	レジストリを活用した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するエドキサパンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	阿部 弘太郎	循環器内科	2,000 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
114	心不全におけるミトコンドリア-小胞体接触の役割の解明と新規治療の開発	松島 将士	循環器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
115	難治性心房細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術における「神の目」と「神の技」を具現化するための電気生理所見および治療データの収集基盤構築と利活用のための研究	坂本 和生	循環器内科	1,294 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
116	心房細動において非不整脈時の生体情報から至適心筋焼灼部位を詮索する機械学習の開発	坂本 和生	循環器内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
117	Fontan術後患者におけるSGLT2阻害薬の心保護メカニズムの解明	坂本 一郎	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
118	心不全における腎交感神経求心路の役割:「腎→脳→心」の臓器連携機序の解明	篠原 啓介	循環器内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
119	HFpEFにおけるカルシウム・カルモジュリン依存性PDE1の機能解明と治療応用	橋本 亨	循環器内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
120	慢性腎臓病による血管石灰化における単球/マクロファージの役割の解明	香月 俊輔	循環器内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
121	ドキシソルピシン心筋症におけるフェロトーシス誘導の分子機序解明と新たな治療法の確立	池田 昌隆	循環器内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
122	進行非小細胞肺癌に対する複合免疫療法の標準治療確立のためのランダム化比較第Ⅲ相試験	岡本 勇	呼吸器内科	1,500 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
123	EGFR遺伝子変異陽性肺癌における抗体薬物複合体の作用機序に関する研究	岩間 映二	呼吸器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
124	免疫チェックポイント分子リガンドを制御するmiRNAを用いたバイオマーカー開発	米嶋 康臣	呼吸器内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
125	EGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるDrug tolerant persister細胞の新規遺伝子の同定	柴原 大典	呼吸器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
126	Hippo経路分子MOB1に着目したEGFR変異陽性肺癌の新規標的治療法開発	田中 謙太郎	呼吸器内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
127	ワクチン感受性低下を来しうるSARS-CoV-2新規変異株の予測	池亀 聡	呼吸器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
128	SARS-CoV-2 Spikeタンパク質研究のための限定増殖型組換えウイルスの開発	池亀 聡	呼吸器内科	150 万円	補 公益財団法人 柿原科学技術研究財団 科学技術研究助成
129	SARS-CoV-2新規変異株を予測同定する mutagenesis screening	池亀 聡	呼吸器内科	250 万円	補 公益財団法人 武田科学振興財団 2023年度ハイリスク新興感染症研究助成
130	肺ウイルス感染による宿主免疫応答に対するPI3キナーゼδ阻害剤の効果の解明	神尾 敬子	呼吸器内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
131	喘息の好酸球性気道炎症における細胞間接着分子クローニン-3の新規役割の解明	石井 由美子	呼吸器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
132	細胞間接着分子クローニン-3のアレルギー性免疫応答における新規役割の解明	石井 由美子	呼吸器内科	100 万円	補 公益財団法人 MSD生命科学財団
133	オンメルチニブと免疫チェックポイント阻害薬による薬剤性間質性肺炎の病態解明	坪内 和哉	呼吸器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
134	特発性肺線維症および合併肺高血圧症における血管内皮細胞の細胞老化の役割の解明	坪内 和哉	呼吸器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
135	進行性線維化を伴う間質性肺疾患に対するニテダニブと抗炎症治療との併用療法の早期導入の有効性および安全性を評価するランダム化比較第3相試験	坪内 和哉	呼吸器内科	500 万円	補 公益財団法人 柿原科学技術研究財団 科学技術研究助成
136	マサイトメリーを用いた線維化を伴う間質性肺炎におけるマクロファージ集団の検討	高野 智嗣	呼吸器内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
137	正常子宮内膜の老化とがん化を分けるメカニズムの解明	加藤 聖子	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
138	子宮体癌がん幹細胞の多様性・可塑性に関する分子機構解明と多角的新規治療法の開発	加藤 聖子	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	910 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
139	卵巣癌におけるセンチネルリンパ節同定法の新規開発と縮小手術に向けた新たな取り組み	矢幡 秀昭	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
140	子宮体癌細胞の上皮間葉移行を介した浸潤能に関わる代謝調節機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
141	婦人科がんの発生および悪性形質獲得における三量体Gタンパクの役割	八木 裕史	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
142	卵巣癌におけるゲノムワイドな5hmC解析と臨床病理学的因子に関する研究	小野山 一郎	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
143	体外培養卵子誘導系/ChIL-seqを用いたヒト原始卵胞のFOXO1Aの機能解析	濱田 律雄	産科婦人科、総合周産期母子医療センター(母性胎児)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
144	小児期に発症する心筋炎の病因と心筋障害機構の解析	大賀 正一	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計:18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
145	不均一かつ多様なミクログリア構成にもとづく脱髄性疾患の新規治療点の解明	酒井 康成	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
146	小児ホジキンリンパ腫の病態解明による治癒率のさらなる向上への試み	古賀 友紀	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
147	極低出生体重児が患う合併症に影響する血栓性素因の探索	落合 正行	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
148	高中心静脈圧/高心拍出型Failed Fontanの病態解明と治療法の確立	永田 弾	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
149	新規遺伝性自己炎症性疾患:ROSAH症候群(ALPK1変異)の病態解析と治療確立	石村 匡崇	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
150	極低出生体重児における鉄制御不応の病態解析	藤吉 順子	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
151	C3 glomerulopathyにおける補体-単球相互作用の解析	西山 慶	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
152	川崎病冠動脈炎病変形成への小胞体ストレスの関与	本村 良知	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
153	小児白血病予後向上への試み～再発・難治高二倍体急性リンパ性白血病の病態解明～	小野 宏彰	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
154	発達期の欠伸でんかんと注意欠如・多動性障害の関連の解明～定量的脳波・遺伝子解析～	園田 有里	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
155	重症新生児単純ヘルペスウイルス感染症の遺伝的素因探索と病態解析モデルの確立	園田 素史	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
156	国内に分布する病原性エルシニアのゲノム解析による遺伝的特性と潜在的病原性の解明	安岡 和昭	小児科、総合周産期母子医療センター(小児)	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
157	膵癌に対する抗腫瘍免疫抑制性環境の改変を目指したCAR-T療法の開発	中村 雅史	第一外科	1,235 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
158	ネオアンチゲン反応性リンパ球を用いた治療抵抗性乳癌治療法の開発	久保 真	第一外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
159	TIME誘導能に応じた膵癌サブタイプ分類と個別TIME改変を目指した新規治療戦略	大内田 研宙	第一外科	663 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
160	マイクロバイオームと腫瘍関連好中球から見た膵がんミニエコシステム	池永 直樹	第一外科	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
161	膵癌における腫瘍促進性好中球の機能獲得機序解明と新規抗体医薬開発	堀岡 宏平	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
162	腸内細菌叢による大腸癌subtypingとその免疫微小環境のscRNAseq解析	永吉 絹子	第一外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
163	scRNAseqによる血液循環腫瘍細胞検出と腫瘍内空間的トランスクリプトミクス	進藤 幸治	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
164	Dysbiosisと分子異常に着目した大腸de novo発癌の解明と治療への応用	田村 公二	第一外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
165	遺伝子変異を標的とした膵癌関連Microbiomeと癌間質相互作用の解明	阿部 俊也	第一外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
166	膵癌におけるマクロファージ免疫チェックポイントdual mechanismの解明	岩本 千佳	第一外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
167	移植免疫における腸内細菌叢の役割の解明	岡部 安博	第一外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
168	膵移植グラフト予後予測ツールの開発	加来 啓三	第一外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
169	腸管ディスバイオシスによる移植免疫メカニズム	野口 浩司	第一外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
170	独創的方法により作成したiPS肝細胞を用いた新規肝不全治療法の開発	吉住 朋晴	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
171	ヒト腹部大動脈瘤形成に腸内細菌が果たす役割の探求	古山 正	第二外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
172	急性肝不全に対する自己iPS細胞を用いた革新的治療法の開発	原田 昇	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
173	Cas9発現iPS細胞を用いた機能特化型肝再生による、革新的肝不全治療の開発	森田 豊和	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
174	バイオマーカーおよびプロテアソーム阻害剤を用いた新たなイリノテカン療法の開発	安藤 幸滋	第二外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
175	機械学習(AI)を用いた画像診断で同定困難な大腸癌微小肝転移の高精度同定法の開発	中西 良太	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
176	乳癌を可視化する蛍光プローブ2剤を用いた術中迅速診断法(combine法)の開発	上尾 裕紀	第二外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
177	悪性胸膜中皮腫の胸腔内マクロファージサブセットを標的とした新規免疫療法の開発	河野 幹寛	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
178	臓器移植患者に対する新型コロナウイルスワクチンの有効性の評価・投与間隔の検討	富山 貴央	第二外科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
179	肝細胞癌における転移の分子機構および腫瘍免疫回避機構の解明	富野 高広	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
180	メタボロゲノミクス解析による胃癌術後腸内細菌叢の解明と術後栄養障害の革新的治療法の開発	太田 光彦	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
181	肝癌微小環境における薬物療法耐性機序解明と新規治療法の開発	伊藤 心二	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
182	肺扁平上皮癌に対する新規グルタミントランスporter阻害療法の確立	竹中 朋祐	第二外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
183	生体肝移植後長期予後を目指した革新的なグラフト質の評価法の樹立	萱島 寛人	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
184	治療抵抗性を獲得した食道癌への局所免疫を応用した革新的治療法の開発	中ノ子 智徳	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
185	BRCA1/2遺伝子変異陽性乳癌におけるPARP阻害剤耐性獲得機序の解明と耐性克服法の探索	茂地 智子	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
186	新規抗炎症性サイトカインIL38が腹部大動脈瘤形成に及ぼす影響と機序の解明	森崎 浩一	第二外科	182.0 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
187	肝細胞癌術後再発における転移・悪性度獲得の機序解明と革新的治療戦略の構築	吉屋 匠平	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
188	制御性T細胞が虚血肢の新生血管成熟において果たすメカニズムの解明	松原 裕	第二外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
189	マクロファージ免疫チェックポイント阻害による新規食道癌治療法の基礎研究	胡 慶江	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
190	食道扁平上皮癌における炎症関連シグナル活性化の分子機序とその制御	川副 徹郎	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
191	癌微小環境とサルコペニアの連関をターゲットとした革新的な膵癌治療法の探索	間野 洋平	第二外科	117.0 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
192	Interleukin(IL)-38を標的とした肺癌の新規免疫療法の開発	木下 郁彦	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
193	肝癌免疫微小環境におけるTA-HEV発現の意義と新規バイオマーカーとしての可能性の探求	利田 賢哉	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
194	B型肝炎再活性化に対する、費用対効果に優れた予防および治療法の開発	吉住 朋晴	第二外科	559 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
195	骨軟部腫瘍に対する免疫療法とゲノム医療を組み合わせた精密個別化医療の研究	遠藤 誠	整形外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
196	金属結合蛋白メタロチオネインの破骨細胞分化と機能解明と骨粗鬆症治療への応用	藤原 稔史	整形外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
197	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	藤原 稔史	整形外科	25 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
198	ペルテス病大腿骨頭の壊死骨修復過程における骨端軟骨の役割の検討	山口 亮介	整形外科	200 万円	補 公益財団法人 武田科学振興財団

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
199	高精度動態解析手法を用いた生体肩関節および人工肩関節の三次元動態解析	小菌 直哉	整形外科	216 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
200	脊椎長範囲固定が日常生活動作に及ぼす影響と有効な術後リハビリテーション治療の開発	川口 謙一	整形外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
201	実臨床に即した変形性関節症の病期特異的治療ターゲットの探索	赤崎 幸穂	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
202	久山町研究におけるロコモ・フレイルコホートの設立	赤崎 幸穂	整形外科	350 万円	補 日本整形外科学会 プロジェクト研究事業
203	慢性期脊髄損傷における脊髄オルガノイド移植による治療法の開発	幸 博和	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
204	ロボティックアーム支援人工股関節の高精度三次元動態解析と患者満足度上昇への応用	原 大介	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
205	高精度股関節三次元動態解析・コンピュータシミュレーションの股関節疾患治療への応用	原 大介	整形外科	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
206	高精度動態・力学解析による股関節疾患病態の解明	中島 康晴	整形外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
207	神経成長因子が骨壊死修復過程で果たす役割の解明と骨頭圧潰メカニズムの検討	本村 悟朗	整形外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
208	損傷脊髄中のグリア細胞・炎症細胞の遊走制御による治療法の開発	小早川 和	整形外科	351 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
209	グリア瘢痕形成メカニズムの包括的理解	小早川 和	整形外科	910 万円	委 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) 創発的研究支援事業
210	軟骨肉腫の悪性化機序の解明および新規治療ターゲットの検索	鍋島 央	整形外科	33 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
211	ミトコンドリアを標的とした膠芽腫治療確立に向けた分子メカニズムの解明	吉本 幸司	脳神経外科	728 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
212	悪性神経膠腫におけるテモゾロミド耐性獲得においてオートファジーが果たす役割の解明	吉本 幸司	脳神経外科	10 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
213	膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化	吉本 幸司	脳神経外科	30 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
214	造影病変全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究	吉本 幸司	脳神経外科	20 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
215	膠芽腫の増殖抑制を目的にmicroRNA含有ナノ粒子によるセリン合成経路の新規抑制療法	中溝 玲	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
216	下垂体腺腫における血中cfDNAのエピジェネティクス解析と臨床応用	空閑 太亮	脳神経外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
217	循環器救急疾患に対する救急医療現場の連携推進のための課題抽出と専門医間の連携構築を目指したガイドブックの作成	有村 公一	脳神経外科	50 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
218	計算モデルにガイドされた急成長を伴う時空間モデルの開発	有村 公一	脳神経外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
219	liquid biopsyによる神経膠腫の網羅的分子診断	三月田 祐平	脳神経外科	107 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
220	脳梗塞に対する新規再生医療の構築:細胞移植治療とリハビリテーションの併用療法	下川 能史	脳神経外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
221	cfDNAを用いる神経膠腫liquid biopsyの発展	藤岡 寛	脳神経外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
222	Hyperspectral Cameraを用いた脳神経外科術中支援システムの開発	岩城 克馬	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
223	脳脊髄液由来cell-free DNA中のミトコンドリアゲノムによる成人びまん性神経膠腫のリスクバイオプシーの開発	尾辻 亮介	脳神経外科	100 万円	補 公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構
224	悪性脳腫瘍に対するミトコンドリア翻訳阻害薬を用いた新規治療開発	三木 健嗣	脳神経外科	50 万円	補 公益財団法人 臨床研究奨励基金
225	虚脱肺への肺保存液投与は低侵襲心臓手術後の片側性肺水腫の予防となりうるか?	満尾 博	心臓血管外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
226	循環停止後ドナー心臓の右室機能温存:過膨張予防介入がもたらす効果	内山 光	心臓血管外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
227	循環停止後ドナー移植心の浸漬保存による心筋保護効果の検討	塩瀬 明	心臓血管外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
228	経皮的V-A ECMO下の左室ベントとIMPELLAの比較	田ノ上 禎久	心臓血管外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
229	TAVI施行後の人工弁血栓症発症予測のためのValsalva洞内血流解析	園田 拓道	心臓血管外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
230	虚血心筋再灌流モデルを用いた、cMyBP-Cとその結合蛋白FHOD3の機能の解明	神尾 明君	心臓血管外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
231	一酸化窒素ガスは低侵襲心臓手術後の片側性肺水腫の予防に寄与しうるか?	牛島 智基	心臓血管外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
232	難治性神経芽腫根絶を目的とした効率的な低侵襲養子免疫治療の開発	田尻 達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	481 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
233	腸管不全関連肝障害(IFALD)における新規細胞死フェロトーシス機序の解明	松浦 俊治	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
234	排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る	宮田 潤子(秋吉 潤子)	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
235	ダイレクトプログラミングによるhiHepPCを用いた細胞移植に関する研究	河野 雄紀	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
236	腸管運動機能不全における形態学的特徴の解明および新しい診断基準の開発に関する研究	玉城 昭彦	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
237	ゼブラフィッシュにおける筋発生異常モデルと新規薬剤プラットフォームの作成	近藤 琢也	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
238	大型自己細胞パッチによる新規先天性横隔膜ヘルニア根治術の開発	張 秀英	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
239	腸管神経節細胞僅少症への幹細胞移植における大建中湯を用いた治療戦略の開発	入江 敬子	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
240	内視鏡外科技術の“定量化”と“セルフフィードバック”を目指した教育システムの構築	福田 篤久	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
241	Alagille症候群における胆管再生技術開発による新規治療法の確立	前田 翔平	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
242	小児良性固形腫瘍に対する免疫学的糖鎖解析法を用いた診断システムの開発	高橋 良彰	小児外科、成育外科、小腸移植外科、総合周産期母子医療センター(小児外科)	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
243	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	辻 学	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	19,396 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
244	かゆみ・炎症・バリアからみたアトピー性皮膚炎におけるMAPKの役割解明と治療応用	中原 剛士	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
245	乳児湿疹の病態の解析とアトピー性皮膚炎への移行を予測するバイオマーカーの探索	中原 真希子	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
246	がん幹細胞に着目した皮膚希少がんの解析と新規治療法の開発	伊東 孝通	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
247	SLE皮疹におけるオートファジー/LAPバランスを標的とした新規治療法の開発	冬野 洋子	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
248	皮膚悪性腫瘍に対する抗体薬物複合体作製法の確立と検証	田中 由香	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
249	iPS細胞由来ヒト感覚神経を用いたアトピー性皮膚炎における痒みのメカニズムの探求	山村 和彦	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
250	アトピー性皮膚炎における新規そう痒惹起物質の同定とその感知機構の解明	山村 和彦	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
251	進行腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験	松元 崇	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,300 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計:17件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
252	尿/血液循環腫瘍 DNAを用いた泌尿器癌のモニタリング法の開発	松元 崇	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	273 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
253	尿路上皮がんに対する超高感度バイオセンサの開発とその臨床的有効性の検討	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	390 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
254	新規尿中がんバイオマーカーを用いた簡易型センサデバイスの開発と臨床的有用性検討	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
255	去勢抵抗性前立腺癌におけるアンドロゲン合成活性化機序の解明	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
256	膀胱癌におけるFBXW7の治療抵抗性獲得の解明およびctDNAによる予後予測	松元 崇	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
257	腎癌診療におけるハイブリットAI画像支援技術の開発研究	小林 聡	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
258	Tri-scan強調画像を用いた膀胱内視鏡における膀胱腫瘍セグメンテーションシステム	牟田口 淳	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
259	膀胱PDGFR α +細胞は膀胱線維化を惹起するの?モデルマウスの作成と病態の解明	李 賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
260	母子生活支援施設の親子を育む集団親子相互交流療法の実装研究	山下 洋	精神科神経科、子どものこころの診療部	200 万円	補	公益財団法人 日本生命財団 2023年度児童・少年の健全育成実践的研究助成
261	低分子化合物カクテルによる急性期網膜再生医療	園田 康平	眼科	377 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
262	硝子体網膜リンパ腫の眼内腫瘍微小環境による腫瘍制御機構の解明	武田 篤信	眼科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
263	網膜変性を促進する末梢血免疫細胞サブセットの同定とこれらを標的とした治療開発	村上 祐介	眼科	676 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
264	Solid-in-Oil製剤技術を用いた増殖性硝子体網膜症治療薬開発	石川 桂二郎	眼科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
265	MAIT細胞活性化による慢性炎症性眼疾患治療の確立	長谷川 英一	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
266	増殖糖尿病網膜症における線維増殖に対する薬物治療法の構築	小林 義行	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
267	新しい網膜血管定量解析を用いた脳萎縮予測のための網膜パラメータ意義の検証	上田 瑛美	眼科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
268	前向きコホート研究に基づいたOCT緑内障発症リスク予測モデルの開発	藤原 康太	眼科	299 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
269	ぶどう膜炎における生物学的製剤の治療感受性と予後予測モデルの開発	伊東 崇子	眼科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
270	ヒト眼炎症性疾患の炎症局所の新たな病態解明	八幡 信代	眼科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
271	緑内障におけるゲノムの酸化損傷の影響についての検討	中武 俊二	眼科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
272	加齢黄斑変性症の長期発症率及び食品・栄養素との関連:久山町研究	橋本 左和子	眼科	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
273	TNFRSF10制御によるAMD線維性瘢痕の治療法開発	森 賢一郎	眼科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
274	病的近視発症リスク予測モデルの開発に向けた前向きコホート研究	安田 美穂	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	炎症性単球を標的とした網膜変性治療薬のグローバル開発	村上 祐介	眼科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(帰国発展研究)
276	Vogt-小柳-原田病予後予測リスクスコア確立と重症化病態解明	園田 康平	眼科	1,950 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
277	網膜色素変性の進行を抑制するスタチン封入ナノ粒子薬の開発	村上 祐介	眼科	7,141 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
278	Mechanisms of herpesvirus-induced acute retinal necrosis, a sight threatening eye disease	八幡 信代	眼科	202 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
279	失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	秋山 雅人	眼科	731 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
280	Wntシグナル賦活化による聴神経幹細胞の増殖制御を介した聴覚再生	野田 哲平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
281	吃音のある中学生及び高校生に対する社交不安症を考慮した支援法の開発	菊池 良和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	頭頸部HPV関連癌の臨床病理学的事項の解明及び同定方法の確立	次郎丸 梨那	耳鼻咽喉・頭頸部外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
283	臨床応用を目指した頭頸部癌におけるctDNAモニタリングシステムの構築	古後 龍之介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
284	側頭骨扁平上皮癌におけるNLRP3インフラマゾーム機構を介した転移制御機構の解明	小宗 徳孝	耳鼻咽喉・頭頸部外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
285	成人吃音者に併発する社交不安症を日米で比較する国際共同研究	菊池 良和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	962 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化A)
286	ナビゲーション用基準座標の重心位置を自動制御する新規レジストレーション法の開発	松本 希	耳鼻咽喉・頭頸部外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
287	小児の効果的で安全な補聴器装用に関する研究	野田 哲平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	833 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
288	新たなASLアプローチを用いたMRAおよび灌流画像の開発と臨床応用	梅尾 理	放射線科	123 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
289	Variable-TR法を用いた4D-ASLによる脳循環パラメータの定量的評価法の開発	梅尾 理	放射線科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
290	急性期脳梗塞と無症候性脳血管障害の病態解明に向けた高速MR灌流画像撮像法の開発	山下 孝二	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
291	小児脳腫瘍のPrecision Diagnosisの確立	菊地 一史	放射線科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
292	頭頸部悪性腫瘍に対するPET/MRによる画素単位でのマルチパラメトリック解析	鷺山 幸二	放射線科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
293	低線量X線肺血流イメージングを用いた慢性血栓塞栓性肺高血圧症の新規診断法の確立	山崎 誘三	放射線科	34 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
294	胸部X線動態撮影と人工知能を組み合わせた全自動式肺塞栓症診断システムの開発	山崎 誘三	放射線科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
295	胸部X線動態解析に基づいた新たな呼吸関連機能指標および評価法の確立	樋田 知之	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
296	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	牛島 泰宏	放射線科	182 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
297	AR(拡張現実)を利用した腎細胞癌に対するCTガイド下凍結療法の開発	牛島 泰宏	放射線科	86 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
298	マルチパラメトリックMRIを用いた肝再生の評価・予測モデルの確立	藤田 展宏	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
299	APTイメージングを用いた膵臓嚢胞性病変の診断の有用性の確立	石松 慶祐	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
300	スペクトラルCTを用いた胃癌リンパ節転移診断の確立	鶴丸 大介	放射線科	24 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
301	機械学習と多層検出器CTを用いた食道癌におけるがん周囲微小環境の定量的画像解析	西牟田 雄祐	放射線科	124 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
302	深層学習を応用した肺癌放射線治療後の肺臓炎重症度予測と治療法最適化システムの開発	塩山 善之	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
303	ドラッグリポジショニングを用いた活性酸素抑制を回避する新規放射線増感剤治療の開発	脇山 浩明	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
304	セルフリーDNAのマルチオミクス解析による食道癌の放射線治療効果判定法の確立	久野 修	放射線科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
305	左心補助人工心臓装着に伴う感染症に対するFDG-PET/CTを用いた新たな診断方法の確立	北村 宜之	放射線科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
306	急性肝不全に対する硫化水素キノン酸化還元酵素(SQOR)の効果の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科、手術部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
307	脂肪由来間葉系幹細胞を用いた神経障害性疼痛に対する効果的な治療法の開発	前田 愛子	麻酔科蘇生科、手術部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
308	レドックス評価による劇症化予測を目的とした心筋炎の非侵襲的診断法の開発研究	水田 幸恵	麻酔科蘇生科、手術部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
309	神経障害性疼痛における脊髄後角HCN4発現ニューロンの病態生理学的機能	中川 拓	麻酔科蘇生科、手術部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
310	CRPSの発症および症状の増悪に対するデクスメトミジンの効果	山浦 健	麻酔科蘇生科、手術部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
311	循環制御用ロボット麻酔システムの開発	山浦 健	麻酔科蘇生科、手術部	320 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
312	ヒトパピローマウイルス整備事業	山浦 健	麻酔科蘇生科、手術部	983 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
313	全身麻酔補助薬としてのデクスメトミジンによる術後高次脳機能低下の予防効果	東 みどり子	麻酔科蘇生科、手術部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
314	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村田 昌之	総合診療科	1,469 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成))
315	非アルコール性脂肪肝疾患関連遺伝子変異が脂質代謝および動脈硬化に及ぼす影響の検討	池崎 裕昭	総合診療科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
316	腫瘍細胞と骨髄微小環境の相互作用を標的とする新規造血管腫瘍制御法の開発	國崎 祐哉	検査部	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
317	うつ病態と関連する血中トリプトファン・キヌレニンの新規運搬因子の同定と役割解明	瀬戸山大樹	検査部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
318	空間的画像特徴量解析を用いた精密放射線治療計画法の開発	廣瀬 貴章	放射線部	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
319	深層学習を用いた心電図同期CT画像の生成と心疾患予防医療への応用	小島 幸	放射線部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
320	敗血症における急性腎障害の発症と慢性腎臓病への進展に関わるメカニズムの解明	牧 盾	救命救急センター、集中治療部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
321	慢性腎臓病を併存する敗血症における高尿酸血症が中枢性交感神経系と予後へ与える影響	西原 正章	救命救急センター、集中治療部	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
322	ARDSの病態解明 血管内皮と肺胞上皮が形成する肺胞隔壁が破綻するメカニズムについて	水口 壮一	救命救急センター、集中治療部	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
323	重篤小児患者の筋力低下の実態とリスク因子の解明	松岡 若利	救命救急センター、集中治療部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
324	空間的マルチオミクス解析による軟部肉腫の腫瘍微小環境の解明と代謝標的治療法の探索	小田 義直	病理診断科、病理部	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
325	シングルセル時空間マルチオミクス解析によるメルケル細胞癌の病態解明	岩崎 健	病理診断科、病理部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
326	空間的メチローム・プロテオーム解析による間質性肺炎合併肺癌の腫瘍微小環境の解明	橋迫 美貴子	病理診断科、病理部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
327	HPV関連頭頸部癌の発癌にエピトランスクリプトーム異常はどのように寄与するか	谷口 緑	病理診断科、病理部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
328	メルケル細胞癌の腫瘍微小環境内のメタボロインタラクトームを標的とした新規治療戦略の確立	岩崎 健	病理診断科、病理部	100 万円	委 公益財団法人 新日本先進医療研究財団
329	軟部肉腫の腫瘍微小環境内のメタボロインタラクトームを標的とした個別化医療の臨床実装	岩崎 健	病理診断科、病理部	100 万円	委 公益財団法人 小林がん学術振興会
330	肝内胆管癌のサブタイプ別にみる分子異常と免疫微小環境の包括的研究	相島 慎一	病理診断科、病理部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
331	ex vivo還流培養による精緻な組織構築を実現したミニチュアヒト肝臓の創成	山下 洋市	病理診断科、病理部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
332	口腔細胞診における遺伝子検査法(GSC)の創出とその臨床応用	山口 知彦	病理診断科、病理部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
333	シングルセル解析を用いた口腔腫瘍間質由来破骨細胞形成因子(SODF)の同定	藤井 慎介	病理診断科、病理部	1,547 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))
334	唾液腺悪性腫瘍(腺様嚢胞癌)における「癌細胞-神経連関」による腫瘍形成機構の解明	藤井 慎介	病理診断科、病理部	100 万円	委 公益財団法人 UBE学術振興財団
335	早期癌に認められる異型におけるHippo-YAPシグナルの機能解析	長谷川 佳那	病理診断科、病理部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
336	歯原性間葉系幹細胞誘導因子の同定と歯の再生への応用	和田 裕子	病理診断科、病理部	62 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
337	歯乳頭に発現するSPARC関連因子による分化制御機構の解明と歯の再生の試み	和田 裕子	病理診断科、病理部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
338	超早期癌発見戦略に向けた変異細胞-隣接正常細胞-間質細胞における不安定性出現解明	清島 保	病理診断科、病理部	715 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
339	口腔扁平上皮癌の微小環境-癌細胞間シグナルの解明とその制御強化による新規治療戦略	清島 保	病理診断科、病理部	81 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
340	上皮系細胞による新たな骨代謝調節機構の解明	自見 英治郎	病理診断科、病理部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
341	白血病幹細胞特異的ミトコンドリア活性化機構の解明および新規治療モデルの確立	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
342	白血病幹細胞特異的窒素代謝機構の解明と治療応用	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	500 万円	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団
343	同種造血幹細胞移植後に残存するヒト白血病幹細胞が依存する分子メカニズムの同定と治療モデルの確立	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	100 万円	補	公益財団法人 先進医薬研究振興財団
344	ヒト白血病幹細胞特異的窒素代謝制御メカニズムの解明と治療モデルの確立	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	200 万円	補	公益財団法人 高松宮妃癌研究基金
345	MYC関連難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する新規治療標的の開発	宮脇 恒太	遺伝子・細胞療法部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
346	標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診AIなどのICTを用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,365 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
347	医療施設における標準コードの効率的なマッピング手法に関する調査および実証研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,808 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
348	クリニカルパスと診療記録を用いたLHSの実践と臨床応用評価	山下 貴範	メディカル・インフォメーションセンター	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
349	ヘルスケアプロセス管理に関する国際標準化と個別化 Learning Health Systemアプリケーションの開発研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	15,456 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
350	海外における標準化を有した高品質医療リアルワールドデータ基盤整備のための調査研究	山下 貴範	メディカル・インフォメーションセンター	400 万円	補	厚生労働行政推進調査事業費補助金
351	オートファジー依存性がん抗原放出機構の解明および免疫提示システムの強化改変	仲田 興平	光学医療診療部	663 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
352	ヒト副腎皮質腫瘍の発生機構と副腎皮質リモデリング機構の解明	福元 多鶴	臨床教育研修センター	15 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会 成人病の病因・病態の解明に関する研究助成(TMFC)
353	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	19,143 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
354	臨床研究総合促進事業「臨床研究審査委員会質向上プログラム事業」	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	1,800 万円	補	厚生労働省 医療施設運営等補助金
355	医薬品等規制調和・評価研究事業「患者報告アウトカムの取得率及び信頼性向上のためのガイドライン案策定」	小早川 優子	ARO次世代医療センター	260 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
356	希少がん診療・相談支援におけるネットワーク構築に資する研究	馬場 英司	がんセンター	150 万円	補	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 がん対策推進総合研究
357	カイコ昆虫工場モダリティによる低価格な純国産組換えワクチンに関する研究開発	下野 信行	グローバル感染症センター	1,042 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
358	新型コロナウイルス感染に起因すると考えられる精神症状に関する疫学的検討と支援策の検討に資する研究	下野 信行	グローバル感染症センター	110 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
359	inv(16)染色体異常を伴う急性骨髄性白血病におけるスプライシング異常機構の解明と新規治療法開発	島 隆宏	先端分子・細胞治療科	200 万円	補	公益財団法人 新日本先進医療研究財団

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
360	クローン造血(CH)環境の腫瘍発生・進展への機序およびCH環境の免疫学的制御	水野 晋一	先端分子・細胞治療科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
361	体液中臓器特異的miRNAに注目した病態時における体内・薬効動態変動の機序解明	家入 一郎	薬剤部	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
362	機械学習技術を用いた臨床検査値に基づく医薬品用量チェックシステムの確立と臨床応用	永田 健一郎	薬剤部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
363	尿を試料としたオミックス解析による腎移植後拒絶反応に対する早期診断法の開発	田島 壮一郎	薬剤部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
364	肝移植後の免疫寛容における鍵分子の特定と機能解明に関する研究	山本 奈々絵	薬剤部	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
365	がん悪液質に伴う骨格筋萎縮の複合的要因の精査及び、薬学的予防戦略の探索	松金 良祐	薬剤部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
366	血中microRNAを指標とした抗がん剤耐性の検出と克服への応用研究	荻野 敬史	薬剤部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
367	メタボローム解析でひも解くクロザピン薬物療法における新規モニタリング法の開発	土谷 祐一	薬剤部	48 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
368	モンゴル国での消化器疾患の人材育成とチーム医療の導入	森山 智彦	国際医療部	1,066 万円	委 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
369	アジアにおける大腸癌死亡率低下を目指した持続可能な国際遠隔医療教育	森山 智彦	国際医療部	223 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
370	アジアにおける遠隔医療教育のためのeラーニング技術研修プログラムの開発と実証	工藤 孔梨子	国際医療部	481 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
371	医療とデザインを融合した創造的教育プログラムの開発と実証	工藤 孔梨子	国際医療部	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
372	拡大内視鏡を用いた精緻な早期胃癌診断を世界に普及するための画像品質基準策定	上田 真太郎	国際医療部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
373	希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発	高橋 一郎	矯正歯科	130 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
374	上皮-間葉ネットワークにおける器官運命決定機構の解明とその応用	吉崎 恵悟	矯正歯科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
375	炭酸アパタイトの組成制御による破骨細胞の分化・活性化制御と骨形成促進機序の解明	出口 佳愛	矯正歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
376	酸化ストレスを標的とした象牙質/歯髄複合体の加齢変化の機序の解明	前田 英史	歯内治療科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
377	歯周組織発生過程の模倣を基盤とするハイブリッド構造体の創成と歯周組織再生への応用	友清 淳	歯内治療科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
378	転写因子PAX9を標的とした歯根膜幹細胞誘導因子の同定	濱野 さゆり	歯内治療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
379	根面う蝕を標的としたフェージ療法の創出	小幡 純子	歯内治療科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
380	ナノハイドロキシアパタイト含有レジンに応用した歯周組織再生誘導型歯質接着材の開発	杉井 英樹	歯内治療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
381	神経堤細胞賦活化低分子化合物を核とする次世代型歯周組織再生薬の創出	友清 淳	歯内治療科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
382	ドーパミンの下流のシグナル経路による象牙質形成機構の解明	糸山 知宏	歯内治療科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
383	歯根膜幹細胞転換を誘導する化合物の探索およびそれを用いた新規歯周組織再生法の創出	長谷川 大学	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
384	JNK阻害による抗炎症作用は歯周組織再生に関与するか?	兼子 大志	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
385	老化細胞により誘導されたマクロファージ由来因子を用いた修復象牙質形成促進材の開発	門脇 正敬	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
386	統合オミクス解析を介した糖尿病性歯周炎の病態解明を目指す国際共同研究	西村 英紀	歯周病科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)))
387	アメリジニン・CRP78複合体を基軸とした歯周組織再生と難治性免疫疾患への挑戦	讃井 彰一	歯周病科	598 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
388	歯肉幹細胞由来エクソソームmiRNAを標的とした次世代歯周病治療の基盤構築	福田 隆男	歯周病科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
389	歯肉増殖症や肥満に関わる新規分子SPOCK1のシグナリング経路の探索	山下 明子	歯周病科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
390	歯周病と動脈硬化—微細炎症合併日本人型軽度肥満モデルでの検討	岩下 未咲	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
391	PGD2シグナリング経路に着目した歯周炎が糖尿病性腎症を増悪する分子機序の解明	新城 尊徳	歯周病科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
392	歯肉幹細胞由来エクソソームの骨関連細胞の制御と分泌機構の解明	中尾 雄紀	歯周病科	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
393	歯肉幹細胞由来エクソソームによる膵β細胞機能の保護と糖尿病性歯周炎予防効果の検証	西村 優輝	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
394	SP-1賦活化歯肉幹細胞由来エクソソームによるアデニン代謝を標的とした炎症制御	渡邊 ゆかり	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
395	小胞体ストレスを介した2型糖尿病による歯周病の増悪制御法の開発	林 千華子	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
396	歯肉局所のインスリン抵抗性改善による糖尿病関連歯周炎の革新的治癒促進法開発	瀬々 起朗	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
397	NF- κ Bを応用した新たな歯周炎治療戦略への展開	青木 司	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
398	インプラント周囲炎による骨欠損の完全回復を目指した新規抗菌性骨補填材の開発	竹村 陽子	義歯補綴科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
399	再生医療へ向けた新規3次元的細胞制御への試み	古橋 明大	義歯補綴科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
400	光触媒活性に優れた紫外線応答チタンの創製とインプラント治療への応用	坂本 安繁	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
401	AIを用いた即時負荷・早期負荷のための歯科インプラント術前診断支援システムの構築	神野 洋平	義歯補綴科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
402	スタチン系脂質異常症治療薬を用いた薬剤関連顎骨壊死に対する治療メカニズムの解明	三田 公麿	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
403	光学印象を用いた多数歯欠損症例の最終補綴装置作製における新規手法の検討	三田 公麿	義歯補綴科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
404	間葉系幹細胞関連疾患の概念構築と病因、治療法の解明	鮎川 保則	義歯補綴科	806 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
405	腫瘍微小環境におけるPAR1を介した口腔癌の高度悪性形質獲得機構の解明	川野 真太郎	顎口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
406	樹状細胞を新機軸とした骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態解明と新規治療法・予防法開発	梯 裕恵	顎口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
407	IgG4関連疾患の創薬ターゲットとなり得る病因関連エンハンサーRNAの探索	前原 隆	顎口腔外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
408	IgG4関連疾患の異所性胚中心オルガノイドから病因解明と新規モデル動物の樹立	前原 隆	顎口腔外科	663 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
409	Expansion of CD4+ cytotoxic T lymphocytes and IgD-CD27- double negative B cells in COVID-19 and autoimmune diseases including IgG4-related disease	金子 直樹	顎口腔外科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
410	IgG4関連疾患、木村氏病およびCOVID-19におけるクラススイッチ機構の解明	金子 直樹	顎口腔外科	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
411	疾患特異的環境下における自己抗体産生B細胞とその抗原の同定	金子 直樹	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
412	口腔扁平上皮癌におけるDkk1とDkk3の機能-Wnt5a/Ror2との関連-	坂本 泰基	顎口腔外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
413	オートファジー関連分子に着目したシェーグレン症候群の新規治療法の開発	坂本 瑞樹	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
414	Epas1依存的なIL-31産生に注目した口腔扁平苔癬の新規治療薬の開発	上加世田 泰久	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
415	IRAK4/NFkBシグナルに着目したIgG4関連疾患の新規治療戦略	鎮守 晃	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
416	IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究	清水 真弓	口腔画像診断科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
417	Compressed sensingを用いた正確な口腔癌深達度の三次元的取得	加美 由紀子	口腔画像診断科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
418	放射線治療と歯根形成障害の関連性についての幹細胞学的研究	山内 恵利佳	口腔画像診断科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
419	細胞成長因子デリバリー格子状シートを用いた新規歯周再生治療法の開発	祐田 明香	口腔総合診療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
420	根尖病巣複合Biofilmの性状解明と天然成分エッセンシャルオイルの有用性	原口 晃	口腔総合診療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
421	ワーク・エンゲイジメントと研修活動との関連—アウトカム評価を指標とした検証—	實田 貫	口腔総合診療科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
422	歯小囊に発現するlncRNAを介したIGFシグナル応用新規歯周組織再生療法の樹立	御手洗 裕美	口腔総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
423	ICU患者におけるせん妄発症に関連した口腔状態の危険因子の解明	神野 哲平	口腔総合診療科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
424	歯周組織発生過程の模倣を基盤とするハイブリッド構造体の創成と歯周組織再生への応用	友清 淳	口腔総合診療科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
425	舌苔細菌叢による難治性悪性腫瘍早期発見の可能性についての研究	稲井 裕子	口腔総合診療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
426	慢性腎臓病患者の健康生活支援を目指した口腔機能管理・食支援プログラムの開発	山添 淳一	高齢者歯科・全身管理歯科	364 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
427	遠隔通信システムを活用した非歯科医療職種向け口腔ケアシミュレーション教育法の開発	井上 良介	高齢者歯科・全身管理歯科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
428	造血細胞移植患者における味覚センサを活用した新しい食支援法の確立	奥 菜央理	高齢者歯科・全身管理歯科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
429	低濃度エンドトキシンと脂肪肝との関連:久山町研究	友岡 祥子	高齢者歯科・全身管理歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
430	高齢者における口腔機能低下と転倒リスクとの関連	水谷 慎介	高齢者歯科・全身管理歯科	70 万円	補 公益財団法人 8020推進財団 令和5年度8020研究事業
431	高齢者における口腔機能と体重心移動域の関連についての研究	水谷 慎介	高齢者歯科・全身管理歯科	50 万円	補 公益財団法人 西山デンタルアカデミー NDA歯科医療研究助成制度

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
432	後期高齢者の歯科口腔健診における口腔機能評価法の探索	谷 明日香	高齢者歯科・全身管理歯科	50 万円	補 九州地区連合歯科医師会 令和5年度九地連公募研究事業助成金

小計:1件

合計:432件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
1	Futami S, Hieda M, Fukata M, et al.	第一内科	A rare case of cardiac myxoma with light bulb-like cystic morphology: a case report	Eur Heart J Case Rep.2023 Jul 21;7(8):ytad331.	Case report
2	Uehara K, Tanoue K, Yamaguchi K, et al.	第一内科	Preferential B cell differentiation by combined immune checkpoint blockade for renal cell carcinoma is associated with clinical response and autoimmune reactions	Cancer Immunol Immunother. 2023 Nov;72(11):3543-3558.	Original Article
3	Masuda T, Ueo H, Okumura Y, et al.	第一内科	Dynamic Changes in Peripheral Systemic Immunity Markers During Chemotherapy in HER2-negative Advanced Breast Cancer	Cancer Genomics Proteomics.2023 Apr;20(2):182-194.	Original Article
4	Ohmura H, Tobo T, Mimori K, et al.	第一内科	Trousseau's Syndrome with Advanced Neuroendocrine Carcinoma of Colon: A Case Report.	Case Rep Oncol. 2023 Jul 3;16(1):484-490.	Case report
5	Ohmura H, Kondo M, Uenomachi M, et al.	第一内科	Case Report: Resolution of remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema during nivolumab therapy for gastric cancer	Front Oncol. 2023 Oct 5;13:1260818.	Case report
6	Tsuchihashi K, Ito M, Arita S, et al.	第一内科	Survival outcomes including salvage therapy of adult head and neck para-meningeal rhabdomyosarcoma: a multicenter retrospective study from Japan	BMC Cancer. 2023 Oct 31;23(1):1046.	Original Article
7	Ohmura H, Tobo T, Ando Y, et al.	第一内科	Case report: A rare case of triple negative breast cancer with development of acute pancreatitis due to dexamethasone during adjuvant chemotherapy	Front Oncol. 2024 Feb 15;14:1340419.	Case report
8	Ohmura H, Hanamura F, Okumura Y, et al.	第一内科	Liquid biopsy for breast cancer and other solid tumors: a review of recent advances	Breast Cancer. 2024 Mar 16.	Review
9	Nakano M, Taguchi R, Kikushige Y, et al.	第一内科	RHAMM marks proliferative subpopulation of human colorectal cancer stem cells	Cancer Sci. 2023 Jul;114(7):2895-2906.	Original Article
10	Liu S, Ezran C, Wang MFZ, et al.	第一内科	An organism-wide atlas of hormonal signaling based on the mouse lemur single-cell transcriptome	Nat Commun. 2024 Mar 11;15(1):2188.	Original Article
11	Nishida R, Eriguchi Y, Miyake N, et al.	第一内科	Breakthrough candidemia with hematological disease: Results from a single-center retrospective study in Japan, 2009-2020	Med Mycol. 2023 Jun 5;61(6):myad056.	Original Article
12	Fujimoto S, Eriguchi Y, Nakamura R, et al.	第一内科	Streptococcal Toxic Shock Syndrome due to Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis from Retroperitoneal Panniculitis during the treatment with anti-IL-6 receptor antibody: A Case Report	Mod Rheumatol Case Rep. 2024 Jan 12:rxae001.	Case report
13	Goto T, Sasaki T, Chong Y, et al.	第一内科	SARS-CoV-2 strain-specific anti-spike IgG ELISA utilizing spike protein produced by silkworms	Hum Antibodies. 2023 Sep; 31(3):27-33.	Original Article
14	Goto T, Chong Y, Tani N, et al.	第一内科	Distinct features of SARS-CoV-2 humoral immunity against Omicron breakthrough infection	Vaccine. 2023 Nov; 13;41(47):7019-7025.	Original Article
15	Goto T, Kawai N, Bando T, et al.	第一内科	In vitro neuraminidase inhibitory concentrations (IC50) of four neuraminidase inhibitors in the Japanese 2022-23 season: Comparison with the 2010-11 to 2019-20 seasons	J Infect Chemother. 2024 Mar;30(3):266-270.	Original Article
16	Chong Y, Goto T, Watanabe H, et al.	第一内科	Achievement of sufficient antibody response after a fourth dose of wild-type SARS-CoV-2 mRNA vaccine in nursing home residents	Immun Inflamm Dis. 2023 Aug;11(8):e962.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
17	Oku K, Kimoto Y, Horiuchi T, et al.	第一内科	Risk factors for hospitalization or mortality for COVID-19 in patients with rheumatic diseases: Results of a nationwide JCR COVID-19 registry in Japan	Mod Rheumatol. 2023 Jul 4;33(4):768-776.	Original Article
18	Ayano M, Kimoto Y, Mitoma H, et al.	第一内科	Safety and efficacy of switching immunosuppressive drugs for maintenance treatment in patients with systemic lupus erythematosus: A retrospective cohort study	Mod Rheumatol. 2023 Aug 25;33(5):961-967.	Original Article
19	Fujimoto S, Arinobu Y, Miyawaki K, et al.	第一内科	Anti-dsDNA IgE induces IL-4 production from basophils, potentially involved in B-cell differentiation in systemic lupus erythematosus	Rheumatology (Oxford), 2023 Oct,62(10):3480-3489.	Original Article
20	Migita R, Tanaka A, Tanimoto K, et al.	第一内科	A case in which baricitinib was effective for both rheumatoid arthritis and essential thrombocythemia	Mod Rheumatol Case Rep, 2023 Dec, 8(1):1-4.	Case report
21	Ono N, Kai T, Takeyama Y, et al.	第一内科	Recent advances in the treatment strategy for AAV improved outcomes with intensive GC tapering	Int J Rheum Dis, 2024 Jan, 27(1): e15009.	Original Article
22	Sagawa F, Yamada H, Ayano M, et al.	第一内科	Determination of the factors associated with antigen-specific CD4+ T-cell responses to BNT162b2 in patients with rheumatoid arthritis	RMD Open. 2024 Jan 12;10(1):e003693.	Original Article
23	Kashiwado Y, Kimoto Y, Oku K, et al.	第一内科	Prognostic improvement and treatment of COVID-19 in patients with rheumatic diseases until December 2022: Analysis of the JCR COVID-19 registry in Japan	Mod Rheumatol, 2024 Mar, 34(3): 576-583.	Original Article
24	Kashiwado Y, Kimoto Y, Ohshima S, et al.	第一内科	Immunosuppressive therapy and humoral response to third mRNA COVID-19 vaccination with a six-month interval in rheumatic disease patients	Rheumatology (Oxford), 2024 Mar, 63(3):725-733.	Original Article
25	Ito M, Kubo M, Kawaji H, et al.	第一内科	Homologous Recombination Repair Gene Alterations Are Associated with Tumor Mutational Burden and Survival of Immunotherapy	Cancers (Basel). 2023 Nov 27;15(23):5608.	Original Article
26	Mori Y, Uchida N, Wake A, et al.	第一内科	Impact of a third dose of anti-SARS-CoV-2 vaccine in hematopoietic cell transplant recipients: A Japanese multicenter observational study	Vaccine. 2023 Nov 13;41(47):6899-6903.	Original Article
27	Kato K, Sugio T, Ikeda T, et al.	第一内科	Outcomes of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for relapsed or refractory diffuse large B-cell lymphoma	Bone Marrow Transplant. 2024 Mar;59(3):306-314.	Original Article
28	Harada T, Kikushige Y, Miyamoto T, et al.	第一内科	Peripheral helper-T-cell-derived CXCL13 is a crucial pathogenic factor in idiopathic multicentric Castleman disease	Nat Commun. 2023 Oct 31;14(1):6959.	Original Article
29	Tani N, Ikematsu H, Goto T, et al.	第一内科	Correlation between specific antibody response to wild-type BNT162b2 booster and the risk of breakthrough infection with omicron variants: Impact of household exposure in hospital healthcare workers	Vaccine. 2023 Oct 26;41(45):6672-6678.	Original Article
30	Moriyama S, Hieda M, Kisanuki M, et al.	第一内科	Both New-Onset and Pre-Existing Hypertension Indicate Favorable Clinical Outcomes in Patients Treated With Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Therapy	Circ J. 2024 Jan 25;88(2):217-225.	Review
31	Mori Y, Takizawa J, Katsuoka Y, et al.	第一内科	Autologous HSCT with novel agent-based induction and consolidation followed by lenalidomide maintenance for untreated multiple myeloma	Cancer Sci. 2024 Mar 18. doi: 10.1111/cas.16158.	Original Article
32	Kitazono T, Kamouchi M, Matsumaru Y, et al.	第二内科	Comparison of Prasugrel and Clopidogrel in Thrombotic Stroke Patients with Risk Factors for Ischemic Stroke Recurrence: An Integrated Analysis of PRASTRO-I, PRASTRO-II, and PRASTRO-III	Cerebrovasc Dis.2023 Dec;52(6):720-729.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
33	Nakamura K, Ueki K, Matsuo R, et al.	第二内科	Association between decreases in serum uric acid levels and unfavorable outcomes after ischemic stroke: A multicenter hospital-based observational study	PLoS One: 2023 Jun;18(6):e0287721	Original Article
34	Nakamura K, Ago T	第二内科	Pericyte-Mediated Molecular Mechanisms Underlying Tissue Repair and Functional Recovery after Ischemic Stroke	J Atheroscler Thromb.2023 Sep 1;30(9):1085-1094.	Review
35	Yamada S, Kitazono T, Nakano T, et al.	第二内科	Simplified geriatric nutritional risk index for assessing nutritional status and stratifying mortality risk in patients receiving maintenance hemodialysis	Ther Apher Dial.2023 Apr;27(2):253-263.	Original Article
36	Yamada S, Takesako M, Kitazono T, et al.	第二内科	Normalization of progressive increases in serum myeloperoxidase-anti-neutrophil cytoplasmic antibody titers after breast cancer resection in a patient with clinically stable microscopic polyangiitis	CEN Case Rep.2024 Feb;13(1):76-77.	Case report
37	Seki M, Nakano T, Tanaka S, et al.	第二内科	Design and methods of an open-label, randomized controlled trial to evaluate the effect of pemafrate on proteinuria in CKD patients (PROFIT-CKD)	Clin Exp Nephrol.2023 Apr;27(4):358-364.	Original Article
38	Ataka E, Matsukuma Y, Ueki K, et al.	第二内科	Cumulative smoking dose is associated with subclinical renal injury: a pathological study in individuals without chronic kidney disease	2023 Nov 30;38(12):2799-2808.	Original Article
39	Nakano T, Kitamura H, Hata J, et al.	第二内科	Association between Vascular Calcification and Intraplaque Hemorrhage in Coronary Atherosclerosis from Autopsy: The Hisayama Study	J Atheroscler Thromb.2024 Mar 9.	Original Article
40	Inoue M, Sakata S, Arima H, et al.	第二内科	Sleep-related breathing disorder in a Japanese occupational population and its association with hypertension-stratified analysis by obesity status	Hypertens Res.2024 Mar 4.	Original Article
41	Kenichi Goto	第二内科	Vascular smooth muscle TRPV4 channel: a promising therapeutic target for salt-induced hypertension?	Hypertens Res.2023 Oct;46(10):2409-2411.	Others
42	Kakizoe K, Torisu T, Ihara Y, et al.	第二内科	Gastroduodenal Ulcers in Liver Transplant Recipients under Immunosuppressive Therapy	Dig Dis. 2023; July 41(4):565-571.	Original Article
43	Kondo M, Torisu T, Ihara Y, et al.	第二内科	Clinical Features of Gastroduodenal Ulcers in Kidney Transplant Patients	Intern Med.2023 Dec 1;62(23):3437-3443.	Original Article
44	Imazu N, Torisu T, Ihara Y, et al.	第二内科	Ustekinumab Decreases Circulating Th17 Cells in Ulcerative Colitis	Intern Med.2024 Jan 15;63(2):153-158.	Original Article
45	Yokote A, Umeno J, Kawasaki K, et al.	第二内科	Small bowel capsule endoscopy examination and open access database with artificial intelligence: The SEE-artificial intelligence project	DEN Open.2023 Jun 22;4(1):e258.	Original Article
46	Yokote A, Imazu N, Umeno J, et al.	第二内科	Reply to "Ferroptosis in the colon epithelial cells as a therapeutic target for ulcerative colitis"	J Gastroenterol.2024 Jan;59(1):77-78.	Original Article
47	Yoshida Y, Fujioka S, Moriyama T, et al.	第二内科	Disease Flares Following COVID-19 Vaccination in Patients with Inflammatory Bowel Disease	Intern Med . 2023 Dec 15;62(24):3579-3584.	Original Article
48	Hata Y, Sato H, Shimaura Y, et al.	第三内科	Impact of peroral endoscopic myotomy on high-resolution manometry findings and their association with the procedure's outcomes	Gastrointest Endosc . 2023 Apr;97(4):673-683.e2.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
49	Minoda Y, Esaki M, Ihara E, et al.	第三内科	Auxiliary diagnosis of subepithelial lesions by impedance measurement during EUS-guided fine-needle biopsy	Gastrointest Endosc . 2023 May;97(5):977-984.	Original Article
50	Esaki M, Ihara E, Manabe N, et al.	第三内科	Evaluating the efficacy and safety of acotiamide in patients with esophagogastric junction outflow obstruction: study protocol for an investigator-initiated, multi-center, randomized, double-blind, placebo-controlled phase II trial	Trials. 2023 Jul 18;24(1):459.	Original Article
51	Itonaga S, Hamada S, Ihara E, et al.	第三内科	Importance of preoperative total colonoscopy and endoscopic resection after self-expandable metallic stent placement for obstructive colorectal cancer as a bridge-to-surgery	BMC Gastroenterol.2023 Jul 24;23(1):251.	Original Article
52	Esaki M, Ihara E, Sumida Y, et al.	第三内科	Hybrid and Conventional Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Neoplasms: A Multi-Center Randomized Controlled Trial	Clin Gastroenterol Hepatol.2023 Jul;21(7):1810-1818.e8.	Original Article
53	Maehara K, Esaki M, Sumida Y, et al.	第三内科	Comparison of hemostatic ability between spray coagulation and forced coagulation modes in endoscopic submucosal dissection in patients with early gastric neoplasms: a study protocol for multicenter randomized controlled trial (Spray-G trial)	Trials.2024 Jan 15;25(1):53.	Original Article
54	Tanaka M, Jeong J, Thomas C, et al.	第三内科	The Sympathetic Nervous System Promotes Hepatic Lymphangiogenesis, which Is Protective Against Liver Fibrosis	Am J Pathol.2023 Dec;193(12):2182-2202.	Original Article
55	Kurokawa M, Hioki T, Aoyagi T, et al.	第三内科	Clinicopathologic Features of Adult-onset Still's Disease Complicated by Severe Liver Injury	Intern Med . 2024 Feb 15;63(4):503-511.	Original Article
56	Imoto K, Tanaka M, Goya T, et al.	第三内科	Acute kidney injury is an unfavorable prognostic factor in acute liver failure and is associated with tumor necrosis factor-alpha	Medicine (Baltimore) . 2023 Nov 10;102(45)	Original Article
57	Ishiwatari H, Kawabata T, Kawashima H, et al.	第三内科	Clinical Outcomes of Inside Stents and Conventional Plastic Stents as Bridge-to-Surgery Options for Malignant Hilar Biliary Obstruction	Dig Dis Sci. 2023 Apr;68(4):1139-1147.	Original Article
58	Kubota K, Oguchi T, Fujimori N, et al.	第三内科	Steroid therapy has an acceptable role as the initial treatment in autoimmune pancreatitis patients with pancreatic cyst formation: Based on a Japanese nationwide study	J Hepatobiliary Pancreat Sci.2023 May;30(5):664-677.	Original Article
59	Mizuno N, Ioka T, Ogawa G, et al.	第三内科	Effect of systemic inflammatory response on induction chemotherapy followed by chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic cancer: an exploratory subgroup analysis on systemic inflammatory response in JCOG1106	Jpn J Clin Oncol.2023 Jul 31;53(8):704-713.	Original Article
60	Miyagahara T, Fujimori N, Ueda K, et al.	第三内科	Incidence and appropriate management of drug-induced interstitial lung disease in Japanese patients with unresectable pancreatic cancer: A multicenter retrospective study	Asia Pac J Clin Oncol . 2023 Aug;19(4):533-541.	Original Article
61	Kaneko H, Umakoshi H, Fukumoto T, et al.	第三内科	Do multiple types of confirmatory tests improve performance in predicting subtypes of primary aldosteronism?	Clin Endocrinol (Oxf) . 2023 Apr;98(4):473-480.	Original Article
62	Nakao H, Yokomoto-Umakoshi M, Nakatani K, et al.	第三内科	Adrenal steroid metabolites and bone status in patients with adrenal incidentalomas and hypercortisolism	EBioMedicine.2023 Sep;95:104733.	Original Article
63	Fujita M, Miyazawa T, Uchida K, et al.	第三内科	Dectin-2 Deficiency Promotes Proinflammatory Cytokine Release From Macrophages and Impairs Insulin Secretion	Endocrinology.2023 Nov 20;165(1):bqad181.	Original Article
64	Nakamura S, Miyachi Y, Shinjo A, et al.	第三内科	Improved endurance capacity of diabetic mice during SGLT2 inhibition: Role of AICARP, an AMPK activator in the soleus	J Cachexia Sarcopenia Muscle.2023 Dec;14(6):2866-2881.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
65	Kajitani Y, Miyazawa T, Inoue T, et al.	第三内科	High frequency of germline recombination in Nestin-Cre transgenic mice crossed with Glucagon-like peptide 1 receptor floxed mice	PLoS One.2023 Dec 20;18(12):e0296006.	Original Article
66	Nakatani K, Izumi Y, Umakoshi H, et al.	第三内科	Wide-scope targeted analysis of bioactive lipids in human plasma by LC/MS/MS	J Lipid Res.2024 Jan;65(1):100492.	Original Article
67	Onoyama I, Kawakami M, Hachisuga K, et al.	第三内科	Secondary Adrenal Insufficiency Due to Isolated ACTH Deficiency Induced by Pembrolizumab: A Report of Two Cases of Uterine Endometrial Cancer	Reports (MDPI AG). Jun 2023, Vol. 6 Issue 2, p18. 7p.	Case report
68	Fukuya H, Iboshi Y, Wada M, et al.	第三内科	Gastric cancer presenting with ramucirumab-related gastrocolic fistula successfully managed by colonic stenting: a case report	Clin Endosc.2023 Nov;56(6):812-816.	Case report
69	Suzuki Y, Osoegawa T, Kubokawa M, et al.	第三内科	Circumferential suture delivery method of polyglycolic acid sheets for gastric postendoscopic submucosal dissection ulcers	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E68-E69.	Case report
70	Suzuki Y, Esaki M, Minoda Y, et al.	第三内科	Gastric endoscopic submucosal dissection assisted by intralesional cross-traction using silicone bands	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E324-E325.	Case report
71	Inada T, Sumida Y, Ihara E, et al.	第三内科	A feces-filled non-inverted ileal pseudodiverticulum presenting as a pedunculated polyp successfully treated by traction-assisted endoscopic submucosal dissection	DEN Open.eCollection 2023 Apr.	Case report
72	Minoda Y, Fujimori N, Esaki M, et al.	第三内科	Rare complications related to lumen-apposing metal stent placement, successfully treated by endoscopic hand-suturing device	Endoscopy.2023 Dec;55(S 01):E692-E693.	Case report
73	Shiotsuki K, Sumida Y, Esaki M, et al.	第三内科	Underwater precutting endoscopic mucosal resection using a multifunctional snare for a large colonic laterally spreading tumor	Endoscopy.2023 Dec;55(S 01):E702-E703.	Case report
74	Sato LY, Hata Y, Esaki M, et al.	第三内科	Double-scope technique to recover from hand-suturing trouble in the duodenum	Endoscopy.2023 Dec;55(S 01):E1193-E1194.	Case report
75	Takeuchi T, Esaki M, Minoda Y, et al.	第三内科	Two-point fixed pulley-traction method in endoscopic submucosal dissection for early gastric neoplasm	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E1087-E1088.	Case report
76	Nishioka K, Esaki M, Iwasa T, et al.	第三内科	Two-step traction-assisted endoscopic submucosal dissection for a gastric neoplasm using a clip with a traction band and thread	Endoscopy.2023 Dec;55(S 01):E1041-E1042.	Case report
77	Inada T, Esaki M, Minoda Y, et al.	第三内科	Triangle-traction-assisted endoscopic submucosal dissection with multiple loop traction device for colorectal neoplasms	Dig Endosc. 2023 May;35(4):e74-e75.	Case report
78	Maruoka R, Esaki M, Minoda Y, et al.	第三内科	Three-point traction method for endoscopic submucosal dissection using clip-with-thread and clip-with-silicon bands for large early gastric neoplasms	Endosc Int Open. 2024 Jan 8;12(1):E57-E58.	Case report
79	Ueda T, Ohno A, Fujimori N	第三内科	Usefulness of a peroral cholangioscope with a colonoscope to retrieve an internal pancreatic stent migrated into the bile duct after pancreaticoduodenectomy	Dig Endosc. 2023 May;35(4):e65-e66.	Case report
80	Ohno A, Fujimori N, Harada N	第三内科	Rescue technique for bleeding after placement of plastic stent in EUS-guided hepaticogastrostomy (with videos)	Endosc Ultrasound. 2023 May-Jun;12(3):347-348.	Case report

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
81	Ohno A, Fujimori N, Nakata K	第三内科	Double traction technique for endoscopic ultrasound-guided drainage of small postoperative pancreatic fistula	Dig Endosc. 2023 Nov;35(7):e125-e126.	Case report
82	Murakami M, Fujimori N, Kaku T	第三内科	Peroral direct cholangioscopy using balloon endoscopy for massive bile duct stones after Roux-en-Y hepaticojejunostomy	Endoscopy.2023 Dec;55(S 01):E177-E178.	Case report
83	Ohno A, Fujimori N, Abe T, et al.	第三内科	Bile peritonitis after placement of a metallic stent in endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy: A pitfall and the rescue technique	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E94-E95.	Case report
84	Morisaki Y, Miyata N, Nakashima M, et al.	心療内科	Persistence of gut dysbiosis in individuals with anorexia nervosa	PLoS One. 2023 Dec 20;18(12):e0296037.	Original Article
85	Altaysaikhan A, Yoshihara K, Hata T, et al.	心療内科	Dietary supplementation with 1-kestose induces altered locomotor activity and increased striatal dopamine levels with a change in gut microbiota in male mice	Physiol Rep. 2023 Dec;11(23):e15882.	Original Article
86	Izuno S, Yoshihara K, Hosoi M, et al.	心療内科	Psychological characteristics associated with the brain volume of patients with fibromyalgia	Biopsychosoc Med.2023 Oct 24;17(1):36.	Original Article
87	Shibata M, Hosoi M, Anno K, et al.	心療内科	Inadequate care and excessive overprotection during childhood are associated with the presence of diabetes mellitus in adulthood in a general Japanese population: a cross-sectional analysis from the Hisayama Study	BMC Endocr Disord. 2023 Oct 12;23(1):222.	Original Article
88	Gondo M, Kawai K, Moriguchi Y, et al.	心療内科	Effects of integrated hospital treatment on the default mode, salience, and frontal-parietal networks in anorexia nervosa: A longitudinal resting-state functional magnetic resonance imaging study	PLoS One. 2023 May 30;18(5):e0283318.	Original Article
89	Nishihara T, Yoshihara K, Ohashi A, et al.	心療内科	Differences in the presentation of COVID-19-related psychosocial stress and general psychological distress and the relation between the number of care days and these symptoms among Japanese ward staff working exclusively with COVID-19 and support staff	Biopsychosoc Med. 2023 Apr 28;17(1):17.	Original Article
90	Leppert D*, Watanabe M*, Schaedelin S, et al. (*Equal contribution)	脳神経内科	Granulocyte activation markers in cerebrospinal fluid differentiate acute neuromyelitis spectrum disorder from multiple sclerosis	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2023 Sep;94(9):726-737.	Original Article
91	Irie T, Matsuda T, Hayashi Y, et al.	脳神経内科	Direct neuronal conversion of microglia/macrophages reinstates neurological function after stroke	Proc Natl Acad Sci USA.2023 Oct17;120(42):e2307972 120.	Original Article
92	Nishimura Y, Masaki K, Matsuse D, et al.	脳神経内科	Early and extensive alterations of glial connexins, distal oligodendrogliopathy type demyelination, and nodal/paranodal pathology are characteristic of multiple system atrophy	Brain Pathol.2023 May;33(3):e13131. doi: 10.1111/bpa.13131.	Original Article
93	Mizuno Y, Uehara T, Nakamura Y, et al.	脳神経内科	A case of monozygotic twins with hereditary spastic paraplegia type 4 and epilepsy, of whom only one developed narcolepsy type 1	J Sleep Res. 2023 Nov 20:e14102.	Original Article
94	Irie T, Matsuda-Ito K, Matsuda T, et al.	脳神経内科	Lineage tracing identifies in vitro microglia-to-neuron conversion by NeuroD1 expression	Genes Cells. 2023 Jul;28(7):526-534.	Original Article
95	Kira Y, Yoshikawa Y, Tashiro T, et al.	脳神経内科	Granulomatosis with Polyangiitis Presenting with Thrombovasculitic and Necrotizing Pachy- and Leptomeningitis Accompanied by a Brain Tumor-like Lesion	Intern Med. 2023 Nov 1;62(21):3241-3246.	Case report
96	Shiraishi W, Tsujimoto Y, Matsuyoshi A, et al.	脳神経内科	Case of elderly onset possible neuro-Behçet's disease with HLA-B51 homozygosity	BMJ Case Rep. 2023 Jun 1;16(6):e252033.	Case report

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
97	Tashiro T, Kira Y, Maeda N	脳神経内科	Hyperthyroidism-induced Cerebral Venous Thrombosis Presenting as Chronic Isolated Intracranial Hypertension	Intern Med. 2023 Oct 15;62(20):3021-3025.	Case report
98	Yamasaki R	脳神経内科	Connexins Control Glial Inflammation in Various Neurological Diseases	Int J Mol Sci. 2023 Nov 28;24(23):16879.	Review
99	Tanaka K, Coutts SB, Joundi RA, et al.	脳神経内科	Presenting Symptoms and Diffusion-Weighted MRI Positivity by Time After Transient Neurologic Events: A Pooled Analysis of 3 Cohort Studies	Neurology: 2024 Jan 9; 102(1):e207846.	Original Article
100	Hosokawa K, Watanabe H, Taniguchi Y, et al.	循環器内科	A Multicenter, Single-Blind, Randomized, Warfarin-Controlled Trial of Edoxaban in Patients With Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: KABUKI Trial	Circulation. 2024 Jan 30;149(5):406-409.	Original Article
101	Hosokawa K, Yamasaki Y, Abe K	循環器内科	Technical Considerations for Performing Safe and Effective Balloon Pulmonary Angioplasty in Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Interv Cardiol Clin . 2023 Jul;12(3):367-380.	Review
102	Takase S, Mukai Y, Nagaoka K, et al.	循環器内科	Mapping of Purkinje-related ventricular arrhythmias by a multispline catheter with small and close-paired electrodes: Comparison with conventional catheters	Pacing Clin Electrophysiol.2024 Jan;47(1):5-18.	Original Article
103	Katsuki S, Matoba T, Akiyama Y, et al.	循環器内科	Association of Serum Levels of Cholesterol Absorption and Synthesis Markers with the Presence of Cardiovascular Disease: The CACHE Study CVD Analysis	J Atheroscler Thromb.2023 Dec 1;30(12):1766-1777.	Original Article
104	Sakamoto K, Tohyama T, Ide T, et al.	循環器内科	Efficacy of Early Catheter Ablation for Atrial Fibrillation After Admission for Heart Failure	JACC Clin Electrophysiol.2023 Sep;9(9):1948-1959.	Original Article
105	Watanabe T, Tohyama T, Ikeda M, et al.	循環器内科	Development of deep-learning models for real-time anaerobic threshold and peak VO2 prediction during cardiopulmonary exercise testing	Eur J Prev Cardiol.2024 Mar 4;31(4):448-457.	Original Article
106	Ishimaru K, Ikeda M, Miyamoto HD, et al.	循環器内科	Deferasirox Targeting Ferroptosis Synergistically Ameliorates Myocardial Ischemia Reperfusion Injury in Conjunction With Cyclosporine A	J Am Heart Assoc.2024 Jan 2;13(1):e031219.	Original Article
107	Sada M, Matsushima S, Ikeda M, et al.	循環器内科	IFN- γ -STAT1-ERK Pathway Mediates Protective Effects of Invariant Natural Killer T Cells Against Doxorubicin-Induced Cardiomyocyte Death	JACC Basic Transl Sci.2023 Jun 21;8(8):992-1007.	Original Article
108	Furusawa S, Ikeda M, Ide T, et al.	循環器内科	Cardiac Autoantibodies Against Cardiac Troponin I in Post-Myocardial Infarction Heart Failure: Evaluation in a Novel Murine Model and Applications in Therapeutics	Circ Heart Fail. 2023 Oct;16(10):e010347.	Original Article
109	Enzan N, Matsushima S, Ikeda S, et al.	循環器内科	ZBP1 Protects Against mtDNA-Induced Myocardial Inflammation in Failing Hearts	Circ Res. 2023 Apr 28;132(9):1110-1126.	Original Article
110	Ikeda S, Shinohara K, Tagawa K, et al.	循環器内科	Association of baseline electrocardiographic left ventricular hypertrophy with future renal function decline in the general population	Sci Rep. 2024 Jan 3;14(1):301.	Original Article
111	Ibusuki R, Iwama E, Shimauchi A, et al.	呼吸器内科	TP53 gain-of-function mutations promote osimertinib resistance via TNF- α -NF- κ B signaling in EGFR-mutated lung cancer	NPJ Precis Oncol. 2024 Mar 2;8(1):60.	Original Article
112	Iwama E, Yamamoto H, Okubo F, et al.	呼吸器内科	Evaluation of appropriate conditions for OncoPrint DxTT testing of FFPE specimens for driver gene alterations in non-small cell lung cancer	Thorac Cancer. 2023 Aug;14(23):2288-2296.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
113	Tsutsumi H, Inoue H, Shiraishi Y, et al.	呼吸器内科	Impact of increased plasma levels of calreticulin on prognosis of patients with advanced lung cancer undergoing combination treatment of chemotherapy and immune checkpoint inhibitors	Lung Cancer. 2023 Jul;181:107264.	Original Article
114	Nakanishi T, Yoneshima Y, Okamura K, et al.	呼吸器内科	MicroRNA-326 negatively regulates CD155 expression in lung adenocarcinoma	Cancer Sci. 2023 Oct;114(10):4101-4113.	Original Article
115	Shiraishi Y, Sekino Y, Horinouchi H, et al.	呼吸器内科	High incidence of cytokine release syndrome in patients with advanced NSCLC treated with nivolumab plus ipilimumab	Ann Oncol. 2023 Nov;34(11):1064-1065.	Letter
116	Shiraishi Y, Tokito T, Toyozawa R, et al.	呼吸器内科	Five Cases of Cytokine Release Syndrome in Patients Receiving Cytotoxic Chemotherapy Together With Nivolumab Plus Ipilimumab: A Case Report	J Thorac Oncol. 2024 Feb;19(2):337-343.	Case report
117	Shiraishi Y, Kishimoto J, Sugawara S, et al.	呼吸器内科	Atezolizumab and Platinum Plus Pemetrexed With or Without Bevacizumab for Metastatic Nonsquamous Non-Small Cell Lung Cancer: A Phase 3 Randomized Clinical Trial	JAMA Oncol. 2024 Mar 1;10(3):315-324.	Original Article
118	Shibahara D, Akanuma N, et al.	呼吸器内科	TIP60 is required for tumorigenesis in non-small cell lung cancer	Cancer Sci. 2023 Jun;114(6):2400-2413.	Original Article
119	Sakoda S, Tanaka K, Koga Y, et al.	呼吸器内科	A case of inflammatory myofibroblastic tumor harboring EML4-ALK fusion with a brain metastasis responding to alectinib	Thorac Cancer.2024 Feb;15(5):415-418.	Case report
120	Isa K, Tanaka K, Shiraishi Y, et al.	呼吸器内科	Osimertinib failure followed by successful treatment of afatinib in a patient with compound uncommon, G719S and V834L mutations	Current Problems in Cancer: Case Reports Volume 10, June 2023, 100236	Case report
121	Tsuneoka Y, Tanaka K, Shimauchi A, et al.	呼吸器内科	A Case of Obstructing Bronchial Aspergillosis in a Patient Receiving Cytotoxic Chemotherapy and Inhaled Corticoid Therapy	Respirol Case Rep. 2024 Mar; 12(3): e01328.	Case report
122	Hirayama A, Tanaka K, Tsutsumi H, et al.	呼吸器内科	Regulation of PD-L1 expression in non-small cell lung cancer by interleukin-1 β	Front Immunol. 2023 Jun 27;14:1192861.	Original Article
123	Nakajima M, Tanaka K, Yoneshima Y, et al.	呼吸器内科	YAP mediates resistance to EGF-induced apoptosis in EGFR-mutated non-small cell lung cancer cells	Biochem Biophys Res Commun. 2023 Nov 12;681:120-126.	Original Article
124	Jo A, Ikegame S, Kiyozawa D, et al.	呼吸器内科	Successful Treatment against Mediastinal Methicillin-resistant Staphylococcus aureus Infection after an Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Needle Aspiration Procedure	Respiratory endoscopy 2023 Nov;1(2):78-82	Case report
125	Tsubouchi K, Hamada N, Tokunaga S, et al.	呼吸器内科	Survival and acute exacerbation for patients with idiopathic pulmonary fibrosis (IPF) or non-IPF idiopathic interstitial pneumonias: 5-year follow-up analysis of a prospective multi-institutional patient registry	BMJ Open Respir Res. 2023 Nov;10(1):e001864.	Original Article
126	Yanagihara T, Hata K, Matsubara K, et al.	呼吸器内科	Mass cytometry analysis of B-cell populations in extranodal marginal-zone lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue of the lung	Ann Hematol.2023 Oct;102(10):2959-2961.	Letter
127	Yanagihara T, Hata K, Suzuki K, et al.	呼吸器内科	Expansion of ST2-expressing macrophages in a patient with bronchiolitis obliterans syndrome	ERJ Open Res. 2023 May 30;9(3):00033-2023.	Letter
128	Hata K, Yanagihara T, Matsubara K, et al.	呼吸器内科	Altered macrophage phenotypes in a case of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis	ERJ Open Res. 2023 Oct 16;9(5):00500-2023.	Letter

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
129	Nakatsuru K, Tsubouchi K, Hirahata M, et al.	呼吸器内科	Acute myeloid leukemia and myelodysplastic syndrome associated with a combination of immune checkpoint inhibitor and platinum-based chemotherapy	Thorac Cancer. 2023 Aug;14(22):2225-2228.	Case report
130	Hata K, Tsubouchi K, Suzuki K, et al.	呼吸器内科	Surfactant protein D prevents mucin overproduction in airway goblet cells via SIRP α	Sci Rep.2024 Jan 20;14(1):1799.	Original Article
131	Kan-o K, Noda T, Ogata H, et al.	呼吸器内科	Insights from the trends of omalizumab and mepolizumab utilization in patients with asthma: A population-based cohort study using the National Database in Japan	Respiratory Investigation:2024 Jan;62(1):113-120.	Original Article
132	Kawatoko K, Washio Y, Ohara T, et al.	呼吸器内科	Risks of dementia in a general Japanese older population with preserved ratio impaired spirometry: The Hisayama Study	Journal of Epidemiology:2023 Dec 2. (オンライン)	Original Article
133	Kan-o K, Washio Y, Oki T, et al.	呼吸器内科	Effects of treatment with corticosteroids on human rhinovirus-induced asthma exacerbations in pediatric inpatients: a prospective observational study	BMC Pulmonary medicine:2023 Dec 5;23(1):487.	Original Article
134	Kawano H, Kan-o K, Egashira A, et al.	呼吸器内科	Allergic bronchopulmonary aspergillosis manifested secondary to bacterial pleural empyema	Respirology Case Reports:2023 Nov 30;12(1)(オンライン)	Case report
135	Kodama K, Tateishi C, Oda T, et al.	産科婦人科	Development of novel tracers for sentinel node identification in cervical cancer	Cancer Sci.2023 Nov;114(11):4216-4224.	Original Article
136	Tomonobe H, Ohishi Y, Hachisuga K, et al.	産科婦人科	High-grade Serous Carcinoma can Show Squamoid Morphology Mimicking True Squamous Differentiation	Am J Surg Pathol. 2023 Sep 1;47(9):967-976.	Original Article
137	Nakashima T, Matsumoto K, Yoshitake T, et al.	産科婦人科	Transvaginal approach combined intracavitary and interstitial brachytherapy assisted by transrectal ultrasound: results from 30 patients with locally advanced cervical cancer	Jpn J Radiol. 2024 Jan;42(1):96-101.	Original Article
138	Yasunaga M, Yahata H, Okugawa K, et al.	産科婦人科	Decision-making for Subsequent Therapy for Patients With Recurrent or Advanced Endometrial Cancer Based on the Platinum-free Interval	Am J Clin Oncol. 2023 Sep 1;46(9):387-391.	Original Article
139	Morokuma S, Hayashi T, Kanegae M, et al.	産科婦人科	Deep learning-based sleep stage classification with cardiorespiratory and body movement activities in individuals with suspected sleep disorders	Sci Rep. 2023 Oct 18;13(1):17730.	Original Article
140	Asanoma K, Yagi H, Onoyama I, et al.	産科婦人科	The BHLHE40-PPM1F-AMPK pathway regulates energy metabolism and is associated with the aggressiveness of endometrial cancer	J Biol Chem. 2024 Mar;300(3):105695.	Original Article
141	Tokui H, Yahata H, Okabe Y, et al.	産科婦人科	Complete reduction surgery of a huge recurrent adult granulosa cell tumor after neoadjuvant chemotherapy	Int Cancer Conf J.2024 Feb 14;13(2):162-166.	Case report
142	To G, Kodama K, Onoyama I, et al.	産科婦人科	Ipsilateral Right Angular Pregnancy After a Laparoscopic Right Salpingo-Oophorectomy: A Case Report	Cureus. 2023 Sep 29;15(9):e46171.	Case report
143	Sonoda M, Motomura Y, Ishimura M, et al.	小児科	Williamsia muralis bacteraemia in a patient with Fanconi anaemia after haematopoietic cell transplantation	Access Microbiol. 2023 Dec 4;5(12):000679.v3.	Case report
144	Tomari Y, Igata Y, Chong PF, et al.	小児科	The Etiology and Outcome of Area Postrema Syndrome in Childhood: Two Cases and a Literature Review	Pediatr Neurol. 2024 Mar;152:11-15.	Case report

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
145	Egami N, Ishimura M, Ochiai M, et al.	小児科	The clinical and genetic landscape of early-onset thrombophilia in Japan	Pediatr Blood Cancer. 2024 Mar;71(3):e30824.	Original Article
146	Sonoda M, Ishimura M, Inoue H, et al.	小児科	Non-conditioned cord blood transplantation for infection control in athymic CHARGE syndrome	Pediatr Blood Cancer. 2024 Mar;71(3):e30809.	Original Article
147	Sonoda Y, Fujita A Torio M, et al.	小児科	Progressive myoclonic epilepsy as an expanding phenotype of NGLY1-associated congenital deglycosylation disorder: A case report and review of the literature	Eur J Med Genet. 2024 Feb;67:104895.	Case report
148	Yada Y, Matsumoto M, Inoue T, et al.	小児科	STIM-mediated calcium influx regulates maintenance and selection of germinal center B cells	J Exp Med. 2024 Jan 1;221(1):e20222178.	Original Article
149	Yoshizato R, Motomura Y, Fujita T, et al.	小児科	Secondhand smoking and pediatric asthma after respiratory syncytial virus or human metapneumovirus infection	Ann Allergy Asthma Immunol. 2024 Feb;132(2):240-242.	Original Article
150	Fujiyoshi J, Inoue H, Sawano T, et al.	小児科	Critical diseases in neonates after discharge home from birth hospital: A retrospective study from a tertiary hospital in Japan	Early Hum Dev. 2023 Nov;186:105869.	Original Article
151	Nakashima K, Kunisaki Y Hosokawa K, et al.	小児科	POT1a deficiency in mesenchymal niches perturbs B-lymphopoiesis	Commun Biol. 2023 Sep 29;6(1):996.	Original Article
152	Yonemoto K, Fujii F, Taira R, et al.	小児科	Heterogeneity and mitochondrial vulnerability configurate the divergent immunoreactivity of human induced microglia-like cells	Clin Immunol. 2023 Oct;255:109756.	Original Article
153	Sonoda M, Ishimura M, Ogata R, et al.	小児科	Split Immunological Reconstitution in a NEMO-Deficient Male with Incontinentia Pigmenti and Immunodeficiency	J Clin Immunol. 2023 Nov;43(8):1743-1746.	Case report
154	Iwaya Y, Sanefuji M, Nishiyama K, et al.	小児科	Prenatal metal levels and congenital anomalies of the kidney and urinary tract: The Japan Environment and Children's Study	Sci Total Environ. 2023 Sep 10;890:164356.	Original Article
155	Ichimiya Y, Chong PF, Sonoda Y, et al.	小児科	Long-lasting pain and somatosensory disturbances in children with myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease	Eur J Pediatr. 2023 Jul;182(7):3175-3185.	Original Article
156	Okuzono S, Fujii F, Matsushita Y, et al.	小児科	Shank3a/b isoforms regulate the susceptibility to seizures and thalamocortical development in the early postnatal period of mice	Neurosci Res. 2023 Aug;193:13-19.	Original Article
157	Goto H, Koga Y, Kohashi K, et al.	小児科	Pancreatoblastoma with a novel fusion gene of IQSEC1-RAF1	Pediatr Blood Cancer. 2023 Apr;70(4):e30155.	Case report
158	Tanaka A, Sakaguchi Y, Inoue H, et al.	小児科	Stroke in a protein C-deficient infant after stem cell transplant for CHARGE syndrome	Pediatr Blood Cancer. 2023 Apr;70(4):e30047.	Case report
159	Fukuoka S, Kaku N, Nagata H, et al.	小児科	Extracorporeal membrane oxygenation support for balloon atrial septostomy in a BMPR2 variant-associated pulmonary arterial hypertension	Pediatr Pulmonol. 2024 Mar 19.doi:10.1002/ppul.26973.	Case report
160	Tocan V, Nakamura-Utsunomiya A, Sonoda Y, et al.	小児科	High-Titer Anti-ZSCAN1 Antibodies in a Toddler Clinically Diagnosed with Apparent Rapid-Onset Obesity with Hypothalamic Dysfunction, Hypoventilation, and Autonomic Dysregulation Syndrome	Int J Mol Sci. 2024 Feb 29;25(5):2820.	Case report

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
161	Chong PF, Higashi K, Matsuoka W, et al.	小児科	Persistent intracranial hyper-inflammation in ruptured cerebral aneurysm after COVID-19: case report and review of the literature	BMC Neurol. 2024 Jan 2;24(1):17.	Case report
162	Muraoka M, Nagata H, Yamamura K, et al.	小児科	Long-Term Renal Involvement in Association with Fontan Circulation	Pediatr Cardiol. 2024 Feb;45(2):340-350.	Original Article
163	Yamamoto S, Sanefuji M, Suzuki M, et al.	小児科	Pediatric leukemia and maternal occupational exposure to anticancer drugs: the Japan Environment and Children's Study	Blood. 2024 Jan 25;143(4):311-319.	Original Article
164	Tamura K, Fujimoto T, Shimizu T, et al.	第一外科	Risk factors and clinical significance of subcutaneous emphysema after robot-assisted laparoscopic rectal surgery: a single-center experience	J Robot Surg. 2024 Jan 18;18(1):42.	Original Article
165	Nagayoshi K, Mizuuchi K, Tamura K, et al.	第一外科	Combination of robotic and transperineal techniques for total pelvic exenteration followed by a posterior-anterior approach to the supralelevator space - a video vignette	Colorectal Dis. 2023 Nov;25(11):2282-2283.	Original Article
166	Hayashi M, Ikenaga N, Nakata K, et al.	第一外科	Intratumor Fusobacterium nucleatum promotes the progression of pancreatic cancer via the CXCL1-CXCR2 axis	Cancer Sci.2023 Sep;114(9):3666-3678.	Original Article
167	Lin Na, Onishi H, Morisako S, et al.	第一外科	MAML3 Contributes to Induction of Malignant Phenotype of Gallbladder Cancer Through Morphogenesis Signalling Under Hypoxia	Anticancer Res. 2023 Jul;43(7):2909-2922.	Original Article
168	Nakata K, Abe T, Ideno N, et al.	第一外科	Minimally invasive distal pancreatectomy for pancreatic cancer: cranial-to-caudal approach with identification of Gerota's fascia (with video)	Surg Endosc. 2023 Nov;37(11):8901-8909.	Original Article
169	Abe T, Nakata K, Nakamura S, et al.	第一外科	Prognostic Impact of Preoperative Osteosarcopenia for Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma After Curative Resection	Ann Surg Oncol. 2023 Oct;30(11):6673-6679.	Original Article
170	Mizuuchi Y, Nagayoshi K, Nakamura M, et al.	第一外科	Prognostic impact of tumour location in stage II/III ulcerative colitis-associated colon cancer: subgroup analysis of a nationwide multicentre retrospective study in Japan	Br J Surg. 2024 Jan 3;111(1):znad386.	Original Article
171	Iwamoto N, Onishi H, Masuda S, et al.	第一外科	PTPN3 inhibition contributes to the activation of the dendritic cell function to be a promising new immunotherapy target	J Cancer Res Clin Oncol. 2023 Nov;149(16):14619-14630.	Original Article
172	Kaku K, Okabe Y, Kubo S, et al.	第一外科	Size-mismatched transplantation from large donors to small recipients is associated with pancreas graft thrombosis: A retrospective national observational study	Clin Transplant. 2023 Nov;37(11):e15090.	Original Article
173	Nagayoshi K, Mizuuchi Y, Jinghui Z, et al.	第一外科	Strong impact of sarcopenic state defined by skeletal muscle mass index on postoperative complication of Crohn's disease patients	Surg Open Sci. 2023 Aug 6:15:54-59.	Original Article
174	Kaku K, Okabe Y, Kubo S, et al.	第一外科	Utilization of the Pancreas From Donors With an Extremely High Pancreas Donor Risk Index: Report of the National Registry of Pancreas Transplantation	Transpl Int. 2023 May 17:36:11132.	Original Article
175	Mizuuchi Y, Tanabe Y, Nagayoshi K, et al.	第一外科	Revisiting the Prognostic Impact of Family History in Colorectal Cancer by Retrospective Propensity Score Matching	Anticancer Res:2023 Nov;43(11):5167-5172	Original Article
176	Nakamura S, Ohuchida K, Hayashi M, et al.	第一外科	Tertiary lymphoid structures correlate with enhancement of antitumor immunity in esophageal squamous cell carcinoma	Br J Cancer. 2023 Oct;129(8):1314-1326.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
177	Shuang F, Ohuchida K, Kibe S, et al.	第一外科	Involvement of angiogenesis in cancer-associated acinar-to-ductal metaplasia lesion of pancreatic cancer invasive front	J Cancer Res Clin Oncol.2023 Aug;149(9):5885-5899.	Original Article
178	Sato Y, Watanabe Y, Morisaki T, et al.	第一外科	Beckwith-Wiedemann syndrome with juvenile fibrous nodules and lobular breast tumors: a case report and review of the literature	Surg Case Rep. 2024 Mar 22;10(1):69.	Case report
179	Ozono K, Son K, Momii K, et al.	第一外科	Severe hemothorax due to traumatic fracture of thoracic vertebra	Surg Case Rep. 2024 Jan 24;10(1):26.	Case report
180	Hayashida S, Ikenaga N, Nakata K, et al.	第一外科	Repeated robotic pancreatectomy for recurrent pancreatic metastasis of mesenchymal chondrosarcoma: A case report	Asian J Endosc Surg. 2023 Oct;16(4):795-799.	Case report
181	Mizoguchi K, Kawaji H, Kai M, et al.	第一外科	Granzyme B Expression in the Tumor Microenvironment as a Prognostic Biomarker for Patients with Triple-Negative Breast Cancer	Cancers (Basel). 2023 Sep 7;15(18):4456.	Original Article
182	Oki E, Ota M, Harimoto N, et al.	第二外科	Lineage of drug discovery research on fluorinated pyrimidines: chronicle of the achievements accomplished by Professor Setsuro Fujii	Int J Clin Oncol. 2023 May;28(5):613-624.	Original Article
183	Oki E, Ota M, Nakanoko T, et al.	第二外科	Telesurgery and telesurgical support using a double-surgeon cockpit system allowing manipulation from two locations	Surg Endosc. 2023 Aug;37(8):6071-6078.	Original Article
184	Kimura Y, Oki E, Nakanoko T, et al.	第二外科	Evolution of Treatment Outcomes and Prognostic Factors in Esophageal Cancer Surgery: A Retrospective Analysis of 1500 Consecutive Esophagostomies	Ann Surg Open. 2023 Oct 30;4(4):e347.	Original Article
185	Ota M, Saeki H, Uehara H, et al.	第二外科	Phase II clinical trial to study the safety and efficacy of combined S-1 + oxaliplatin therapy as neoadjuvant chemotherapy for locally advanced gastric cancer in older patients	Int J Clin Oncol. 2023 Sep;28(9):1166-1175.	Original Article
186	Yoshida D, Sugiyama M, Nakanoko K, et al.	第二外科	Oncological Impact of the Level of Inferior Mesenteric Artery Ligation in Low Rectal Cancer Surgery	Anticancer Res. 2023 Jul;43(7):3225-3233.	Original Article
187	Ando K, Nakamura Y, Kitao H, et al.	第二外科	Mutational spectrum of TP53 gene correlates with nivolumab treatment efficacy in advanced gastric cancer (TP53MUT study)	Br J Cancer. 2023 Oct;129(6):1032-1039.	Original Article
188	Nakanoko T, Kimura Y, Natsugoe K, et al.	第二外科	Left recurrent nerve lymph node dissection in robotic esophagectomy for esophageal cancer without esophageal traction	World J Surg Oncol. 2023 Jul 26;21(1):223.	Original Article
189	Nakanoko T, Oki E, Ota M, et al.	第二外科	Real-time telementoring with 3D drawing annotation in robotic surgery	Surg Endosc. 2023 Dec;37(12):9676-9683.	Original Article
190	Nakanishi R, Morooka K, Omori K, et al.	第二外科	Artificial Intelligence-Based Prediction of Recurrence after Curative Resection for Colorectal Cancer from Digital Pathological Images	Ann Surg Oncol. 2023 Jun;30(6):3506-3514.	Original Article
191	Kudo K, Hasuda H, Tsuda Y, et al.	第二外科	Prognostic significance of a novel index score based on the inflammation-based prognostic scores of patients with colorectal cancer	J Gastroenterol Hepatol.2023 Oct;38(10):1750-1759.	Original Article
192	Kudo K, Hasuda H, Tsuda Y, et al.	第二外科	Comparison of Laparoscopic and Open Emergency Surgery for Colorectal Perforation: A Retrospective Study	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2023 May;33(5):464-470.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
193	Hu Q, Oki E, Yamada T, et al.	第二外科	Genomic characterization between HER2-positive and negative gastric cancer patients in a prospective trial	Cancer Med.2023 Aug;12(15):16649-16660.	Original Article
194	Kawazoe T, Ohgaki K, Huanlin W, et al.	第二外科	Preoperative Hemoglobin Level as Predictor of the Development of High-output Stoma in Rectal Cancer Surgery	Cancer Diagn Progn. 2023 Nov 3;3(6):667-672.	Original Article
195	Miyashita Y, Oki E, Kamori Y, et al.	第二外科	Immune checkpoint status and oncogenic mutation profiling of rectal cancer after neoadjuvant chemotherapy (KSCC1301-A2)	Ann Gastroenterol Surg.2023 Aug 21;8(2):251-261.	Original Article
196	Ikeda S, Qingjiang H, Natsugoe K, et al.	第二外科	A pathological complete response after immunotherapy with pembrolizumab for distal duodenal adenocarcinoma caused by Lynch syndrome: a case report	Int Cancer Conf J. 2023 Jul 26;12(4):279-284.	Case report
197	Ebata Y, Nonaka K, Namba S, et al.	第二外科	Esophagectomy for esophageal stricture with systemic sclerosis: a case report	Surg Case Rep. 2023 Nov 10;9(1):195.	Case report
198	Wakasugi A, Natsugoe K, Nakanoko T, et al.	第二外科	Combined treatment with surgery and immune checkpoint inhibitor extended survival in a case of gastric intramural metastasis from esophageal cancer: a case report	Surg Case Rep. 2023 Jun 26;9(1):118.	Case report
199	Harimoto N, Tsukagoshi M, Okuyama T, et al.	第二外科	Significance of malnutrition defined with Global Leadership Initiative on Malnutrition criteria in patients with hepatocellular carcinoma after hepatic resection	Hepatol Res. 2023 Dec;53(12):1235-1248.	Original Article
200	Itoh S, Harada N	第二外科	ASO Visual Abstract: Transferrin Receptor is Associated with Sensitivity to Ferroptosis Inducers in Hepatocellular Carcinoma	Ann Surg Oncol. 2023 Dec;30(13):8007-8008.	Original Article
201	Iguchi T, Iseda N, Hirose K, et al.	第二外科	Prognostic Impact of the Preoperative Systemic Inflammation Score in Patients With Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Am Surg. 2023 Jun;89(6):2213-2219.	Original Article
202	Mano Y, Sugimachi K, Shimagaki T, et al.	第二外科	Liver metastasis composed of pure squamous cell carcinoma component from pancreatic pure ductal adenocarcinoma: a case report	Surg Case Rep. 2023 Sep 29;9(1):173.	Case report
203	Kimura K, Minagawa Ryosuke, Yamada T, et al.	第二外科	Stent Graft of Pseudoaneurysm Rupture After Subtotal Stomach-preserving Pancreaticoduodenectomy	Anticancer Res. 2023 Aug;43(8):3639-3645.	Original Article
204	Tomino T, Nakayama Y, Toshida K, et al.	第二外科	Clinical association between intraoperative indocyanine green fluorescence imaging pattern, preoperative Gd-EOB-DTPA-enhanced magnetic resonance imaging findings, and histological differentiation in hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2023 Aug;53(8):723-736.	Original Article
205	Tomino T, Itoh S, Yoshiya S, et al.	第二外科	Impact of portal-phase signal intensity of dynamic gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging in hepatocellular carcinoma	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 Sep;30(9):1089-1097.	Original Article
206	Shimagaki T, Sugimachi K, Yoshizumi T, et al.	第二外科	A new scoring system with simple preoperative parameters as predictors of early recurrence of pancreatic ductal adenocarcinoma	PLoS One. 2023 Jul 14;18(7):e0288033.	Original Article
207	Shimagaki T, Sugimachi K, Mano Y, et al.	第二外科	Cachexia index as a prognostic predictor after resection of pancreatic ductal adenocarcinoma	Ann Gastroenterol Surg.2023 Apr 24;7(6):977-986.	Original Article
208	Shimagaki T, Sugimachi K, Mano Y, et al.	第二外科	Chronic expanding hematoma of the liver: a case report and review of the literature	Clin J Gastroenterol . 2024 Feb;17(1):93-99.	Review

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
209	Yugawa K, Nagata S, Sakai A, et al.	第二外科	A novel combined carbohydrate antigen 19-9 and lymphocyte-to-monocyte ratio score can predict early recurrence of resectable pancreatic ductal adenocarcinoma	Surg Today. 2023 Oct;53(10):1199-1208.	Original Article
210	Yugawa K, Nagata S, Sakai A, et al.	第二外科	Prognostic Impact of a Novel Albumin-Platelet Index as Selection Criterion for Hepatic Resection in Intermediate Stage Hepatocellular Carcinoma	Anticancer Res. 2023 Apr;43(4):1835-1842.	Original Article
211	Tomiyama T, Itoh S, Toshida K, et al.	第二外科	Clinical Significance of Signal Regulatory Protein Alpha (SIRP α) Expression in Hepatocellular Carcinoma	Ann Surg Oncol 2023 Jun;30(6):3378-3389	Original Article
212	Tomiyama T, Itoh S, Yugawa K, et al.	第二外科	Prognostic significance for recurrence of fibroblast growth factor receptor 2 in intrahepatic cholangiocarcinoma patients undergoing curative hepatic resection	Hepatol Res. 2023 May;53(5):432-439.	Original Article
213	Tomiyama T, Itoh S, Nakayama Y, et al.	第二外科	Preoperative HALP score is a prognostic factor for intrahepatic cholangiocarcinoma patients undergoing curative hepatic resection: association with sarcopenia and immune microenvironment	Int J Clin Oncol. 2023 Aug;28(8):1082-1091.	Original Article
214	Toshida K, Itoh S, Kayashima H, et al.	第二外科	The hemoglobin, albumin, lymphocyte, and platelet score is a prognostic factor for Child-Pugh A patients undergoing curative hepatic resection for single and small hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2023 Jun;53(6):522-530.	Original Article
215	Mita J, Maeda T, Tsujita E, et al.	第二外科	A case of difficult-to-diagnose hepatic reactive lymphoid hyperplasia finally diagnosed by using PCR analysis of IgH-gene rearrangements: a case report	Int Cancer Conf J. 2023 Sep 5;13(1):33-39.	Case report
216	Shiraishi J, Itoh S, Tomino T, et al.	第二外科	Surgical treatment of hepatocellular carcinoma after Fontan operation: three case reports and review of the literature	Clin J Gastroenterol. 2023 Aug;16(4):559-566.	Review
217	Shiraishi J, Itoh S, Tomino T, et al.	第二外科	Curative surgery for multiple hepatocellular carcinomas after lenvatinib plus transarterial chemoembolization: a case report	J Surg Case Rep.2023 Aug 26;2023(8):rjad485.	Case report
218	Iwasaki H, Ninomiya M, Itoh S, et al.	第二外科	Hand-assisted laparoscopic splenectomy and gastropancreatic fold division: a less invasive simplified technique of Hassab's procedure for refractory esophagogastric varices	Surg Today. 2023 Dec 6.	Original Article
219	Inaba D, Iguchi T, Iseda N, et al.	第二外科	Safety of laparoscopic cholecystectomy in patients with a cerebrospinal fluid shunt in the peritoneal cavity	Asian J Endosc Surg.2023 Jul;16(3):447-454.	Original Article
220	Tokunaga E, Miyoshi Y, Dozono K, et al.	第二外科	Association of Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio and Absolute Lymphocyte Count With Clinical Outcomes in Advanced Breast Cancer in the MONARCH 2 Trial	Oncologist. 2024 Mar 4;29(3):e319-e329.	Original Article
221	Omori S, Shigechi T, Yoshizumi T, et al.	第二外科	Successful Prevention of Tumour Lysis Syndrome in HER2-positive Breast Cancer: Case Report and Literature Review	Anticancer Res. 2023 May;43(5):2371-2377.	Review
222	Takenaka T, Yamazaki K, Hamatake M, et al.	第二外科	Prognostic Impact of Central Nervous System Recurrence After Surgery in Patients With Epidermal Growth Factor Receptor Mutation-positive Non-small-cell Lung Cancer	Anticancer Res. 2023 Aug;43(8):3543-3551.	Original Article
223	Osoegawa A, Karashima T, Takumi Y, et al.	第二外科	Osimertinib as first-line treatment for recurrent lung cancer patients with EGFR mutation	J Thorac Dis. 2023 Oct 31;15(10):5566-5573.	Original Article
224	Osoegawa A, Abe M, Takumi Y, et al.	第二外科	Significance of programmed death-ligand 1 expression in resected lung cancer and its relationship with EGFR mutation	Thorac Cancer. 2023 Aug;14(24):2467-2472.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
225	Osoegawa A, Takumi Y, Hashimoto T, et al.	第二外科	Cyclin-dependent kinase (CDK) 4/6 inhibition in non-small cell lung cancer with epidermal growth factor receptor (EGFR) mutations	Invest New Drugs.2023 Apr;41(2):183-192.	Original Article
226	Osoegawa A, Abe M, Takumi Y, et al.	第二外科	Challenges in Robotic Lung Lobectomy through the Anterior Approach	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Jan 26;30(1):23-00146.	Original Article
227	Suda K, Sakai K, Ohira T, et al.	第二外科	Performance of Ultra-Rapid Idylla™ EGFR Mutation Test in Non-Small-Cell Lung Cancer and Its Potential at Clinical Molecular Screening	Cancers (Basel). 2023 May 7;15(9):2648.	Original Article
228	Yoshida T, Takenoyama M, Katsura M, et al.	第二外科	A case of total arch replacement and lung lobectomy for infected aortic aneurysm ruptured into lung	Journal of Clinical Studies & Medical Case Reports, 2023,Oct: 197	Case report
229	Toyokawa G	第二外科	Tumor plasticity and therapeutic resistance in oncogene-addicted non-small cell lung cancer: from preclinical observations to clinical implications	Crit Rev Oncol Hematol . 2023 Apr:184:103966.	Review
230	Kodama M, Toyokawa G, Sugahara O, et al.	第二外科	Modulation of host glutamine anabolism enhances the sensitivity of small cell lung cancer to chemotherapy	Cell Reports 2023 Aug 29;42•112899	Original Article
231	Takada K, Takamori S	第二外科	Impact of Neoadjuvant Immune Checkpoint Inhibitors on Surgery and Perioperative Complications in Patients With Non-small-cell Lung Cancer: A Systematic Review	Clin Lung Cancer. 2023 Nov;24(7):581-590.e5.	Review
232	Takada K, Takamori S	第二外科	Correspondence Regarding “Sleeve Lobectomy After Neoadjuvant Chemoimmunotherapy Versus Chemotherapy for Squamous Cell Lung Cancer: A Multicenter, Retrospective Study”	JTO Clin Res Rep. 2023 Jul 5;4(8):100548.	Original Article
233	Akamine T, Nakagawa K,Ito K, et al.	第二外科	Role of fluorine-18-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in selecting candidates for a minimally invasive approach for thymic epithelial tumour resection	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2023 May 4;36(5):ivad082.	Original Article
234	Takamori S, Shimokawa M, Komiya T	第二外科	Efficacy of immune checkpoint inhibitors in younger patients with non-small cell lung cancer	J Cancer Res Clin Oncol.2023 Nov;149(14):13175-13184.	Original Article
235	Matsubara T, Matsubara T, Takahara T, et al.	第二外科	Biomarker Testing in Patients With Unresectable Advanced or Recurrent Non-Small Cell Lung Cancer	JAMA Netw Open. 2023 Dec 1;6(12):e2347700.	Original Article
236	Kinoshita F, Shimokawa M, Takenaka T, et al.	第二外科	Prognostic impact of noninvasive areas in resected pathological stage IA lung adenocarcinoma	Thorac Cancer. 2023 Jun;14(18):1651-1659.	Original Article
237	Kinoshita F, Takada K, Saito S, et al.	第二外科	Granzyme B (GZMB)-Positive Tumor-Infiltrating Lymphocytes in Lung Adenocarcinoma: Significance as a Prognostic Factor and Association with Immunosuppressive Proteins	Ann Surg Oncol. 2023 Nov;30(12):7579-7589.	Original Article
238	Kinoshita F, Takenaka T, Yamashita T, et al.	第二外科	Development of artificial intelligence prognostic model for surgically resected non-small cell lung cancer	Sci Rep.2023 Sep 21;13(1):15683.	Original Article
239	Nagano T, Kinoshita F, Hashimoto A, et al.	第二外科	Prognostic Impact of C-Reactive Protein-to-Lymphocyte Ratio in Non-small Cell Lung Cancer: A Propensity Score-Matching Analysis	Ann Surg Oncol. 2023 Jun;30(6):3781-3788.	Original Article
240	Nagano T, Takamori S, Hashimoto A, et al.	第二外科	Comparison of radiological and pathological tumor sizes in resected non-small cell lung cancer	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Dec;71(12):708-714.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
241	Kosai K, Masuda T, Kitagawa A, et al.	第二外科	Transducin Beta-Like 2 is a Potential Driver Gene that Adapts to Endoplasmic Reticulum Stress to Promote Tumor Growth of Lung Adenocarcinoma	Ann Surg Oncol.2023 Nov;30(12):7538-7548.	Original Article
242	Matsudo K, Takenaka T, Hashimoto A, et al.	第二外科	Impact of Chronic Obstructive Pulmonary Disease on the Long-term Prognosis of Patients Undergoing Lobectomy for Non-small-cell Lung Cancer: A Propensity Score-matched Analysis	Anticancer Res.2023 Nov;43(11):5215-5222.	Original Article
243	Guntani A, Yamashita S, Mii S	第二外科	Short-Term Results of Varicose Vein Graft Used for Lower-Limb Bypass Surgery	Ann Vasc Dis. 2023 Sep 25;16(3):169-173.	Original Article
244	Morisaki K, Matsubara Y, Kurose S, et al.	第二外科	Evaluation of three nutritional indices as predictors of 2-year mortality and major amputation in patients with chronic limb-threatening ischemia	Vascular. 2023 Dec;31(6):1094-1102.	Original Article
245	Morisaki K, Mstsuda D, guntani A, et al.	第二外科	Treatment outcomes between bypass surgery and endovascular therapy in patients with chronic limb-threatening ischemia classified as bypass-preferred category based on Global Vascular Guidelines	J Vasc Surg. 2023 Aug;78(2):475-482.e1.	Original Article
246	Morisaki K, Mstsuda D, guntani A, et al.	第二外科	Risk Factors for Major Amputation in Chronic Limb-Threatening Ischemia Patients Classified as Wound, Ischemia, and Foot Infection Stage 4 following Infrainguinal Revascularization	Ann Vasc Surg. 2023 Aug;94:246-252.	Original Article
247	Morisaki K, Kinoshita G, guntani A, et al.	第二外科	Impact of ambulatory status change on survival in patients with chronic limb-threatening ischemia undergoing infrainguinal surgical or endovascular revascularization	J Vasc Surg. 2023 Jul;78(1):193-200.e2.	Original Article
248	Morisaki K, Matsuda D, Matsubara Y, et al.	第二外科	Editor's Choice - Bypass Surgery Provides Better Wound Healing than Endovascular Treatment in Global Limb Anatomic Staging System Inframalleolar Modifier P1	Eur J Vasc Endovasc Surg.2023 May;65(5):758-759.	Original Article
249	Morisaki K, Mstsuda D, guntani A, et al.	第二外科	Comparison of limb outcomes between bypass surgery and endovascular therapy in dialysis-dependent and -independent patients with chronic limb-threatening ischemia	J Vasc Surg. 2024 Feb;79(2):316-322.e2.	Original Article
250	Okadome J, Morishige N, Sukehiro Y, et al.	第二外科	Effectiveness of Thoracic Endovascular Aortic Repair for Blunt Thoracic Aortic Injury	Ann Thorac Cardiovasc Surg.2023 Jun 20;29(3):133-140.	Original Article
251	Tanaka S, Ohmine T, Maeda T	第二外科	A Rare Case of Dissecting Superior Mesenteric Artery Aneurysm in Granulomatosis with Polyangiitis	Ann Vasc Dis.2024 Mar;16(4):269-272.	Case report
252	Yoshino S, Morisaki K, Matsuda D, et al.	第二外科	Bypass Surgery Provides Better Outcomes Compared with Endovascular Therapy in Patients with Chronic Limb-Threatening Ischemia Classified as Indeterminate Category According to the Global Vascular Guidelines	Ann Vasc Surg. 2023 Nov;97:358-366.	Original Article
253	Yoshino S, Matsubara Y, Kurose S, et al.	第二外科	Left Renal Vein Division during Open Surgical Repair for Abdominal Aortic Aneurysm May Cause Long-Term Kidney Remodeling	Ann Vasc Surg. 2023 Oct;96:155-165.	Original Article
254	Toshima T, Itoh S, Morita K, et al.	第二外科	Feasibility of venous cuff using an open round ligament or inferior mesenteric vein around the hepatic vein for a left lobe graft in living-donor liver transplantation	Surg Today. 2024 Jan 3.	Original Article
255	Bekki Y, Tomiyama k	第二外科	The impact of geographic location versus center practice on center volume in liver transplantation after the acuity circle policy	Clin Transplant. 2023 Apr;37(4):e14932.	Original Article
256	Tomino T, Harada N, Toshida K, et al.	第二外科	Effect of Early Enteral Nutrition on Graft Loss After Living Donor Liver Transplantation: A Propensity Score Matching Analysis	Transplant Proc. 2023 Nov;55(9):2164-2170.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
257	Tomiyama T, Suzuki R, Harada N, et al.	第二外科	A third dose of the BNT162b2 mRNA vaccine sufficiently improves the neutralizing activity against SARS-CoV-2 variants in liver transplant recipients	Front Cell Infect Microbiol.2023 May 16;13:1197349.	Original Article
258	Toshida K, Toshima T, Itoh S, et al.	第二外科	Caution to Poor Adherence With Immunosuppressant Medication That Causes Coma-Onset Autoimmune Encephalitis: A Case Report and Literature Review	Transplant Proc. 2023 Oct;55(8):1968-1971.	Original Article
259	Toshida K, itoh S, Ishiukawa T, et al.	第二外科	Association of gut microbiota with portal vein pressure in patients with liver cirrhosis undergoing living donor liver transplantation	JGH Open. 2023 Dec 9;7(12):982-989.	Original Article
260	Arisumi S, Fujiwara T, Yasumoto K, et al.	整形外科	Metallothionein 3 promotes osteoclast differentiation and survival by regulating the intracellular Zn ²⁺ concentration and NRF2 pathway	Cell Death Discov. 2023 Dec 1;9(1):436.	Original Article
261	Arita T, Kawano O, Sakai H, et al.	整形外科	Halo vest fixation effectively maintains cervical alignment through intraoperative repositioning in patients with cervical spine instability	Heliyon.2024 Mar 15;10(6):e27952.	Original Article
262	Hamai S, Harada S, Tsushima H, et al.	整形外科	Interaction between functional capability and sleep quality at midterm after total knee arthroplasty: a Japanese retrospective cohort study	Sci Rep. 2023 Oct 26;13(1):18373.	Original Article
263	Hanada M, Kadota H, Fujiwara T, et al.	整形外科	Immediate sciatic nerve reconstruction using an ipsilateral common peroneal nerve graft at the time of sarcoma resection	Microsurgery. 2024 Jan;44(1):e31034.	Case report
264	Harada S, Hamai S, Shiomoto K, et al.	整形外科	Predictors of physical activity recovery after total hip arthroplasty: a prospective observational study	Int Orthop. 2024 Mar, 48(3):753-760.	Original Article
265	Harada T, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Contralateral Hip Abductor Muscle Strength Associated with Comfort of Getting into and out of the Car after Total Hip Arthroplasty	J Clin Med. 2023 Aug 25;12(17):5515.	Original Article
266	Harada T, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Reverse dynamics analysis of contact force and muscle activities during the golf swing after total hip arthroplasty	Sci Rep. 2023 May 29;13(1):8688.	Original Article
267	Harada T, Hamai S, Shiomoto K, et al.	整形外科	A propensity score-matched comparison of patient satisfaction following periacetabular osteotomy or total hip arthroplasty for developmental dysplasia of the hip in an Asian cohort	Hip Int.2023 Jul;33(4):743-751.	Original Article
268	Hirose T, Ikegami M, Kojima S, et al.	整形外科	Extensive analysis of 59 sarcoma-related fusion genes identified pazopanib as a potential inhibitor to COL1A1-PDGFB fusion gene	Cancer Sci. 2023 Oct;114(10):4089-4100.	Original Article
269	Iida K, Matsumoto Y, Nabeshima A, et al.	整形外科	The Difference in Clinical Features between Small-Sized Soft Tissue Sarcomas and Benign Tumors	Kurume Med J. 2023 Nov 30;69(1.2):65-73.	Original Article
270	Ito Y, Setsu N, Yokoyama N, et al.	整形外科	A case report of open knee dislocation of rotating hinge knee prosthesis for the reconstruction of bone tumor resection	JOS Case Reports 2024 Mar, 3(1): 59-62	Case report
271	Iura H, Kobayakawa K, Saiwai H, et al.	整形外科	Bone marrow-derived fibroblast migration via periostin causes irreversible arthrogenic contracture after joint immobilization	FASEB J. 2023 May;37(5):e22842.	Original Article
272	Jimbayashi H, Iida K, Kazu K, et al.	整形外科	Cases requiring reoperation for recurrence of myelopathy by lamina closure after a double-door laminoplasty using a modified Kirita-Miyazaki suture method	J Orthop. 2023 Jul 22;44:12-16.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
273	Kawaguchi K, Kohashi K, Mori T, et al.	整形外科	Prognostic implications of the immunohistochemical expression of perilipin 1 and adipophilin in high-grade liposarcoma	J Clin Pathol.2023 May 31:jcp-2023-208814.	Original Article
274	Kawaguchi K, Miyama K, Endo M, et al.	整形外科	Viable tumor cell density after neoadjuvant chemotherapy assessed using deep learning model reflects the prognosis of osteosarcoma	NPJ Precis Oncol. 2024 Jan 22;8(1):16.	Original Article
275	Kijima K, Ono G, Kobayakawa K, et al.	整形外科	Zinc deficiency impairs axonal regeneration and functional recovery after spinal cord injury by modulating macrophage polarization via NF- κ B pathway	Front Immunol. 2023 Nov 8;14:1290100.	Original Article
276	Kishikawa J, Kobayakawa K, Saiwai H, et al.	整形外科	Verification of the Accuracy of Cervical Spinal Cord Injury Prognosis Prediction Using Clinical Data-Based Artificial Neural Networks	J Clin Med.2024 Jan 1;13(1):253.	Original Article
277	Kita K, Fujimori T, Suzuki Y, et al.	整形外科	Bimodal artificial intelligence using TabNet for differentiating spinal cord tumors-Integration of patient background information and images	iScience.2023 Sep 14;26(10):107900.	Original Article
278	Kitade K, Kobayakawa K, Saiwai H et al.	整形外科	Reduced Neuroinflammation Via Astrocytes and Neutrophils Promotes Regeneration After Spinal Cord Injury in Neonatal Mice	J Neurotrauma.2023 Dec;40(23-24):2566-2579.	Original Article
279	Kitamura K, Fujii M, Motomura G, et al.	整形外科	The sourcil roundness index is a useful measure for quantifying acetabular concavity asphericity	Sci Rep. 2023 Sep 22;13(1):15851.	Original Article
280	Kiyoshi T, Yoshihiro M, Kazuya Y, et al.	整形外科	Dural reconstruction following resection of ventral and lateral spinal cord meningiomas: Fenestrated Durotomy with Oversized Graft technique	J Clin Neurosci. 2023 Oct;116:120-124.	Original Article
281	Kokubu Y, Kawahara S, Hamai S, et al.	整形外科	"Grand-piano sign" as a femoral rotational indicator in both varus and valgus knees: a simulation study of anterior resection surface in total knee arthroplasty	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.2023 Aug;31(8):3259-3267.	Original Article
282	Kokubu Y, Kawahara S, Kitamura K, et al.	整形外科	Evaluation of the anterior acetabular coverage with a false profile radiograph considering appropriate range of positioning	Sci Rep.2023 May 22;13(1):8288.	Original Article
283	Ono G, Kobayakawa K, Saiwai H, et al.	整形外科	Macrophages play a leading role in determining the direction of astrocytic migration in spinal cord injury via ADP-P2Y1R axis	Sci Rep.2023 Jul 10;13(1):11177.	Original Article
284	Sakai M, Akasaki Y, Akiyama T, et al.	整形外科	Similar short-term KOOS between open-wedge high tibial osteotomy and total knee arthroplasty in patients over age 60: A propensity score-matched cohort study	Mod Rheumatol.2023 Apr 13;33(3):623-628.	Original Article
285	Sakamoto K, Motomura G, Hamai S, et al.	整形外科	Radiological factors associated with posterior dislocation after total hip arthroplasty for osteonecrosis of the femoral head - A retrospective study	J Orthop.2023 Nov 11:48:38-41.	Original Article
286	Shibahara K, Hamai S, Akasaki Y, et al.	整形外科	Histological evaluation of the low-density region around beta-tricalcium phosphate scaffolds used in opening wedge high tibial osteotomy: A report of two cases	J Orthop Sci.2023 Nov;28(6):1606-1610.	Case report
287	Soejima Y, Fujiwara T, Fujii M, et al.	整形外科	Arthroscopic Treatment of Septic Arthritis of the Ankle Caused by Group B Streptococcus: A Case Report	Am J Case Rep.2023 Jun 26;24:e939719.	Case report
288	Takeuchi N, Kozono N, Nishii A, et al.	整形外科	Prevalence and predisposing factors of neuropathic pain in patients with rotator cuff tears	J Orthop Sci.2023 Nov;28(6):1274-1278.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
289	Takeuchi R, Tarukado K, Matsumoto Y, et al.	整形外科	Development of a clinical prediction score for perioperative complications following metastatic spinal surgery (PERCOM) score	Heliyon. 2024 Jan 26;10(3):e25180.	Original Article
290	Tsutsui T, Fujiwara T, Matsumoto Y, et al.	整形外科	Geriatric nutritional risk index as the prognostic factor in older patients with fragility hip fractures	Osteoporos Int. 2023 Jul;34(7):1207-1221.	Original Article
291	Uchida T, Akasaki Y, Sueishi T, et al.	整形外科	Promotion of Knee Cartilage Degradation by I κ B Kinase ϵ in the Pathogenesis of Osteoarthritis in Human and Murine Models	Arthritis Rheumatol. 2023 Jun;75(6):937-949.	Original Article
292	Utsunomiya T, Motomura G, Yamaguchi R, et al.	整形外科	Effects of the location of both anterior and lateral boundaries of the necrotic lesion on collapse progression in osteonecrosis of the femoral head	J Orthop Sci. 2024 Mar;29(2):552-558.	Original Article
293	Xu M, Motomura G, Utsunomiya T, et al.	整形外科	Effects of bone mineral density at the lateral sclerotic boundary on the femoral head collapse onset in osteonecrosis of the femoral head: A preliminary study	Clin Biomech (Bristol, Avon).2024 Jan;111:106156.	Original Article
294	Yamada E, Kozono N, Nabeshima A, et al.	整形外科	Baseplate inferior offset affects shoulder range of motion in reverse shoulder arthroplasty in Asian population	J Orthop Surg Res. 2024 Jan 3;19(1):25.	Original Article
295	Yamada H	整形外科	The Search for the Pathogenic T Cells in the Joint of Rheumatoid Arthritis: Which T-Cell Subset Drives Autoimmune Inflammation?	Int J Mol Sci. 2023 Apr 8;24(8):6930.	Review
296	Yamada H, Haraguchi A, Tsuru T, et al.	整形外科	Low avidity observed for anti-citrullinated peptide antibody is not a general phenomenon for autoantibodies	Ann Rheum Dis.2023 Dec;82(12):1637-1638.	Letter
297	Yammoto N, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Relationship between the degree of subchondral collapse and articular surface irregularities in osteonecrosis of the femoral head	J Orthop Res. 2023 Sep;41(9):1996-2006.	Original Article
298	Yokota K, Kawano O, Sakai H, et al.	整形外科	Intraoperative Radiation Exposure from O-arm-based 3D Navigation in Spine Surgery	Spine Surg Relat Res . 2023 Jul 6;7(6):496-503.	Original Article
299	Yoshino S, Kawahara S, Hara T, et al.	整形外科	Anterior superior iliac spine is not always reliable as a pelvic reference axis. -3D study of pelvic axis	J Orthop Sci. 2023 May, 28(3):677-682.	Original Article
300	Yoshino S, Yamaguchi R, Tanaka H, et al.	整形外科	Family History of Developmental Dysplasia of the Hip is a Risk Factor for the Progression of Hip Osteoarthritis	J Arthroplasty. 2024 Feb;39(2):393-397.e1.	Original Article
301	Kurogi R, Kada A, Ogasawara K, et al.	脳神経外科	National trends in the outcomes of subarachnoid haemorrhage and the prognostic influence of stroke centre capability in Japan: retrospective cohort study	BMJ Open. 2023 Apr 10;13(4):e068642.	Original Article
302	Shimogawa T, Sakata A, Watanabe E, et al.	脳神経外科	Mandibular and chin electrodes as a supplemental recording for detection of epileptiform discharges in mesial temporal lobe epilepsy	Surg Neurol Int.2023 Jun 2;14:189.	Original Article
303	Yoshimoto K	脳神経外科	Classification and Molecular Diagnosis of Benign Brain Tumors	No Shinkei Geka.2023 Sep;51(5):771-777.	Original Article
304	Otsuji R, Fujioka Y, Hata N, et al.	脳神経外科	Liquid Biopsy for Glioma Using Cell-Free DNA in Cerebrospinal Fluid	Cancers (Basel). 2024 Feb 29;16(5):1009.	Review

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
305	Hata N, Fujioka Y, Otsuji R, et al.	脳神経外科	In-house molecular diagnosis of diffuse glioma updating the revised WHO classification by a platform of the advanced medical care system, Senshin-Iryo	Neuropathology.2024 Mar 13.	Original Article
306	Maehara N, Nakamizo A, Arimura K, et al.	脳神経外科	Memory, Executive, and Intellectual Functions in Adults with Moyamoya Disease	World Neurosurg.2023 Dec;180:e474-e483.	Original Article
307	Shirozu N, Ohgidani M, Hata N, et al.	脳神経外科	Angiogenic and inflammatory responses in human induced microglia-like (iMG) cells from patients with Moyamoya disease	Sci Rep.2023 Sep 8;13(1):14842.	Original Article
308	Komune N, Kuga R, Hongo T, et al.	脳神経外科	Impact of Positive-Margin Resection of External Auditory Canal Squamous Cell Carcinoma	Cancers (Basel).2023 Aug 27;15(17):4289.	Original Article
309	Otsuji R, Hata N, Funakoshi Y, et al.	脳神経外科	Supramaximal Resection Can Prolong the Survival of Patients with Cortical Glioblastoma: A Volumetric Study	Neurol Med Chir (Tokyo).2023 Aug15;63(8):364-374.	Original Article
310	Nishimura S, Yamashita K, Togao O, et al.	脳神経外科	The T2-FLAIR mismatch sign in glioblastoma, isocitrate dehydrogenase wild-type A case report	Acta Radiol Open.2023 Jun 17;12(6):20584601231184565.	Case report
311	Iwaki K, Arimura K, Fukuda S, et al.	脳神経外科	A cavernous sinus dural arteriovenous fistula treated by direct puncture of the superior ophthalmic vein with craniotomy: illustrative case	J Neurosurg Case Lessons.2023 Nov13;6(20):CASE23464.	Case report
312	Iwaki K, Arimura K, Fukuda S, et al.	脳神経外科	Percutaneous transluminal angioplasty for persistent primitive hypoglossal artery stenosis: illustrative case	J Neurosurg Case Lessons.2023 Oct23;6(17):CASE23427.	Case report
313	Hokazono M, Shimogawa T, Nakamizo A, et al.	脳神経外科	Hemifacial Spasm Caused by Vascular Compression of the Anterior Inferior Cerebellar Artery-Posterior Inferior Cerebellar Artery Common Trunk Anomaly at the Cisternal Portion of the Facial Nerve: A Case Report	NMC Case Rep J.2023 Sep 29;10:253-257.	Case report
314	Takemoto S, Sonoda H, Tanoue Y, et al.	心臓血管外科	Single ventricularization followed by separation for infected ventricular septal rupture	Ann Thorac Surg (online published), May, 2023	Case report
315	Mitsuo H, Ushijima T, Sonoda H, et al.	心臓血管外科	Quadruple Valve Replacement for Repaired Transposition of the Great Arteries	Ann Thorac Surg.2023 Jun;115(6):e135-e137	Case report
316	Fujita S, Ushijima T, Shinohara G, et al.	心臓血管外科	Veno-venous extracorporeal membrane oxygenation support of pulmonary insufficiency using Avalon Elite® cannula in pediatric patients	J Artif Organs. 2023 Jun 29.	Original Article
317	Oda S, Fujita S, Ushijima T, et al.	心臓血管外科	Successful Closure of Outlet Muscular Ventricular Septal Defect Through Left Anterior Thoracotomy	Annals of Thoracic Surgery Short Reports Volume 1, Issue 4, December 2023, Pages 660-662	Case report
318	Shinohara G, Oda S, Fujita S, et al.	心臓血管外科	Biventricular repair using subvalvular techniques for unbalanced atrioventricular septal defect	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg.2023 Jul 19;37(1):ivad109.	Original Article
319	Nishijima T, Fujita S, Harada T, et al.	心臓血管外科	Necrostatin-1 Attenuates Delayed Paraplegia after Transient Spinal Cord Ischemia in Rabbits by Inhibiting the Upregulation of Receptor-Interacting Protein Kinase 1 and 3	Ann Vasc Surg.2023 Oct;96:382-392	Original Article
320	Mitsuo H, Matsuda K, Ushijima T, et al.	心臓血管外科	Total neoaorta graft replacement with faucet-like coronary reconstruction technique and double-valve replacement 17 years after the Norwood procedure	JTCVS Tech. 2023 Oct 20;22:255-257.	Case report

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
321	Matsunaga S, Kohda A, Kamakura S, et al.	心臓血管外科	Hypoxia stabilizes the H2 O2 -producing oxidase Nox4 in cardiomyocytes via suppressing autophagy-related lysosomal degradation	Genes Cells.2024 Jan;29(1):63-72.	Original Article
322	Oishi Y, Kumamaru H, Kato M, et al.	心臓血管外科	Open Versus Zone 0/1 Endovascular Aortic Repair for Arch Aneurysm: A Propensity Score-Matched Study from the National Clinical Database in Japan	Ann Vasc Surg. 2024 Mar;100:128-137.	Original Article
323	Nishijima T, Ushijima T, Fuke Y, et al.	心臓血管外科	Cannula to Femoral Artery Diameter Ratio Predicts Potential Lower-Limb Ischemia in Minimally Invasive Cardiac Surgery With Femoral Cannulation	Innovations (Phila) . 2024 Mar;19(2):161-168.	Case report
324	Toriihara Y, Matsuura T, Yanagi Y	小児外科	The advantages of duct-to-duct biliary reconstruction in pediatric living donor liver transplantation	Pediatr Surg Int. 2023 Nov 2;39(1):286.	Original Article
325	Kawakubo N, Takemoto J, Irie K	小児外科	Surgical outcome and prognosis of pediatric solid-pseudopapillary neoplasm	Pediatr Int.2023 Dec;65(1):e15666.	Original Article
326	Shirai T, Matsuura T, Tamaki A	小児外科	The Factors Associated with the Selection of Early Excision Surgery for Congenital Biliary Dilatation with a Prenatal Diagnosis	J Pediatr Surg. 2023 Jul;58(7):1246-1251.	Original Article
327	Kono J, Yoshimaru K, Kondo T	小児外科	The Volume of Intestinal Decompression can Predict the Necessity of Surgical Intervention for Adhesive Small Bowel Obstruction	J Pediatr Surg. 2023 Jul;58(7):1252-1257.	Original Article
328	Yoshimaru K, Matsuura T, Uchida Y	小児外科	Cutting-edge regenerative therapy for Hirschsprung disease and its allied disorders	Surg Today. 2023 Sep 5.	Review
329	Hino Y, Kawakubo N, Takemoto J	小児外科	Hemorrhagic shock due to rupture of a nephroblastoma in an infant: A case report	JPS Case Reports. 2023 Oct;97:102711	Case report
330	Fukuhara M, Yamaguchi.Y, Izaki T	小児外科	Intestinal reversed rotation in neonates: A case report and review of the literature	J Pediatr Surg Case Reports.97.October 2023, 102708	Case report
331	Fukuhara M, Kaisyakuji Y, Izaki T	小児外科	Thoracoscopic repair for late-presenting congenital diaphragmatic hernia with thoracic kidney in a child	Asian J Endosc Surg . 2023 Jul;16(3):640-643.	Case report
332	Shiota M, Akamatsu S, Sekine Y, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genetic variations predicting progression with docetaxel and novel androgen-receptor pathway inhibitors	Cancer Sci. 2023 Apr;114(4):1625-1634.	Original Article
333	Shiota M, Inoue R, Tashiro K, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	A Phase II Trial of Abiraterone With Dutasteride for Second-Generation Antiandrogen- and Chemotherapy-Naïve Patients With Castration-Resistant Prostate Cancer	J Clin Pharmacol. 2023 Apr;63(4):445-454.	Original Article
334	Lee K, Shiota M, Takamatsu D, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Correlation between extended pelvic lymph node dissection and urinary incontinence at early phase after robot-assisted radical prostatectomy	Int J Urol. 2023 Apr;30(4):340-346.	Original Article
335	Takamatsu D, Kiyozawa D, Kohashi K, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognostic impact of CD73/adenosine 2A receptor (A2AR) in renal cell carcinoma and immune microenvironmental status with sarcomatoid changes and rhabdoid features	Pathol Res Pract. 2023 Apr;244:154423.	Original Article
336	Shiota M, Tatarano S, Kamoto T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genome-wide association studies in advanced prostate cancer: KYUCOG-1401-A study	Endocr Relat Cancer.2023 Jun 1;30(7):e230044.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
337	Shiota M, Miyake H, Takahashi M	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Effect of genetic polymorphisms on outcomes following nivolumab for advanced renal cell carcinoma in the SNIp-RCC trial	Cancer Immunol Immunother.2023 Jun;72(6):1903-1915.	Original Article
338	Blas L, Shiota M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Adverse Events of Abiraterone Acetate vs Enzalutamide	Urol Pract. 2023 Jul;10(4):361-370.	Original Article
339	Blas L, Shiota M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Fusion-targeted biopsy significantly improves prostate cancer detection in biopsy-naïve men	Int J Urol. 2023 Jul;30(7):600-604.	Original Article
340	Shiota M, Ushijima M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	NR5A2/HSD3B1 pathway promotes cellular resistance to second-generation antiandrogen darolutamide	Drug Resist Updat.2023 Sep;70:100990.	Original Article
341	Kashiwagi E, Shiota M, Inokuchi J, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Comparison of Testosterone Level of Seminal Vesicle Fluid in Patients With Prostate Cancer Versus Other Malignancies	Anticancer Res. 2023 Sep;43(9):4249-4254.	Original Article
342	Blas L, Shiota M, Miyake H, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Clinical factors for tumor response, progression, and survival in nivolumab for advanced renal cell carcinoma in the SNIp-RCC study	Int J Urol.2023 Sep;30(9):788-796.	Original Article
343	Blas L, Shiota M, Matsumoto T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Bone-modifying agents are protective for symptomatic skeletal events in Radium-223 treatment	Int J Urol. 2023 Nov;30(11):1029-1034.	Original Article
344	Shiota M, Tsukahara S, Ueda S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Improved urinary continence recovery after robot-assisted radical prostatectomy with lateral pelvic fascia preservation	J Robot Surg. 2023 Dec;17(6):2721-2728.	Original Article
345	Shiota M, Terada N, Kimura T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Differential cancer-specific survival with curative radiotherapy to the prostate for metastatic prostate cancer according to estimated survival by risk group	Int J Urol. 2023 Dec;30(12):1197-1199.	Original Article
346	Shiota M, Tsukahara S, Takamatsu D, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Salvage robot-assisted radical prostatectomy after carbon ion radiotherapy to the prostate	Asian J Endosc Surg.2024 Jan;17(1):e13279.	Original Article
347	Blas L, Shiota M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Adverse Events of Cabozantinib Plus Nivolumab Versus Ipilimumab Plus Nivolumab	Clin Genitourin Cancer . 2024 Feb;22(1):e122-e127.e1.	Original Article
348	Takeuchi S, Murakami Y, Matsunaka H	皮膚科	Physiological effects of appropriate washing on xerotic skin	J Cosmet Dermatol.2024 Mar;23(3):876-885.	Original Article
349	Nakahara T, Onozuka D, Nunomura S, et al.	皮膚科	The ability of biomarkers to assess the severity of atopic dermatitis	J Allergy Clin Immunol Glob.2023 Sep 27;3(1):100175.	Original Article
350	Nakahara T, Fujita H, Tajima Y, et al.	皮膚科	Evaluating the usefulness of the Atopic Dermatitis Control Tool for assessing disease control in individuals with atopic dermatitis in Japan	Br J Dermatol. 2023 Dec 20;190(1):123-125.	Original Article
351	Tsuji G, Yumine A, Yamamura K, et al.	皮膚科	The Therapeutic Aryl Hydrocarbon Receptor-Modulating Agent Tapinarof Regulates SEMA3A Expression in Human Keratinocytes through NRF2	J Invest Dermatol. 2024 Mar;144(3):710-713	Original Article
352	Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Yumine A, et al.	皮膚科	PDE4 inhibition by difamilast regulates filaggrin and loricrin expression via keratinocyte proline-rich protein in human keratinocytes	J Dermatol Sci. 2023 May;110(2):61-68	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
353	Ito T, Kaku-Ito Y, Ohno F, et al.	皮膚科	A real-world study on the safety profile of extended-interval dosing of immune checkpoint inhibitors for melanoma: a single-center analysis in Japan	Front Med (Lausanne). 2023 Dec 7;10:1293397	Original Article
354	Ito T, Tanaka Y, Ichiki T, et al.	皮膚科	KS-EMPD-1: a novel cell line of primary extramammary Paget's disease	Hum Cell.2023 Sep;36(5):1813-1829	Original Article
355	Sugiyama A, Murakami Y, Okamoto K, et al.	皮膚科	Nocturnal Scratching and Quality of Sleep in Children with Atopic Dermatitis	Acta Derm Venereol.2023 Oct 23;103:adv12345	Original Article
356	Ichiki T, Yamada Y, Ito T, et al.	皮膚科	Histological and immunohistochemical prognostic factors of primary angiosarcoma	Virchows Arch. 2023 Jul;483(1):59-69	Original Article
357	Ichiki T, Ito T, Oishi H, et al.	皮膚科	Pigmented epithelioid melanocytoma arising from a teratoma of a Carney complex patient	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Feb;50(2):266-269.	Case report
358	Takei I, Ito T, Murata M, et al.	皮膚科	Burn Injury in Children: A Single-center Analysis of 100 Patients in Japan	Journal of Plastic and Reconstructive Surgery, 2024 Jan(3) 1:26-28.	Others
359	Uchi H	皮膚科	Optimal strategy in managing advanced melanoma	J Dermatol. 2024 Mar;51(3):324-334.	Review
360	Tsuji G, Yamamura K, Kawamura K, et al.	皮膚科	Regulatory Mechanism of the IL-33-IL-37 Axis via Aryl Hydrocarbon Receptor in Atopic Dermatitis and Psoriasis	Int J Mol Sci. 2023 Sep 27;24(19):14633.	Review
361	Tsuji G, Yamamura K, Kawamura K, et al.	皮膚科	Novel Therapeutic Targets for the Treatment of Atopic Dermatitis	Biomedicines. 2023 Apr 27;11(5):1303	Review
362	Fujiwara K, Ueda E, Hata J, et al.	眼科	Association between corneal hysteresis and glaucoma in a Japanese population: The Hisayama Study	Br J Ophthalmol. 2024 Mar 12;bj0-2023-323987.	Original Article
363	Fukuda Y, Notomi S, Shiose S, et al.	眼科	Wide-field choroidal thickness analysis after half-fluence photodynamic therapy combined with intravitreal aflibercept injection in pachychoroid neovascularopathy	J Clin Med. 2024 Mar 11;13(6):1608.	Original Article
364	Tsutsui S, Murakami Y, Fujiwara K, et al.	眼科	Genotypes and clinical features of RHO-associated retinitis pigmentosa in a Japanese population	Jpn J Ophthalmol . 2024 Jan;68(1):1-11.	Original Article
365	Tanabe M, Yoshikawa H, Fukushima M, et al.	眼科	A case of primary orbital liposarcoma with dedifferentiated transformation from a well-differentiated form	Am J Ophthalmol Case Rep.2023 Dec 26;33:101983.	Case report
366	Shibata K, Fujimori N, Oono T, et al.	眼科	Single-cell analysis for identification of T-cell clonotypes associated with IgG4 production of autoimmune pancreatitis	Gastroenterol Rep (Oxf).2023 Dec 8;11:goad071.	Original Article
367	Fukuda Y, Yawata N, Hasegawa E, et al.	眼科	Clinical Features of Pediatric Uveitis at a Tertiary Referral Center in the Western Region of Japan	Ocul Immunol Inflamm.2023 Dec;31(10):2032-2038.	Original Article
368	Tajima A, Sassa Y, Ishio D, et al.	眼科	Clinical features of 26 cases of COVID-19-associated conjunctivitis	Jpn J Ophthalmol.2024 Jan;68(1):57-63.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
369	Nagata J, Shiose S, Ishikawa K, et al.	眼科	Clinical Characteristics of Eyes with Neovascular Age-Related Macular Degeneration and Retinal Pigment Epithelium Tears	J Clin Med. 2023 Aug 24;12(17):5496.	Original Article
370	Wada I, Nakao S, Fukuda Y, et al.	眼科	Correction to: Persistence of vascular empty sleeves in choroidal neovascularization after anti-VEGF therapy in both animal models and humans	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Oct;261(10):3047.	Original Article
371	Fukuda Y, Notomi S, Shiose S, et al.	眼科	Differences in Central and Peripheral Choroidal Thickness among the Subtypes of Age-Related Macular Degeneration in an Asian Population	J Clin Med. 2023 Aug 18;12(16):5364.	Original Article
372	Wada I, Nakao S, Fukuda Y, et al.	眼科	Persistence of vascular empty sleeves in choroidal neovascularization after VEGF therapy in both animal models and humans	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Aug;261(8):2189-2197.	Original Article
373	Ueda E, Yasuda M, Fujiwara K, et al.	眼科	Association Between Choroidal Thickness and Myopic Maculopathy in a Japanese Population: The Hisayama Study	Ophthalmol Sci. 2023 Jun 7;3(4):100350.	Original Article
374	Akiyama M, Miyake M, Momozawa Y, et al.	眼科	Genome-Wide Association Study of Age-Related Macular Degeneration Reveals 2 New Loci Implying Shared Genetic Components with Central Serous Chorioretinopathy	Ophthalmology. 2023 Apr;130(4):361-372.	Original Article
375	Matsuo M, Hashimoto K, Koga R, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Utility of Precision Oncology Using Cancer Genomic Profiling for Head and Neck Malignancies	In Vivo. 2023 Sep-Oct;37(5):2147-2154.	Original Article
376	Matsuo M, Hashimoto K, Koga R, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Pembrolizumab Monotherapy Versus Pembrolizumab Plus Chemotherapy in Patients With Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	In Vivo. 2023 Sep-Oct;37(5):2188-2196.	Original Article
377	Kikuchi Y, Murakami D, Yamaguchi Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Social anxiety disorder in adolescents who stutter: A risk for school refusal.	Pediatr Int. 2023 Dec;65(1):e15622.	Original Article
378	Komune N, Suzuki T, Miyamoto Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Anatomy of small canals around the jugular foramen: Special reference to Jacobson's and Arnold's nerves	Clin Anat. 2023 May;36(4):599-606.	Original Article
379	Komune N, Sato K, Ono M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Biological and genetic characterization of a newly established human external auditory canal carcinoma cell line, SCEACono2	Sci Rep. 2023 Nov 10;13(1):19636.	Original Article
380	Kuga R, Yamamoto H, Jiomaru R, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	HPV Infection in Squamous Cell Carcinoma of the Hypopharynx, Larynx, and Oropharynx With Multisite Involvement	Am J Surg Pathol. 2023 Sep 1;47(9):955-966.	Original Article
381	Ushijima Y, Nishie A, Fujita N, et al.	放射線科	Diagnostic accuracy of percutaneous core biopsy before cryoablation for small-sized renal cell carcinoma	Diagn Interv Radiol. 2023 Nov 7;29(6):800-804.	Original Article
382	Ushijima Y, Okamoto D, Fujita N, et al.	放射線科	Effect of lipiodol marking before CT-guided cryoablation on the outcome of sporadic renal cell carcinoma	Diagn Interv Radiol. 2024 Mar 6;30(2):117-123.	Original Article
383	Okamoto D, Ushijima Y, Fujita N, et al.	放射線科	Safety and clinical contribution of computed tomography-guided biopsy for cervical spine lesion	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2024 Feb 5:1-5.	Original Article
384	Hisano O, Yoshitake T, Nomoto S, et al.	放射線科	Efficacy and Safety of Adjuvant Radiotherapy for Soft Tissue Sarcoma: A Two-Institution Retrospective Observational Study	SN Comprehensive Clinical Medicine. 2024 Feb, 6:22	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
385	Isoyama-Shirakawa Y, Yoshitake T, Ninomiya K, et al.	放射線科	Combination of Clinical Factors and Radiomics Can Predict Local Recurrence and Metastasis After Stereotactic Body Radiotherapy for Non-small Cell Lung Cancer	Anticancer Res.2023 Nov;43(11):5003-5013.	Original Article
386	Nishimuta Y, Tsurumaru D, Kai S, et al.	放射線科	Extracellular volume fraction determined by equilibrium contrast-enhanced computed tomography: correlation with histopathological findings in gastric cancer	Jpn J Radiol. 2023 Jul;41(7):752-759.	Original Article
387	Tsurumaru D, Nishimuta Y, Kai S, et al.	放射線科	Clinical significance of dual-energy dual-layer CT parameters in differentiating small-sized gastrointestinal stromal tumors from leiomyomas	Jpn J Radiol. 2023 Dec;41(12):1389-1396.	Original Article
388	Yamasaki Y, Kamitani T, Sagiyama K, et al.	放射線科	Dynamic chest radiography for pulmonary vascular diseases: clinical applications and correlation with other imaging modalities	Jpn J Radiol. 2024 Feb;42(2):126-144.	Review
389	Yamasaki Y	放射線科	New Path and Remaining Issues in Clinical Applications of Dynamic Chest Radiography	Circ J. 2023 Dec 25;88(1):168-169.	Letter
390	Yamasaki Y, Hino T	放射線科	Dynamic chest radiography: moving from basic research to clinical application	J Thorac Dis.2023 Dec 30;15(12):7155-7158.	Letter
391	Yamashita K, Hatae R, Kikuchi K, et al.	放射線科	Predicting TERT promoter mutation status using 1H-MR spectroscopy and stretched-exponential model of diffusion-weighted imaging in IDH-wildtype diffuse astrocytic glioma without intense enhancement	Neuroradiology. 2023 Aug;65(8):1205-1213.	Original Article
392	Yamashita K, Togao O, Kikuchi K, et al.	放射線科	Cortical high-flow sign on arterial spin labeling: a novel biomarker for IDH-mutation and 1p/19q-codeletion status in diffuse gliomas without intense contrast enhancement	Neuroradiology. 2023 Sep;65(9):1415-1418.	Original Article
393	Yamashita K, Yoneyama M, Kikuchi K, et al.	放射線科	Reproducibility of quantitative ADC, T1, and T2 measurement on the cerebral cortex: Utility of whole brain echo-planar DWI with compressed SENSE (EPICS-DWI): A pilot study	Eur J Radiol Open. 2023 Aug 11;11:100516.	Original Article
394	Togao O, Obara M, Yamashita K, et al.	放射線科	Arterial Spin Labeling-Based MR Angiography for Cerebrovascular Diseases: Principles and Clinical Applications	J Magn Reson Imaging. 2023 Nov 8.	Review
395	Yamashita K, Togao O, Kikuchi K, et al.	放射線科	The cortical high-flow sign of oligodendroglioma, IDH-mutant and 1p/19q-codeleted: comparison between arterial spin labeling and dynamic susceptibility contrast methods	Neuroradiology. 2024 Feb;66(2):187-192.	Original Article
396	Kikuchi K, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Comparison of diagnostic performance of radiologist- and AI-based assessments of T2-FLAIR mismatch sign and quantitative assessment using synthetic MRI in the differential diagnosis between astrocytoma, IDH-mutant and oligodendroglioma, IDH-mutant and 1p/19q-codeleted	Neuroradiology. 2024 Mar;66(3):333-341.	Original Article
397	Kikuchi K, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Brain volume measured by synthetic magnetic resonance imaging in adult moyamoya disease correlates with cerebral blood flow and brain function	Sci Rep. 2024 Mar 5;14(1):5468.	Original Article
398	Ikezaki H, Nomura H, Shimono N	総合診療科	Impact of peripheral mitochondrial DNA level on immune response after COVID-19 vaccination	iScience. 2023 Jul 21;26(7):107094.	Original Article
399	Ikezaki H, Furusyo N, AiM, et al.	総合診療科	Relationship between the cholesterol and triglyceride content of lipoprotein subclasses and carotid intima-media thickness: A cross-sectional population-based study	Clin Chim Acta. 2023 Aug 1;548:117521.	Original Article
400	Ogawa E, Jun DW, Toyoda H, et al.	総合診療科	Increased spine bone density in patients with chronic hepatitis B switched to tenofovir alafenamide: A prospective, multinational study	Aliment Pharmacol Ther.2024 Jan;59(2):239-248.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
401	Asada M, Nobukuni K, Yoshino J, et al.	麻酔科蘇生科	Comparison of Changes in Chest Wall Mechanics and Respiratory Timing Between Patient-Controlled Epidural Analgesia and Intravenous Patient-Controlled Analgesia After Laparoscopic Gastrectomy: A Randomized Controlled Trial	Cureus. 2023 Apr 8;15(4):e37276.	Original Article
402	Maeda A, Chikama Y, Tanaka R, et al.	麻酔科蘇生科	Safety and utility of ultrasound-guided superior cervical ganglion block for headaches and orofacial pain: a retrospective, single-center study of 10 patients	JA Clin Rep. 2023 Apr 29;9(1):21.	Original Article
403	Shirozu K, Nobukuni K, Maki J, et al.	麻酔科蘇生科	Redistributional Hypothermia Prevention by Prewarming with Forced-Air: Exploratory, Open, Randomized, Clinical Trial of Efficacy	Ther Hypothermia Temp Manag.2023 Jun;13(2):55-61.	Original Article
404	Nobukuni K, Shirozu K, Maeda A, et al.	麻酔科蘇生科	Recovery of Memory Retention after Anesthesia with Remimazolam: An Exploratory, Randomized, Open, Propofol-Controlled, Single-Center Clinical Trial.	JA Clin Rep.2023 Jul 13;9(1):41.	Original Article
405	Sakimura S, Tai Y, Kawano H, et al.	麻酔科蘇生科	A case of a massive carbon dioxide embolism developing during laparoscopic hepatectomy which resulted in hemodynamic collapse and acute cerebral infarction	循環制御, 44(1):29-33, 2023年6月	Case report
406	Hisatomi O, Fujiyoshi T, Shinotsuka S, et al.	麻酔科蘇生科	Delayed Emergence from Total Intravenous Anesthesia Following Posterior Spinal Correction and Fusion for Scoliosis: A Case Report	Am J Case Rep. 2024 Jan 9;25:e941563.	Case report
407	Miki K, Yagi M, Noguchi N, et al.	検査部	Induction of glioblastoma cell ferroptosis using combined treatment with chloramphenicol and 2-deoxy-D-glucose	Sci Rep. 2023 Jun 28;13(1):10497.	Original Article
408	Ueda S, Yagi M, Tomoda E, et al.	検査部	Mitochondrial haplotype mutation alleviates respiratory defect of MELAS by restoring taurine modification in tRNA with 3243A > G mutation	Nucleic Acids Res. 2023 Aug 11;51(14):7480-7495.	Original Article
409	Yagi M, Do Y, Hirai H, et al.	検査部	Improving lysosomal ferroptosis with NMN administration protects against heart failure	Life Sci Alliance.2023 Oct 4;6(12):e202302116.	Original Article
410	Kiyosuke M, Morishita S, Nakaie K, et al.	検査部	Verification of quality assurance for blood culture surveillance using 6 years of data from the Japan Infection Prevention and Control Conference for National and Public University Hospitals	J Infect Chemother. 2023 Jun;29(6):565-570.	Original Article
411	Ishigaki TKameda A, Ichinari H, et al.	検査部	New formulas for iCa estimation over a wide range of serum albumin concentrations measured by a modified bromocresol purple method	J-STAGE 2023 Sep Volume 2 Issue 2 Pages 19-24	Original Article
412	Matsumoto S, Uchiyumi T, Noda N, et al.	検査部	Droplet digital polymerase chain reaction to measure heteroplasmic m.3243A>G mitochondrial mutations	Lab Med. 2024 Mar 7;55(2):227-233.	Original Article
413	Shirasaka T, Kojima T, Yamane S, et al.	放射線部	Effect of iodine concentration and body size on iodine subtraction in virtual non-contrast imaging: A phantom study	Radiography (Lond). 2023 May;29(3):557-563.	Original Article
414	Kojima T, Yamasaki Y, Matsuura Y, et al.	放射線部	The Feasibility of Deep Learning-Based Reconstruction for Low-Tube-Voltage CT Angiography for Transcatheter Aortic Valve Implantation	J Comput Assist Tomogr. 2024 Jan-Feb;48(1):77-84.	Original Article
415	Takakura K, Yamasaki Y, Kuramoto T, et al.	放射線部	Refined scan protocol for the evaluation of pulmonary perfusion standardized image quality and reduced radiation dose in dynamic chest radiography	J Appl Clin Med Phys.2024 Jan;25(1):e14222.	Original Article
416	Sakai Y, Shirasaka T, Hioki K, et al.	放射線部	Effects of scan parameters on the accuracies of iodine quantification and hounsfield unit values in dual layer dual-energy head and neck computed tomography: A phantom study conducted in a hospital in Japan	Radiography (Lond). 2023 Aug;29(5):838-844.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
417	Hashisako M, Iwasaki T, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Comparison of Akt/mammalian target of rapamycin/4E-binding protein 1 pathway signal activation in round stromal and surface cells in patients with sclerosing pneumocytoma	Pathol Res Pract. 2023 Apr;244:154384.	Original Article
418	Ishihara S, Iwasaki T, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Clinical significance of signal regulatory protein alpha and T cell immunoreceptor with immunoglobulin and immunoreceptor tyrosine-based inhibition motif domain expression in undifferentiated pleomorphic sarcoma	J Cancer Res Clin Oncol.2023 Jun;149(6):2425-2436.	Original Article
419	Iwasaki T, Hayashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Clinical significance of the expression of FOXP3 and TIGIT in Merkel cell carcinoma	Sci Rep. 2023 Aug 12;13(1):13114.	Original Article
420	Kawaguchi K, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Prognostic value of nuclear morphometry in myxoid liposarcoma	Cancer Sci.2023 May;114(5):2178-2188.	Original Article
421	Kawata J, Koga Y, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Clinicopathologic Features and Genetic Alterations in Mixed-Type Ampullary Carcinoma	Mod Pathol. 2023 Aug;36(8):100181.	Original Article
422	Wakasu S, Tagawa T, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Preventive effect of tertiary lymphoid structures on lymph node metastasis of lung adenocarcinoma	Cancer Immunol Immunother.2023 Jun;72(6):1823-1834.	Original Article
423	Yamada Y, Ichiki T, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Diagnostic utility of ERG immunostaining in dermatofibroma	J Clin Pathol. 2023 Aug;76(8):536-540.	Original Article
424	Kiyozawa D, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Comparative analyses of tumour immune microenvironment between collecting duct carcinoma and fumarate hydratase-deficient renal cell carcinoma	J Clin Pathol. 2024 Jan 18;77(2):105-110.	Original Article
425	Magarifuchi N, Iwasaki T, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Gene amplification of chromatin remodeling factor SMARCC2 and low protein expression of ACTL6A are unfavorable factors in ovarian high-grade serous carcinoma	Oncol Lett. 2024 Mar 7;27(5):196.	Original Article
426	Fujii S, Kiyoshima T	病理診断科・病理部	The role of Wnt, ARL4C, and Sema3A in developmental process and disease pathogenesis	Pathol Int. 2023 Jun;73(6):217-233.	Review
427	Alkhatib D, Truong T, Fujii S, et al.	病理診断科・病理部	Stepwise activation of p63 and the MEK/ERK pathway induces the expression of ARL4C to promote oral squamous cell carcinoma cell proliferation	Pathol Res Pract. 2023 Jun;246:154493.	Original Article
428	Truong T, Fujii S, Nagano R, et al.	病理診断科・病理部	Arl4c is involved in tooth germ development through osteoblastic/ameloblastic differentiation	Biochem Biophys Res Commun. 2023 Oct 30;679:167-174.	Original Article
429	Fujii S, Hasegawa K, Maehara T, et al.	病理診断科・病理部	Wnt/ β -catenin-C-kit axis may play a role in adenoid cystic carcinoma prognostication	Pathol Res Pract. 2024 Feb;254:155148.	Original Article
430	Chen H, Sameshima J, Yokomizo S, et al.	病理診断科・病理部	Expansion of CD4+ cytotoxic T lymphocytes with specific gene expression patterns may contribute to suppression of tumor immunity in oral squamous cell carcinoma: single-cell analysis and in vitro experiments	Front Immunol. 2023 Nov 23;14:1305783.	Original Article
431	Fakatava N, Mitarai H, Yuda A, et al.	病理診断科・病理部	Actin alpha 2, smooth muscle, a transforming growth factor- β 1-induced factor, regulates collagen production in human periodontal ligament cells via Smad2/3 pathway	J Dent Sci. 2023 Apr;18(2):567-576.	Original Article
432	Shibuya M, Ishii K, Nagano K, et al.	病理診断科・病理部	Paget's disease of bone involving the mandible may causes temporomandibular joint ankylosis: A case report	J Oral Maxillofac Surg, Med, Pathol. 2023 Sep; 35(5): 423-427	Case report

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
433	Miyahara Y, Chen H, Moriyama M, et al.	病理診断科・病理部	Toll-like receptor 9-positive plasmacytoid dendritic cells promote Th17 immune responses in oral lichen planus stimulated by epithelium-derived cathepsin K	Sci Rep. 2023 Nov 7;13(1):19320.	Original Article
434	Aoyagi R, Maehara T, Koga R, et al.	病理診断科・病理部	Single-cell transcriptomics reveals granzyme K-expressing cytotoxic Tfh cells in tertiary lymphoid structures in IgG4-RD	J Allergy Clin Immunol.2024 Feb;153(2):513-520.e10.	Original Article
435	Imajo I, Yamada T, Chikui T, et al.	病理診断科・病理部	Intraosseous synovial sarcoma of the mandible: A case report and review of the literature	Oncol Lett. 2023 Jun 7;26(1):318.	Case report
436	Hatakeyama K, Kikushige Y, Ishihara D, et al.	遺伝子・細胞療法部	Thrombospondin-1 is an endogenous substrate of cereblon responsible for immunomodulatory drug-induced thromboembolism	Blood Adv.2024 Feb 13;8(3):785-796.	Original Article
437	Sakoda T, Kikushige Y, Miyamoto T, et al.	遺伝子・細胞療法部	TIM-3 signaling hijacks the canonical Wnt/beta-catenin pathway to maintain cancer stemness in acute myeloid leukemia	Blood Adv. 2023 May 23;7(10):2053-2065.	Original Article
438	Irifune H, Kochi Y, Miyamoto T, et al.	遺伝子・細胞療法部	GPAM mediated lysophosphatidic acid synthesis regulates mitochondrial dynamics in acute myeloid leukemia	Cancer Sci. 2023 Aug;114(8):3247-3258.	Original Article
439	Kikushige Y, Miyamoto T, Kochi Y, et al.	遺伝子・細胞療法部	Human acute leukemia uses branched-chain amino acid catabolism to maintain stemness through regulating PRC2 function	Blood Adv. 2023 Jul 25;7(14):3592-3603.	Original Article
440	Nakao F, Setoguchi K, Semba Y, et al.	遺伝子・細胞療法部	Targeting a mitochondrial E3 ubiquitin ligase complex to overcome AML cell-intrinsic Venetoclax resistance	Leukemia. 2023 May;37(5):1028-1038.	Original Article
441	Okui T	メディカル・インフォメーションセンター	Association between infant mortality and parental educational level: An analysis of data from Vital Statistics and Census in Japan	PLoS One. 2023 Jun 14;18(6):e0286530.	Original Article
442	Okui T	メディカル・インフォメーションセンター	Analysis of the Incidence of Macrosomia in Japan by Parental Nationalities at 5-year Intervals From 1995 to 2020	J Prev Med Public Health.2023 Jul;56(4):348-356.	Original Article
443	Okui T	メディカル・インフォメーションセンター	Difference in risk of preterm and small-for-gestational-age birth depending on maternal occupations in Japan	BMC Res Notes. 2023 Oct 5;16(1):259.	Original Article
444	Okui T, Nakashima N	メディカル・インフォメーションセンター	Exploring the association between non-regular employment and adverse birth outcomes: an analysis of national data in Japan	Ann Occup Environ Med.2024 Mar 18;36:e6.	Original Article
445	Mizoguchi K, Nagayoshi K, Nakata K, et al.	光学医療診療部	A case report of sigmoid colon cancer with the inferior mesenteric artery directly originating from the superior mesenteric artery	Surg Case Rep. 2023 May 24;9(1):89.	Case report
446	Fujita N, Ushijima Y, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Extracellular volume fraction determined by dual-layer spectral detector CT: Possible role in predicting the efficacy of preoperative neoadjuvant chemotherapy in pancreatic ductal adenocarcinoma	Eur J Radiol. 2023 May;162:110756.	Original Article
447	Son K, Shino K, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Endoscopic stent placement with laparoscopic stent fixation in a patient with obstruction at a gastrojejunostomy anastomosis site	Surg Case Rep. 2023 Jun 29;9(1):121.	Original Article
448	Nakata K, Abe T, Ideno N, et al.	光学医療診療部	A left-sided approach for wide mobilization of the pancreas with complete dissection of the Treitz ligament (with video)	Surg Endosc. 2023 Jun;37(6):4982-4989.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
449	Murakami M, Fujimori N, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Machine learning-based model for prediction and feature analysis of recurrence in pancreatic neuroendocrine tumors G1/G2	J Gastroenterol. 2023 Jun;58(6):586-597.	Original Article
450	Yamamoto M, Mizuuchi Y, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Nonmass-forming type anorectal cancer with pagetoid spread: A report of two cases	Asian J Endosc Surg. 2023 Oct;16(4):747-752.	Case report
451	Tsutsumi C, Ohuchida K, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Tumor-infiltrating monocytic myeloid-derived suppressor cells contribute to the development of an immunosuppressive tumor microenvironment in gastric cancer	Gastric Cancer. 2024 Mar;27(2):248-262.	Original Article
452	Ikenaga N, Hashimoto T, Nakata K, et al.	光学医療診療部	A multi-institutional randomized phase III study comparing minimally invasive distal pancreatectomy versus open distal pancreatectomy for pancreatic cancer; Japan Clinical Oncology Group study JCOG2202 (LAPAN study)	BMC Cancer. 2024 Feb 19;24(1):231.	Original Article
453	Mriyama T, Ohuchida K, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Higher incidence of cholelithiasis with Roux-en-Y reconstruction compared with Billroth-I after laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer: a retrospective cohort study	Langenbecks Arch Surg. 2024 Feb 27;409(1):75.	Original Article
454	Taniguchi T, Ideno N, Nakata K, et al.	光学医療診療部	MicroRNA-20a in extracellular vesicles derived from duodenal fluid is a possible biomarker for pancreatic ductal adenocarcinoma	DEN Open. 2024 Mar 2;4(1):e333.	Original Article
455	Noguchi S, Shimada Y, Nakata K, et al.	光学医療診療部	Immature stroma and high infiltration of CD15+ cells are predictive markers of poor prognosis in different subsets of patients with pancreatic cancer	Cancer Sci. 2024 Mar;115(3):1001-1013.	Original Article
456	Nagata S	臨床教育研修センター	Iguratimod Ameliorates the Severity of Secondary Progressive Multiple Sclerosis in Model Mice by Directly Inhibiting IL-6 Production and Th17 Cell Migration via Mitigation of Glial Inflammation	Biology (Basel). 2023 Sep 7;12(9):1217.	Original Article
457	Nishihara T, Shibata M, Ohashi A, et al.	臨床教育研修センター	The relation between vaccination status and referral to a consultation-liaison psychiatry service for hospitalized patients with COVID-19	Biopsychosoc Med. 2023 Nov 15;17(1):40.	Original Article
458	Yanada T, Egashira N, Hirota T, et al.	薬剤部	Population pharmacokinetic model and dosing optimization of vancomycin in hematologic malignancies with neutropenia and augmented renal clearance	J Infect Chemother. 2023 Apr;29(4):391-400.	Review
459	Matsukane R, Suetsugu K, Hata K, et al.	薬剤部	Systematic surveillance of immune-related adverse events in clinical practice and impact of subsequent steroid medication on survival outcomes	Int J Clin Oncol. 2023 Jul;28(7):860-871.	Original Article
460	Hirota T, Ieiri I	薬剤部	Interindividual variability in statin pharmacokinetics and effects of drug transporters.	Expert Opin Drug Metab Toxicol. 2024 Jan-Feb;20(1-2):37-43.	Review
461	Yamamoto N, Tsuchiya Y, Fukuda M, et al.	薬剤部	A Case Report of Drug Interactions Between Nirmatrelvir/Ritonavir and Tacrolimus in a Patient With Systemic Lupus Erythematosus	Cureus. 2024 Jan 18;16(1):e52506.	Case report
462	Matsukane R, Isshiki R, Suetsugu K, et al.	薬剤部	Risk Factors of Cetuximab-Induced Hypomagnesemia and the Effect of Magnesium Prophylaxis in Patients with Head and Neck Cancer: A Retrospective Study	Biol Pharm Bull. 2024 Mar;47(3):732-738.	Original Article
463	Fujino S, Hamano S, Tomokiyo A, et al.	歯内治療科	Dopamine is involved in reparative dentin formation through odontoblastic differentiation of dental pulp stem cells	Sci Rep. 2023 Apr 6;13(1):5668.	Original Article
464	Nagano R, Nakako Y, Fujii S, et al.	歯内治療科	The IL-1 β -p65 axis stimulates quiescent odontogenic epithelial cell rests via TGF- β signalling to promote cell proliferation of the lining epithelia in radicular cysts: A laboratory investigation	Int Endod J. 2024 Mar;57(3):344-354.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
465	Aoki T, Hiura F, Li A, et al.	歯周病科	Inhibition of non-canonical NF- κ B signaling suppresses periodontal inflammation and bone loss	Front Immunol. 2023 Apr 18;14:1179007.	Original Article
466	Shinjo T, Onitzuka S, Zaito Y, et al.	歯周病科	Dysregulation of CXCL1 Expression and Neutrophil Recruitment in Insulin Resistance and Diabetes-Related Periodontitis in Male Mice	Diabetes. 2023 Jul 1;72(7):986-998.	Original Article
467	Zeze T, Shinjo T, Nishimura Y, et al.	歯周病科	Endothelial Insulin Resistance Exacerbates Experimental Periodontitis	J Dent Res. 2023 Sep;102(10):1152-1161.	Original Article
468	Imagawa M, Shinjo T, Sato K, et al.	歯周病科	Epithelial-to-mesenchymal transition, inflammation, subsequent collagen production, and reduced proteinase expression cooperatively contribute to cyclosporin-A-induced gingival overgrowth development	Front Physiol. 2023 Dec 13;14:1298813.	Original Article
469	Kawakami K, Fukuda T, Toyoda M, et al.	歯周病科	Luteolin Is a Potential Immunomodulating Natural Compound against Pulpal Inflammation	Biomed Res Int. 2024 Jan 25;2024:8864513.	Original Article
470	Toyoda M, Fukuda T, Fujimoto R, et al.	歯周病科	Scaffold-free bone-like 3D structure established through osteogenic differentiation from human gingiva-derived stem cells	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Feb 15;38:101656.	Original Article
471	T Shinjo, T Zeze	歯周病科	Insulin Resistance Is an Alternative, Novel Risk Factor for Diabetes-Associated Periodontitis	Current Oral Health Reports, 2023 Aug; 10(4): 139-145.	Review
472	Stocchero M, Jinno Y, Toia M, et al.	義歯補綴科	Effect of Drilling Preparation on Immediately Loaded Implants: An In Vivo Study in Sheep	Int J Oral Maxillofac Implants;2023 Jun;38(3):607-618	Original Article
473	Chen T, Jinno Y, Atsuta I, et al.	義歯補綴科	Current surface modification strategies to improve the binding efficiency of emerging biomaterial polyetheretherketone (PEEK) with bone and soft tissue: A literature review	J Prosthodont Res.2023 Jul 31;67(3):337-347.	Original Article
474	Chen T, Jinno Y, Atsuta I, et al.	義歯補綴科	Synergistic Effect of Nano Strontium Titanate Coating and Ultraviolet C Photofunctionalization on Osteogenic Performance and Soft Tissue Sealing of poly(ether-etherketone)	ACS Biomater Sci Eng. 2024 Feb 12;10(2):825-837.	Original Article
475	Ogino Y, Ayukawa Y	咬合補綴科	Anterior Hyperfunction by Mandibular Anterior Teeth: A Narrative Review	Healthcare (Basel). 2023 Nov 15;11(22):2967.	Review
476	Kawasaki M, Ogino Y, Moroi Y, et al.	咬合補綴科	Comprehensive Analyses of Masticatory Function in Maxillectomy Patients with Functioning Removable Prosthesis: A Retrospective Cross-Sectional Study	J Clin Med. 2023 Aug 4;12(15):5117.	Original Article
477	Yoshioka K, Ogino Y, Kawasaki M, et al.	咬合補綴科	An observational study of oral functions in patients aged from 20 to 49 years	J Oral Sci. 2024 Jan;66(1):75-78	Original Article
478	Kawano S., Hattori T., Mikami Y, et al.	顎口腔外科	Prediction of nodal metastasis based on intraoral sonographic findings of the primary lesion in early-stage tongue cancer	Int J Oral Maxillofac Surg.2023 May;52(5):515-523.	Original Article
479	Kakehashi H, Sakamoto M, Moriyama M, et al.	顎口腔外科	The clinical effectiveness of conservative surgical management in medication-related osteonecrosis of the Jaw	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Available online 4 Nov 2023	Original Article
480	Takarabe S, Okamura K, Kuramoto T, et al.	口腔画像診断科	Relationship between image information content and observer performance in digital intraoral radiography	Oral Radiol. 2023 Jul;39(3):491-503.	Original Article

小計：16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題名	雑誌名	論文種別
481	Chikui T, Ohga M, Kami Y, et al.	口腔画像診断科	Correlation between diffusion-weighted image-derived parameters and dynamic contrast-enhanced magnetic resonance imaging-derived parameters in the orofacial region	Acta Radiol Open. 2024 Mar 28;13(3):20584601241244777.	Original Article
482	Oku S, Futatsuki T, Imamura T	全身管理歯科・高齢者歯科	Protective effect of cryotherapy against oral mucositis among allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients using melphalan-based conditioning	Support Care Cancer. 2023 Aug 15;31(9):521.	Original Article
483	Inoue S, Suma S, Wada N, et al.	口腔総合診療科	Possible association between oral health status and appetite loss in community-dwelling older adults	Nurs Health Sci.2024 Mar;26(1):e13111.	Original Article
484	Tomooka S, Oishi E, Asada M, et al.	口腔総合診療科	Serum Lipopolysaccharide-binding Protein Levels and the Incidence of Metabolic Syndrome in a General Japanese Population: the Hisayama Study	J Epidemiol. 2024 Jan 5;34(1):1-7.	Original Article

小計：4件

合計：484件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン策定、自己申告、審議・勧告等の手続、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開 (要項及び委員会内規)	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 3 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	オンライン研修で実施
・ 研修の主な内容 「研究倫理」、「規制と規制科学」、「臨床試験の信頼性確保 (モニタリングと監査)」、「医師主導治験」「試験デザイン」、「安全性情報管理」、「出口としての臨床研究～留意点とAROの活用法～」、「臨床研究の立案から遂行まで」、「出口を見据えた医療機器開発 ～プログラム医療機器を中心に～」、「企業主導治験の適正な遂行」「我が国の医療イノベーション戦略 ～AMEDとどう付き合うか～」、「規制と規制科学」、「研究のプロセス管理」、「臨床研究の実行戦略」、「医療機関でのQMSの取り組み」、「品質マネジメント」、「データマネジメント」ほか	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	929	人
-------------	-----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
赤司 浩一	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科	診療科長	30年	
北園 孝成	消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	40年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	37年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	36年	
磯部 紀子	脳神経内科	診療科長	20年	
絹川 真太郎	循環器内科	副診療科長	29年	
岡本 勇	呼吸器科	診療科長	21年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	37年	
大賀 正一	小児科	診療科長	40年	
大内田 研宙	消化管外科 (1)	副診療科長	26年	
仲田 興平	胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科	副診療科長	23年	
竹中 朋祐	呼吸器外科 (1) / 呼吸器外科 (2)	診療科長	21年	
久保 真	乳腺外科 (1) / 乳腺外科 (2)	診療科長	33年	
大菌 慶吾	内分泌外科	副診療科長	16年	
吉住 朋晴	第二外科	診療科長	31年	
中島 康晴	整形外科 リハビリテーション科	診療科長	34年	
吉本 幸司	脳神経外科	診療科長	28年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	29年	
田尻 達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	診療科長	35年	
中原 剛士	皮膚科	診療科長	24年	
江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	39年	
中尾 智博	精神科神経科	診療科長	29年	
園田 康平	眼科	診療科長	34年	
中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	診療科長	35年	
石神 康生	放射線科	診療科長	30年	
山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	32年	
下野 信行	総合診療科	診療科長	38年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	27年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	35年	

小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	38年	
赤星 朋比古	救急科	診療科長	30年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	30年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	35年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	34年	
西村 英紀	歯周病科	診療科長	39年	
鮎川 保則	義歯補綴科 咬合補綴科	診療科長	30年	
川野 真太郎	顎口腔外科	診療科長	24年	
森山 雅文	顔面口腔外科	診療科長	20年	
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	38年	
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	41年	
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	27年	
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	34年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

		報告年度	2024	
No.	診療科(部)名	主な研修内容	R5修了者数	R5在籍数
	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		1
		浜の町病院内科専門研修プログラム		
		福岡東医療センター内科専門研修プログラム		
		広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム		
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム		
		九州中央病院内科専門研修プログラム		
		東医療センター内科専門研修プログラム		
		血液専門医コース		
		腫瘍専門医コース		
		循環器専門医コース		
	第一内科(血液・腫瘍・心血管内科)	浜の町病院内科専門研修プログラム	1	2
		東医療センター内科専門研修プログラム		1
		広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム	2	2
		九州大学病院内科専門研修プログラム	4	16
		九州中央病院内科専門研修プログラム	1	2
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム		1
	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	飯塚病院内科専門研修プログラム		1
		九州大学病院内科専門研修プログラム	5	14
		駒込病院内科専門研修プログラム		1
		福岡赤十字病院内科専門研修プログラム		1
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム	1	1
		感染症専門医コース		
		リウマチ専門医コース		
		総合診療プログラム		
	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	2	18
		消化管治療習熟コース		10
	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	6	8
		腎臓内科・医学博士取得コース	8	46
		消化管内科専門医コース		1
		脳卒中専門医コース1	4	6
		脳卒中専門医コース2	1	1
		糖尿病専門医コース		14
		高血圧専門医・臨床コース	2	1
		高血圧専門医・大学院コース		
	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	8	30
		内分泌代謝・糖尿病・消化器総合コース	1	1
		血液・腫瘍総合コース	1	2
	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	5	24
		血液・腫瘍総合コース		
	心療内科	心療内科臨床研修コース	0	13

No.	診療科（部）名	主な研修内容	R5修了者数	R5在籍数
	神経内科	神経内科専門医コース	6	17
		神経内科専門医大学院コース		1
		てんかん専門神経内科コース		
		認知症専門神経内科コース		
		脳卒中専門神経内科コース		
	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース		
		循環器内科専門医・大学院進学コース		
		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	5	30
		循環器内科専門医・地域医療重点コース		
	呼吸器科	クリティカルケアコース		
		新内科専門医1年目		5
		新内科専門医2年目		7
		新内科専門医3年目	4	6
		新内科専門医4年目	1	5
		新内科専門医5年目		8
	産科婦人科	産婦人科専門医コース	7	37
		周産期研究者コース		
		内視鏡専門医養成コース		
		生殖医学専門医コース		
		腫瘍専門医養成コース		
		形態病理専門医養成コース		
		形態病理専門医養成コース		
	小児科	小児科専門医コース1（大学重点）		
		小児科専門医コース2（大学重点）		
		小児科専門医コース2（地域重点）	6	24
		小児科専門医コース3（地域重点）		
		小児科専門医・大学院進学コース		
	第一外科	外科専門医コース	6	31
		消化器外科専門医取得コース		
		肝胆膵外科専門医コース		
		内視鏡外科専門医コース		
	第二外科	（外科専攻医）	7	38
		外科専門医コース		
		消化器外科専門医コース		
		呼吸器外科専門医コース		
		心臓血管外科専門医コース		
		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース		
		がん専門医養成コース		
		乳腺外科専門医コース		
	整形外科	整形外科専門医コースA		
		整形外科専門医コースB		
		整形外科専門医コース	10	142
	脳神経外科	臨床コース	3	16
	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	2	10

No.	診療科（部）名	主な研修内容	R5修了者数	R5在籍数
	小児外科	一般小児外科重点コース	2	5
		一般小児外科重点コース（1）		2
		一般小児外科重点コース（2）		
		小児腫瘍外科重点コース		
		新生児外科重点コース（1）		2
		新生児外科重点コース（2）		
	皮膚科	皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース		6
		皮膚科専門医養成＋褥瘡・プライマリケアコース		8
		皮膚科専門医養成＋皮膚科レーザー治療実践コース		4
		皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース		8
		皮膚科専門医養成＋形成外科強化学習コース	1	5
		皮膚科専門医養成＋小児皮膚科コース		
		皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース		11
	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース		
		泌尿器科臨床研究医師育成コース		
		臨床指導医育成コース		
		九州大学泌尿器科専門研修プログラム	7	23
	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース	1	22
		新専門医制度	13	58
	眼科	眼科総合習得コース	1	15
		角膜専門医養成コース	1	3
		網膜専門医育成コース	2	6
		黄斑疾患専門医育成コース	3	8
		臨床研究医コース		2
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	6	26
		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース		
	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	4	28
		放射線診断専門医養成コース		
		放射線治療専門医ならびに学位取得コース		6
		放射線治療専門医養成コース		
	総合診療科	病院総合診療医重点コース	1	2
		病院総合診療医・臨床研究コース	1	1
		病院総合診療医・大学院進学コース	1	1
		九州大学病院総合診療専門研修プログラム	1	7
		九州大学病院総合診療専門研修プログラム→ 九州大学病院内科専門研修プログラム	1	2
		日本病院総合診療専門研修プログラム	1	1
	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	14	44
	病理診断科・病理部	臨床コース	4	15
		大学院コース		3
	形成外科	美ら海形成外科研修プログラム		2
		福岡大学形成外科研修プログラム		1
		大分大学形成外科研修プログラム		1
		九州大学形成外科研修プログラム		5
		形成外科コース 3/3		1

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数 別紙「令和5年度 看護部教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容： 新任副看護師長研修、新任看護師長研修、看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長）、中間管理者研修（リーダークラスの看護師）、入職時研修（新人看護師）・研修の期間・実施回数：期間は令和5年度4月～2月、実施回数は19回・研修の参加人数：看護師長42名、副看護師長100名、看護師155名（合計297名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

<全看護職員研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
1	看護部長講演	4/26	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	看護部長	60分	集合 + Web	臨床大講堂			704
2	臨床看護研究発表会	11/18	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育WG	am 0.5日	集合 + Web	臨床大講堂		全職員対象	603
3	業務改善報告会	R6 1/28	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	1日	集合	臨床大講堂			347

<管理者研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
4	新任副看護師長研修	4/20・21	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1.5日	集合	打合せ室1		新任 副看護師長	8
5	新任看護師長研修	R5 3/16・17	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看護師長として必要な知識を修得し、自身が果たすべき役割を考える		1.5日	集合	打合せ室1		新任 看護師長	4
6	管理者研修1(全3回) (目的) 看護管理者に求められる責務を理解し、部署目標の達成を目指して看護管理過程が達成できる能力を養う	6/22	<第1回>看護管理実践計画	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	13:00- 15:00分	集合	外来棟5階 会議室2		副看護師長	100
		9/6	<第2回>看護管理実践計画(中間)							96
		2/14	<第3回>看護管理実践計画(まとめ)							94
	認定看護管理者研修 修了報告会	5/26	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力の向上を目指す	看護部	17:00- 90分	集合 + Web	臨床大講堂		全看護職員	229
7	管理者研修2(全3回) (目的) 現在の医療現場を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題を分析し、解決策の方向性を形成する	6/14	<第1回>看護管理実践計画	看護部長 副看護部長	13:00- 15:00分	集合	外来棟5階 会議室2		看護師長	42
		9/29	<第2回>看護管理実践計画(中間)							42
		2/16	<第3回>看護管理実践報告(まとめ)							42
		管理実践報告	適宜	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の運営に活かす	看護部	20分		外来棟5階 会議室2		
8	中間管理者育成研修(全8回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看護実践に活かす	9/6	<第1回>九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは	教育委員会	17:00- 90分	集合	北棟2階 多目的室		条件を満たす 15名	15
		9/20	<第2回>人事・労務管理 看護管理の実際							15
		10/4	<第3回>看護職員の能力開発・人材育成 看護者の倫理							15
		10/25	<第4回>医療保険と介護保険、医療連携							15
		11/8	<第5回>医療安全と医療事故発生時の対策、 感染管理と病棟管理							15
		12/13	<第6回>診療報酬と看護【公開講座】							13
		1/10	<第7回>医療及び看護の質、経営管理と看護							14
		1/31	<第8回>災害への対応、研修まとめ							14

<リーダー・指導者育成>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
9	プリセプターシップ *プリセプターシップの役割と機能を学び、プリセプターとしての能力を高める	6/29	<第2回>支援研修	教育担当	9:00-90分×2	集合	臨床大講堂	条件を満たし推薦された者		52
		11/2	<第3回>支援研修		13:00-90分×2		中央会議棟多目的会議室A-C			53
		2/8	<第4回>まとめ		13:00-60分×2					48
10	プリセプターシップ(令和6年度)	R6 3/18	<第1回>準備研修		13:00-60分		臨床大講堂	条件を満たし推薦された者		63
11	臨地実習指導者研修(新任)(全5回) (研修の目的) *看護教育にける実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう必要な知識を習得する *自己の看護観の再構築と実習指導者像の形成を目指す	6/9	<第1回>看護基礎教育課程、実習指導の原理	保健学科講師	13:00-90分	集合	臨床大講堂	新任実習指導者		46
		7/5	<第2回>看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	90分	集合				46
		9/7	<第3回>カンファレンスの指導法・事例検討	保健学科講師 実習指導者育成WG	120分	集合				48
		10/6	<第4回>実習指導の実際・事例検討	人事交流経験者 実習指導者育成WG	120分	集合	中央会議棟多目的会議室A-C			47
		1/24	<第5回>まとめ	実習指導者育成WG	60分	集合				48
12	臨地実習指導者研修(新任アドバンスコース)(全2回) ※実習指導者研修と合同開催	6/9	<第1回>看護基礎教育課程、実習指導の原理	保健学科講師	90分	集合	臨床大講堂	育成対象看護師		20
		7/5	<第2回>看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	90分	集合				21
13	教育担当者研修(全4回)	5/9	<第1回>組織の理念と人材育成	看護部長	13:00-60分	集合	外来棟5階会議室2	教育WG ※第1回は新規構成員は必須		25
		6/13	<第2回>教育担当者としての役割	教育担当副看護部長						44
		10/10	<第3回>未定	教育委員会						43
		2/13	<第4回>目標達成の評価、まとめ	教育委員会						43
14	人工呼吸管理研修(指導者クラス編)(全3回)	①10/13 ②11/10 ③1月以降	基本的な管理からベッドサイドでのケアまで人工呼吸管理に必要な知識を理解し、看護実践や自部署での指導に適用できる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	①90分 ②120分 ③0.5日	Web 集合	学習段階:Ⅲ 15名 会場:MEセンター、ICU 受講条件:人工呼吸管理を行う機会のある一般病棟で、指導者を担う看護師 ※全3回とも受講可能な者		9	
15	輸液・シリンジポンプ指導者(第9期)育成研修	R6 2/2	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する知識や技術を確立し、指導者として必要な知識・技術・態度を修得する 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用方法を指導する能力を養う	医療機器操作強化WG	pm 0.5日	集合	スキルトレーニングセンター	該当者	40	37
16	輸液・シリンジポンプ指導者(第3期)更新研修	6月	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者として必要な知識・技術・態度を再確認する	医療機器操作強化WG	/	Web	/	該当者	17	17
17	リーダーシップ	7/21	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	150分×2	集合	外来棟5階会議室2	Ⅲ	40×2	75
18	退院支援	9/27	地域包括ケアシステムにおける大学病院の役割を知り、退院支援時の調整に役立てる	医療連携センター(病床管理・相談支援部門) 看護師長	13:00-90分	集合	中央会議棟多目的会議室B-C	Ⅲ	40	16
19	コーチング	12/6	コーチングの基本的スキルを習得し、看護実践や後輩の指導に適用することができる	京都大学 教授 福岡看護大学 教授 他	180分	集合	中央会議棟多目的会議室A-C	Ⅲ	50	61
20	問題解決技法	8/23	自部署の現状把握、解決策の検討・分析などを通して、看護管理能力を養う	福岡看護大学 教授	pm 0.5日	集合	外来棟5階会議室2	Ⅲ・Ⅳ	50	32

<看護記録>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
21	看護記録の実際	11/7	看護ケアのアクセス力の向上のために、記録を振りかえり、重要性を学ぶ	看護部記録委員会	9:00-120分	集合	外来棟5階会議室2	Ⅲ	40	29

<看護研究>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
22	看護研究のための基本的な統計学(仮)	8/21	看護研究に必要な統計学の基本を理解し、臨床看護研究へ取り組むことができる	福岡看護大学 講師	13:30-90分	集合	外来棟5階会議室2	Ⅱ・Ⅲ	30	31

<看護倫理>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)	
23	看護倫理の基本	9月	看護倫理について理解を深め、倫理的視点を持つ	看護部倫理委員会	60分	Web	中央会議棟 多目的会議室A-C	全 多数可 ※看護倫理1・2を 受講する者は必須	40 ×3	608	
24	看護倫理1	10/20	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理の理解を深める		90分 ×3	集合					II
25	看護倫理2	11/29	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探り、看護倫理の理解を深める		120分 ×2	集合					III

<専門領域> ※日付順

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
26	感染管理(指導者編)	5/19	臨床現場における実践モデルと指導者に必要なスキルを身につける 正しい感染対策を理解し、部署での実践・指導を実践する 感染対策マニュアルが活用できる	感染管理認定看護師	17:00- 45分	集合	臨床大講堂	III・IV 60名 ※部署の感染リンク ナースは必須	49	
27	糖尿病看護 ～最新の薬物療法、チームの力で 困っていることを解決しよう～	5/31	糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリスクマネジメント の視点について学び、実践モデルとなる 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるように生活 調整支援の方法を学び、部署で指導的役割を担う	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師	17:00- 60分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	III	30	19
28	もう怖くない! 心臓カテーテル検査前後の看護	7/4	心臓カテーテル検査前後の看護が分かり、循環器疾患患者 の異常を早期発見し、報告や必要な対処ができるようになる	慢性心不全看護 認定看護師	13:00- 90分 ×2	Web 集合	外来棟5階 会議室2	II	30 ×2	40
29	呼吸フィジカルアセスメントの 基本	8/4	フィジカルアセスメント(呼吸音聴診)を習得し、効果的な体位 ドレナージなど患者の状況に応じた適切な看護ケアの選択と 実践につなげることができる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	90分 ×3	Web 集合	スキルトレーニング センター	II	20 ×3	66
30	褥瘡に強くなる I ～マットとポジショニング～	8/16	褥瘡に関する危険因子評価票の内容と意味を理解する 体圧分散マットレスの特徴と必要な患者を理解する 基本的なポジショニングの知識と技術を習得できる 体位変換の必要性が理解できる	皮膚排泄ケア 認定看護師	120分 (×2)	Web 集合	スキルトレーニング センター	I 以上	24 ×2	47
31	AYA世代の乳がん患者の看護	9/4	妊娠、子育て、アピアランスの変化に悩むAYA世代の患者の 看護に必要な乳がんの治療、看護について学ぶことができる	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00- 60分	集合	外来棟5階 会議室2	II～ IV	20	35
32	心不全患者の看護 ～入院中から退院後を見据えた関わり を学ぼう～	9/5	心不全患者の看護を学び、退院後の生活について考えるこ とができる	慢性心不全看護 認定看護師	17:00- 90分	集合	外来棟5階 会議室2	II	30	46
33	こうすれば防げる! スキン・ケアと失禁関連皮膚炎 (IAD)	9/6	スキン・ケアのハイリスク患者に応じた予防ケアや発生後の管理 について知識・技術を習得する IADの発生メカニズムを理解し、予防ケアとは発生後の管理 について知識・技術を習得する	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 120分	Web 集合	スキルトレーニング センター	II・III	30	33
34	身体抑制を回避できる! 認知症・せん妄看護	9/20	認知症・せん妄患者の行動・心理に気づき、パーソン・セン タード・ケアについて理解できる。 パーソン・センタード・ケアの視点で認知症・せん妄看護を実 践でき、部署の看護スタッフに指導することができる。	認知症看護認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	III・IV	20 ×2	31
35	小児看護「子どもが苦手」を 克服しよう —子どもの権利と家族支援—	9/26	子どもの権利、小児の発達段階を踏まえた関わりについて理解 することができる 病気を持つ小児患者と家族について理解を深め、多職種や 地域との連携を含めた支援について考えることができる	小児看護領域の 専門看護師 認定看護師	13:00- 120分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	III・IV	30	19
36	糖尿病患者の理解とケア	9/28	糖尿病患者の病態と治療を理解し、患者のライフステージ、 発達課題に応じた看護援助を学ぶ	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	II	30	40
37	褥瘡に強くなる II ～局所ケアとMDRPU～	10/11	基本的な褥瘡の予防ケアや発生後のケアについて習得し	皮膚排泄ケア 認定看護師	120分 (×2)	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	I 以上	32 ×2	33
38	がん看護(実践編) ～明日からの看護に活かす症状マネ ジメント～	10/31	がん治療期の症状マネジメントの基本的な知識を習得し、が ん看護の実践能力向上を図る	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 90分 ×2	Web 集合	外来棟5階 会議室2	II	40 ×2	44
39	臓器移植の基礎知識	11/7	当院は6臓器の移植手術(脳死・生体)を実施している。 臓器移植手術を受ける患者の周術期看護を理解し、実践に 活かすことができるようになる。	手術看護認定看護師 移植コーディネーター	17:00- 90分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	III・IV	30	48
40	急変対応力を磨こう!	12/1	急変時対応におけるリーダー看護師の役割について学び、 実践に活かすことができる 急変時対応に関する指導や教育方法について学ぶ、部署で 実践できるようになる	急性・重症患者看護 専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師	180分 ×2	Web 集合	スキルトレーニング センター	III以上 20×2 ※一般病棟の 看護職員対象	25	

＜院内認定看護師育成＞											
No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)	
41	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・技術を修得し看護実践や教育・指導に活かす	① 5/29	1. 感染管理ベーシックコース	感染管理認定看護師	90分	集合	スキルトレーニングセンター・手術部	別途募集あり		各回 4人	
		② 6/26								2. がん薬物療法看護	がん看護専門看護師 がん化学療法看護認定看護師
		③ 7/24	3. 糖尿病ケア	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師							
		④ 8/29								4. クリティカルケア(ベーシックコース)	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師
⑤ 9/19											
⑥ 10/23											
⑦ 11/21											
⑧ 12/25											
⑨ R6年											
⑩ 1/22											
⑪ 2/20											
⑫ 3/1 試験											
⑬ 3/15 修了式											
42	院内認定看護師育成研修 アドバンスコース(感染管理) (公開講座含む全4回)	①7/5 ②10/27 ③11/24 ④2/26	感染対策活動に必要な知識と技術を活用し、看護師や多職種へ指導する能力を習得する 院内認定看護師として、自部署だけでなく部署外においても感染対策活動を推進する	感染管理認定看護師	13:30-90分	集合	北棟2階多目的室他		5名 感染管理領域 院内認定看護師のうち 要件を満たす者	各回 3人	
43	院内認定看護師 フォローアップ	10/13	院内認定看護師として自部署の課題解決に向けた活動を推進し、感染管理の実践能力の維持・向上を図る	感染管理認定看護師	17:00-45分	集合	中央会議棟多目的会議室B・C	院内認定看護師	50名	40	
		1/19	がん看護院内認定看護師に必要な、緩和ケアの実践能力の維持・向上を図る 部署で看護を提供するために必要な最新知識を習得し活用できる	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00-60分	集合	臨床小講堂2		50名	25	
		①5/16 ②8/15 ③11/21 ④2/20	がん薬物療法看護の自部署における課題を抽出し、計画的に解決へ向けた取り組みを実践する	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00-60分	集合	がん看護外来		7名	各回 6人	
		①6/28 ②1/24	院内認定看護師が、資格取得後も糖尿病に関する最新の知識と技術を習得できる 糖尿病内科の医師と症例検討を行うことにより、支援に難渋する症例に対応できる支援方法を考えることができる	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師 糖尿病専門医など	17:00-30分	集合	北棟2階 ①共用会議室 ②多目的室		20名	各回 10人	

＜静脈注射認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
44	静脈注射認定看護師育成研修	6/7	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 副看護部長 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG	講義 1日	集合	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター 臨床小講堂2	2年目以上の 該当者 (新人看護職員は 別途開催)		66
		6/14			演習 90分					44
		6/21			筆記 試験 60分					13

＜緩和ケアリンクナース育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)
45	緩和ケアリンクナース育成研修 (全2回)	11/17	緩和ケアを必要としている患者ががんと診断された時から、質の高い緩和ケアの提供ができるよう「意思決定支援」「苦痛緩和」「専門家への橋渡し・連携」を中心に看護師の実践能力を向上させる	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00-90分	Web 集合	外来棟5階 会議室2		Ⅲ 15名 ※全2回とも 受講可能な者	17
		12/14			13:00-90分					

＜看護助手研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習段階	募集人数	受講者数(人)		
46	看護助手研修	5/30	＜第1回＞診療報酬上求められる基礎知識	業務委員会 業務WG	120分×2	集合	外来棟5階 会議室2 臨床大講堂 外来棟5階 会議室2 外来棟5階 会議室2		看護助手	67		
		7/6	＜第2回＞移乗・移送		120分×2					71		
		12/4	＜第3回＞コミュニケーション		120分×2					72		
		2/5	＜第4回＞洗髪		120分×2					69		
		5/30	診療報酬上求められる基礎知識		16:00-90分					外来棟5階 会議室2	夜勤看護助手	34
		12/4	コミュニケーション		16:00-90分					外来棟5階 会議室2		38

令和5年度 看護部教育プログラム

※緑色はOJTにて実施

<新人看護職員研修>

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
47	4/3	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	臨床大講堂	155
			配置部署発表・看護師長紹介・研修案内・配置部署案内	看護部			
48	4/4	看護部新採用者入職時研修	看護部概要・新採用者に望むこと	看護部長	60分	臨床大講堂	155
			職業人としての責務	総務担当副看護部長	30分		
			看護部の教育体制と新人看護職員教育計画PNSIについて	教育担当副看護部長	45分		
			看護業務について 外部委託業務(リネン関係・清掃等)	業務担当副看護部長	40分		
			職員の服務等について	総務課職員係	30分		
			人事給与制度と手続きについて	総務課人事係			
			給与・共済(医療保険および年金等)の手続き	総務課給与係			
			保険診療と看護師の関わりについて	患者サービス課	20分		
			看護職員の福利厚生等について	質・経営担当副看護部長	20分		
			自部署のPNSIについて	各部署の看護の質向上WGなど	20分		
			看護記録について	各部署の記録委員など	30分		
			クリティカルパスについて	各部署のCP委員など	30分		
			48	4/5	看護部新採用者入職時研修	【中央診療部門等の紹介】 手術部、医療器材サプライセンター、集中治療部、救命救急センター(救命ICU・ハイケア)、周術期支援センター、医療連携センター、放射線部・光学医療診療部、総合外来、歯科外来、褥瘡対策室、移植対策室	教育担当看護師長
リハビリテーション部の紹介	リハビリテーション部	20分					
栄養管理室の紹介	栄養管理室	20分					
検査部の紹介	検査部	40分					
薬剤部の紹介 医薬品の管理・薬剤の基礎知識を含めて	薬剤部	90分					
医療情報システムと看護支援システムについて	情報担当看護師長	30分					
新人看護職員教育プログラム ナーシングスキルについて	教育担当看護師長	40分					
病院内見学	各部署の教育WGなど	90分				各部署	
48	4/6	看護部新採用者入職時研修	目標管理	総務担当副看護部長	20分	臨床大講堂	155
			医療安全 (誤薬防止手順、患者誤認防止、転倒転落防止)	医療安全看護部委員会	60分		
			麻薬等の管理について	医薬品安全管理専門員会	15分		
			看護職のストレスマネジメント(仮)	職員健康管理センター	30分		
			患者対応の基本	看護部	20分		
			現場に出る前に	看護部長	60分		
			看護実践研修1	接遇研修	看護師長		
49	4/7・10	看護実践研修1	②感染管理1(手指衛生・PPE・環境整備)	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理)	130分	スキルトレーニングセンター	155
			③電算研修	記録委員会	130分		
			④輸液管理(基礎編)	教育WG	130分		

令和5年度 看護部教育プログラム

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
50	4/25	1か月フォローアップ研修	看護職としてストレスコーピング方法について理解し、心身ともに健康に過ごすためのセルフメンテナンスができるようになる	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	145
51	4月後半	看護実践研修2 「感染管理2(針刺し防止)」「血糖測定とインスリン療法」	①感染管理2(針刺し防止) ②血糖測定とインスリン療法	部署の指導者(教育WG、感染管理領域や糖尿病ケア領域の認定看護師、院内認定看護師等)	OJT	所属部署	147
52	5/22・23	看護実践研修3 「フィジカルアセスメント1(呼吸を整える技術)・口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引」	呼吸の観察ポイントを理解し、酸素療法、口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引を適切に実施するための知識・技術を習得する	急性・重症患者看護専門看護師 院内認定看護師(呼吸ケア)	100分	スキルトレーニングセンター	147
53	6月	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基礎的知識や方法を習得する	業務委員会 業務WG	WEB OJT	所属部署	145
54	6/20	3か月フォローアップ研修 既卒者合同	入職後3か月を振り返り、悩みや不安を話し合い情報共有し、問題解決の方法を考える	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	147
55	6/27	看護実践研修4 「口腔ケア」	口腔ケア支援の方法を知り、適切で安全な口腔ケアの基本的知識・技術を習得する	摂食・嚥下障害看護認定看護師 摂食嚥下訓練及び口腔ケア担当看護師	70分	スキルトレーニングセンター	144
56	7/13・14・18	看護実践研修5 「静脈血採血」	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	120分	スキルトレーニングセンター	140
57	7月	フィジカルアセスメント2 「心電図の基本と危険な不整脈」	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	慢性心不全看護認定看護師	WEB	自己学習	143
58	8/9・10	クリティカルケア研修1 「心肺蘇生法：一次救命処置」	シミュレーション学習を通して、一次救命処置(BLS)の知識・技術を習得する	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護、小児救急看護)	100分	スキルトレーニングセンター	135
59	8月後半	スキンケアの基礎	スキンケアの基本を学び、最新ですぐに実践できる予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師(褥瘡ケア) 部署の褥瘡担当看護師	OJT	所属部署	142
60	9/13・14・15	看護実践研修6 「尿道留置カテーテル挿入・導尿」	尿道留置カテーテルの挿入・管理、導尿を安全に実施するための基本的知識・技術を習得する	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理) 感染管理担当	130分	スキルトレーニングセンター	138
61	10/5	6か月フォローアップ研修	入職後6か月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える インシデントが起こりやすい状況を知り、具体的な事故防止対策が実践できる	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	137
62	10/16・17・18	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	120分	スキルトレーニングセンター	136
63	10-12月 OJT	医療安全・感染管理 (CVC挿入介助・CVCDレッシング交換)	CVCの安全管理について知識を得る 血流感染予防の学習を通して、CVC挿入・留置中の管理における清潔操作の基礎知識やCVC挿入介助(ガウンテクニック)・CVCDレッシング交換の正しい手技を習得する	院内認定看護師(感染管理) 部署の感染管理担当看護師 教育WG	OJT	所属部署	137
64	1/11・12	看護実践研修7 「静脈注射認定看護師育成研修」	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師 薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 教育WG 静脈注射認定看護師育成WG	1日	臨床大講堂	135
	90分 (演習)				スキルトレーニングセンター	135	
	60分 (試験)				臨床小講堂 臨床大講堂	135	
65	2/15	12か月フォローアップ	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して自己の課題を明確にし次年度の目標を考える、また後輩を受け入れる心構えを持つ	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	129
66	1年以内 OJT	輸液ポンプ・シリンジポンプの使用法	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作方法が安全かつ正確に実施できるように知識と技術を習得する	輸液・シリンジポンプ指導者	OJT	所属部署	146

令和5年度 看護部教育プログラム

＜新卒2年目看護職員研修＞

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
67	5/19	医療安全	安全管理マニュアルや院内ルールを再確認することができる インシデント事例を振り返り、事故防止のための具体策を考えることができるようになる	医療安全担当副看護師長	90分 ×4	スキルトレーニングセンター	112
68	5月	がん看護(基礎編1) ～がん医療の基礎知識～	がん対策推進基本計画について学び、がん診療連携拠点病院における看護師の役割について考えることができる	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師		WEB	112
69	8月	スキンケアの基礎	スキンケアの基本を学び、最新ですぐにでも実践できる予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師 (褥瘡ケア領域) 部署の褥瘡担当看護師		所属部署	113
70	10/24 ・25	クリティカルケア研修2 「急変時の対応」	シミュレーションを通して、急変兆候への気づき、急変時の対応に必要な知識・技術を習得する	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域)	120分 ×6	スキルトレーニングセンター	106
71	2/9	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	90分 ×2	中央会議棟 多目的会議室 A-C	101
72	9月 以降	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1～2日	ICU 救命ICU 手術部 各部署	109

＜新卒3年目看護職員研修＞

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
73	6/16	感染管理(実践編) ～正しい知識で院内感染を防ごう！～	感染対策マニュアルを活用し、正しい感染対策が実践できる 新人看護職員に対し正しい知識を持って指導ができる 感染対策に関する院内ルールを知る	感染管理担当 感染管理認定看護師	90分 ×2	中央会議棟 多目的会議室 A-C	107
74	8/28	接遇研修	身だしなみや礼節について学び、組織人としての自覚を認識する	外部講師	90分	臨床大講堂	105
75	9/8	がん看護(基礎編2) ～知っておきたいがん治療と看護のいろは～	がん患者がたどる経過やがん治療の特徴、副作用、症状、療養の場の特性を理解し、看護実践に活かすための基礎知識を得る ※7月末よりWEB学習開始する。3つの動画講義を視聴し、集合研修でグループワークを行い学習する。	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師	13:00- 90分 ×2	WEB + 集合 (中央会議棟 多目的会議室 A-C)	106
76	11/22 ・24	クリティカルケア研修3 「急変の兆候を見逃さない！フィジカルアセスメント」	シミュレーションを通して、意識的に観察する方法について学び、急変する前に患者の異常に気づき、的確に対応できるようになる	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域)	90分	スキルトレーニングセンター	106

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 中村 雅史
管理担当者氏名	各診療科長、放射線部長・診療録管理室長：石神康生、薬剤部長：内田まやこ、総務課長：井上美穂、医療連携センター長：中川尚志、医療管理課長：川勝美樹、患者サービス課長：吉松勝

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課

・診療に関する諸記録は、平成25年1月以降、全て電磁的記録として無期限保存である。
・平成24年12月以前の診療に関する諸記録で紙であるものは本学で定められた保存期間10年未満は診療録管理室において中央管理し、保存期間満了時は原則廃棄とする。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		監査委員会の設置状況	医療管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 中湖 博則
閲覧担当者氏名	総務課長 井上 美穂
閲覧の求めに応じる場所	総務課
<p>閲覧の手続の概要 九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。</p> <p>【開示請求できる文書】 九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で役員又は職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。 ただし、書籍等の市販物や、内閣総理大臣の指定を受けている九州大学附属図書館が保有する歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料として特別の管理がされているものは開示請求の対象から除く。</p> <p>【不開示となる文書】 開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。</p> <p>【開示・不開示決定の通知】 法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。</p> <p>【開示請求手数料、開示実施手数料】 ○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円 ○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。</p> <p>【開示請求方法】 法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学法人文書監理室に提出する(郵送可)。</p>	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ 有 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 (7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。 (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (9) 医療安全管理部の業務に関すること。 (10) 医療事故調査に関すること。 (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	7回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で質の高い医療の提供について ・ 当院の医療安全対策について ・ 感染対策の基本と考え方 ・ 2022年度に発生した事例から学ぶ医療安全 ・ 紛争リスクの高いインシデント事例への対応について ・ B型肝炎再活性化対策 ・ せん妄予防対策 ・ 医薬品の適正使用について 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

院内報告制度においては影響度分類レベルを0-5まで8段階（3、4は夫々a、bの別有り）に分類して報告を義務づけている（報告書類は電子システムによる）。特にレベル3b以上のものについては医療安全管理部への口頭での報告を義務付けており、臨床試験の対象者であった場合には、ARO安全性情報管理室へも報告している。収集した情報を基に、インシデント・事故を分析し、以下のような対策を実施した。

○インシデント情報の発信

報告されたインシデント事例から特に警鐘を促すべき内容について、毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している。

- 安全パトロールによる病院共通ルール遵守状況の確認
- リスクマネージャーを対象とした研修会の開催
- 医療安全管理マニュアルとホームページの改訂
- 「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果の院内ホームページへの掲載
- 患者・手元情報の確認方法の改正と周知
- 再活性化B型肝炎対策について、フローチャートの改正と周知
- せん妄マニュアルの改正と周知
- 画像診断報告書未開封に対して未読管理システムの改修

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>平成19年7月に制定した「九州大学病院における院内感染対策のための指針」の主な内容は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策のための措置に関すること。 2. 院内感染防止対策に係る職員の研修及び教育に関すること。 3. 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 4. グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 5. その他院内感染防止対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	6回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>感染対策の基本的な考え方 ASTによる抗菌薬適正使用 日常診療に役立つ細菌検査とアンチバイオグラムの活用法 2022年度サーベイランス報告（エピネット報告、VAP、SSI、BSI） 感染対策を中心とした結核のまとめ</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 経路別予防策の指導・教育 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ベストプラクティスの作成、遵守状況確認 抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例、周術期における予防的抗菌薬のモニタリング、クリティカルパスの見直し）</p>	

感染症予防のためのワクチン接種の推進
血液培養複数セット採取率
新型コロナウイルス感染症対策の教育
針刺し・切創、血液体液曝露防止対策の教育
サーベイランス（BSI、VAP、UTI、SSI）

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 21 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>令和5年度は全体研修会を2回、採用者研修会を4回、職種別研修会を15回実施。 医薬品の適正使用について 医薬品の安全使用について（新採用者、中途採用者合同研修） 医薬品の管理・薬剤の基礎知識（看護部新採用者入職時研修） 薬剤のオーダ演習 等</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>未承認：事例なし 適応外：高用量のカリウム投与、脈絡膜血管腫に対する抗VEGF治療、気管支内肉芽形成に対する マイトマイシンCの適応外使用 禁忌：特筆すべき事例なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>薬剤師による疑義照会を月1回全体周知 ヒヤリハット情報の発出 適応外使用等の把握、情報の収集 業務手順チェック表に基づく麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬の管理状況の点検 定数配置薬チェックシートに基づく4半期に1回の管理状況点検 等</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 64 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医療機器の安全についてハイブリッド形式による開催と対面による開催にて研修を行った。また、オンライン研修においては、試験問題を追加した。主な研修の内容は、国で定められている生命維持管理装置5機種（人工呼吸器・透析装置・人工心肺装置・除細動器・閉鎖式保育器）を中心に安全使用・管理・トラブルシューティングなどを研修した。その他、新規導入機器に対して研修を実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有 ）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>(1)人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。</p> <p>(2)日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している</p> <p>※2カ月に1回、医療機器安全管理専門委員会にて報告。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有 ）</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1)院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。</p> <p>(2)院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。</p> <p>(3)収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。</p> <p>○医療機器の安全使用を目的とした情報については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ上に掲載されているPMDAの医療安全情報、公益財団法人日本医療機能評価機構のホームページ上に掲載されている医療安全情報などから情報収集を行い、管理者及び医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告されている。また、医療機器安全管理専門委員会において内容を審議し、各委員に周知、関連部署の職員に通知している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・責任者の資格（ 医師 ）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。</p> <p>なお、平成28年9月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 8 名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品安全管理手順書の情報提供管理規定ならびに院内情報提供マニュアルに従い、情報の整理、周知している。なお、周知状況については、該当診療科のリスクマネージャー宛に配信した情報について確認記録を残している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認薬：原則該当倫理委員会承認後の使用となっている。</p> <p>適応外使用：医師からの申請以外に、疑義照会・病棟薬剤師・レジメン審査委員会等から情報収集している。リスク分類が中リスク以上は、すべて倫理委員会での審査を必須とし、委員会とは随時情報共有を行っている。</p> <p>禁忌：併用禁忌、病名禁忌ともに医師処方および薬剤師監査時等に警告表示される。薬剤師は必要に応じて疑義照会している。</p> <p>なお、疑義照会で得られた適応外使用、禁忌情報は毎月確認し、医療安全管理部会と医療安全委員会で結果を報告・共有し、必要時指導を行っている。</p> <p>・担当者の指名の有無（ 有 ）</p> <p>・担当者の所属・職種：（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（ 有 ）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：九州大学病院インフォームド・コンセントガイドライン インフォームド・コンセントの成立の要件 説明すべき基本的な事項</p>	

<p>文書による説明・同意の注意点 インフォームド・コンセントの取得における一般的な留意点 特殊な状況でのインフォームド・コンセントにおける留意点 医師以外の職種によるインフォームド・コンセントにおける留意点 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品・医療機器、適応外使用の医薬品・医療機器を用いた医療行為を行う場合のインフォームド・コンセントにおける留意点 遺伝情報に関連する検査等に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 DNA Rに関するインフォームド・コンセントにおける留意点 委嘱に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 倫理的問題が生じた場合のインフォームド・コンセントにおける留意点 遠隔・オンラインで実施するインフォームド・コンセントにおける留意点 クラウド等を利用した診療データや個人情報の管理に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 臨床研究に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 インフォームド・コンセントの実施状況に関するモニタリング</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 退院サマリー、手術記録、入院診療計画書、医学管理料およびIC記録等について定期的に監査を行い、監査結果をカルテ委員会で報告する。 退院サマリーや診療録については、これを業務として閲覧する多部署（診療録管理室、診断書作成室、院内がん登録室、DPC担当）で監査し、不備があれば診療科へ修正を依頼する。 また、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室が合同で多職種（医師、看護師、診療情報管理士等）によるカルテ記載の確認を行い、院内公開型カルテレビューを定期的に開催している。 さらに、診療記録の多職種チーム監査として、医師、看護師、薬剤師、診療情報管理士で構成したチーム（症例により療法士（PT/OT/ST）、管理栄養士、社会福祉士等が加わる）が、診療記録監査票を用いて各科3～5症例程度の診療記録を評価している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従（ 5 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 2 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 2 ）名 うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（ 3 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容： ■事故防止に関すること インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる ■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること 基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施 ■院内の事故に関すること 状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導</p>	

診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底
原因究明・改善策の確認や必要な指導

■医療安全に資する診療内容のモニタリングの具体例

24時間以内の手術・再手術件数、再活性化B型肝炎発生予防、画像診断報告書未読件数
転倒・転落件数、注射薬インシデント、患者誤認インシデント、死亡・死産事例報告書の未入力
件数

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に
係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識に
ついての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 2 件）、及び許可件数（ 2 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療
技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ）
- ・活動の主な内容：
 - （1）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認す
るとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度
新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （2）（1）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供
の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により
通知すること。
 - （3）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認する
こと。
 - （4）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手
続きに基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告
すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬
品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有
無（ 有 ）

・活動の主な内容：

- (1) 診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
- (2) (1)の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- (3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 269 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 158 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

月1回、発生した死亡・死産事例及び影響度分類3b以上報告書で報告された事例について確認・検討している。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：岐阜大学医学部附属病院））

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：山形大学医学部附属病院））

・技術的助言の実施状況

特になし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

○「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置

- ・医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼

○「意見箱」：患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置

- ・外来診療棟1階総合案内、北棟1階エレベーターホール、北棟・南棟5～11階ラウンジ、ウエストウイング1・2階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記
- ・医療安全に係る内容の意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

医療に係る安全管理のための研修を、主にオンラインシステムを用いて実施し、年2回以上の受講を義務付けている他、新規採用者・中途採用者を対象とした研修を、以下の内容で実施している。

- ・ 医療安全管理について
- ・ 感染対策の実際
- ・ 医薬品の安全使用について
- ・ 医療機器の安全について

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和5年7月31日～8月2日に、「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価一般病院3<3rdG: Ver. 3.0>」の更新審査を受審し、令和6年3月8日付で認定された。(認定期間～令和10年1月27日)

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
改善事項なし

・ 評価を踏まえ講じた措置
改善事項なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第2条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成27年度九大規則第29号）第3条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第2号及び第3号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（令和3年9月6日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第2条第2項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力
医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。
2. 病院の管理運営上必要な資質・能力
当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。
3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力
国立大学法人九州大学第4期中期目標・中期計画や、九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思と、これらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有）

・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>①運営方針に関する事項 ②中期目標及び中期計画に関する事項 ③規程等の制定及び改廃に関する事項 ④予算及び決算に関する事項 ⑤その他病院の運営に関する重要事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有）</p> <p>・公表の方法 本学Webサイトに掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有） 九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。</p>	

合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中村雅史	○	医師	病院長
前田英史		歯科医師	副病院長
須藤信行		医師	副病院長
中島康晴		医師	副病院長
後信		医師	副病院長
中島直樹		医師	副病院長
石神康生		医師	副病院長
塩瀬明		医師	副病院長
江口恭世		看護師	副病院長
三森功士		医師	副病院長
中川尚志		医師	病院長補佐
鮎澤純子		学術研究員	病院長補佐

下野信行		医師	病院長補佐
新納宏昭		医師	病院長補佐
田尻達郎		医師	病院長補佐
加藤聖子		医師	病院長補佐
赤司浩一		医師	診療科長
北園孝成		医師	診療科長
小川佳宏		医師	診療科長
磯部紀子		医師	診療科長
阿部弘太郎		医師	診療科長
岡本勇		医師	診療科長
大賀正一		医師	診療科長
大内田研宙		医師	副診療科長
仲田興平		医師	副診療科長
竹中朋祐		医師	診療科長
久保真		医師	診療科長
大藺慶吾		医師	副診療科長
吉住朋晴		医師	診療科長
吉本幸司		医師	診療科長
中原剛士		医師	診療科長
江藤正俊		医師	診療科長
中尾智博		医師	診療科長
園田康平		医師	診療科長
山浦健		医師	診療科長
門田英輝		医師	診療科長
水野晋一		医師	診療科長
高橋一郎		歯科医師	診療科長
西村英紀		歯科医師	診療科長
川野真太郎		歯科医師	診療科長
柏崎晴彦		歯科医師	診療科長
三苦弘喜		医師	診療科長
播広谷勝三		医師	診療科長

園田 顕三		医師	診療科長
平川 雅和		医師	診療科長
瀬戸口 秀一		医師	診療科長
福本 敏		歯科医師	診療科長
鮎川 保則		歯科医師	診療科長
熱田 生		歯科医師	診療科長
森山 雅文		歯科医師	診療科長
横山 武志		歯科医師	診療科長
筑井 徹		歯科医師	診療科長
和田 尚久		歯科医師	診療科長
國崎 祐哉		教員	部長
小田 義直		医師	部長
赤星 朋比古		医師	センター長
沖 英次		医師	部長
戸高 浩司		医師	センター長
馬場 英司		医師	センター長
内田 まやこ		薬剤師	部長
河野 一郎		理学療法士	部長
中湖 博則		事務	部長
鴨打 正浩		医師	教授
諸隈 誠一		教員	学科長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）

- ・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

- ・ 規程の主な内容

九州大学学則第25条第2項

「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」

九州大学病院規則第16条

「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、病院長が別に定める。」

国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第9条第2項

「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算責者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

(1) 副病院長を9名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理

副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、③経営担当、
④安全管理担当（医療安全管理責任者）、⑤医療情報担当、
⑥診療記録管理担当（診療録管理責任者）、⑦診療担当・危機管理担当
⑧看護部総括担当、⑨別府病院担当

(2) 病院長補佐を6名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び調査を行い、意見を具申

病院長補佐 ①医療連携担当、②監査・法規・IC担当（インフォームド・コンセント管理者）、
③感染管理担当（感染管理責任者）、④教育担当、⑤移行期医療担当、
⑥別府病院再開発担当

(3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

※令和5年度実績

令和6年2月15日 国立大学病院長会議開催「病院経営次世代リーダー養成塾」

受講者：看護部 平岩副部長、江口師長（R6～看護部長）、樋渡師長（R6～副部長）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 第1回監査 <ul style="list-style-type: none"> 以下の現状について監査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理委員会の議事概要について ・ 患者・家族からの暴言暴力等の対応・対策について 第2回監査 <ul style="list-style-type: none"> 以下の現状について監査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤部の医療安全管理について（ラウンドを含む） ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ 有 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ 有 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法：本院ウェブサイトに掲載 	
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）	

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
内田 泰斗	鹿児島大学	○	安全管理の識見者	無	1
今村 健	福岡大学		安全管理の識見者	無	1
合原 則隆	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO法人 がんサポーター		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

<p>管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制の整備状況及び活動内容 「国立大学法人九州大学の業務の適正を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。 本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。 ・ 専門部署の設置の有無（有） ・ 内部規程の整備の有無（有） ・ 内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法：本学webサイトに掲載
--

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年度から予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。 ・ 会議体の実施状況（年 35 回 ※令和5年度） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（無）（年 回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法：本学Webサイトに掲載 																				
<p>病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：</p>																				
<p>会議体の委員名簿</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>所属</th> <th>委員長 (○を付す)</th> <th>利害関係</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有・無</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係				有・無												
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係																	
			有・無																	
			有・無																	
			有・無																	
			有・無																	

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）・ 通報件数（年 0 件 ※令和5年度）・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）・ 周知の方法：院内 Web サイトに情報掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>○病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供</p> <p>○広報誌 1) 病院概要 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供 2) 九大病院ニュース 病院の最新の取組等の情報を提供</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>○入退院・周術期支援センター 周術期支援センターは、周術期医療の質の向上を目指して、平成26年9月に設置され、これまで患者が安全に手術を受けられるよう、麻酔科医・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士および周術期口腔ケアセンターの歯科医・歯科衛生士が各科担当医とチームを組み支援してきた。さらに、手術患者の社会福祉的支援を入院前から開始するとともに、退院後の療養支援を行うために令和2年4月に、入退院・周術期支援センターへと改組された。 入退院・周術期支援センターでは周術期管理のために、麻酔科医による術前全身評価を中心に、薬剤師による薬剤確認、管理栄養士による栄養評価、口腔ケアのスクリーニングなどを行っている。手術に影響がある疾患を有する患者の場合は、循環器内科・糖尿病内科・呼吸器科など他の診療科の評価と治療を受けた後に、入退院・周術期支援センターにて総合的な周術期管理を行っている。以上のように医療安全を確保し、予期しない手術中止症例の減少、術前合併症の予防、早期退院の推進のために複数の診療科と多職種が連携して対応している。 令和5年1月より、支援の対象を全診療科へ拡大し、当院で入院治療を受ける患者を一元的に支援するPatient Flow Management (PFM) の確立を目指している。</p>	